J-PHONE J-PE02

基本操作編

J-PHONEグループ

基本操作編

J-PHONE

はじめに

このたびは、「J-PE02」をお買上げいただき、まことにありがとうございます。

● この取扱説明書には、J-PE02の基本機能に関する説明をまとめています。
● ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
● お読みになったあとは、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
● この取扱説明書を万一紛失または損傷したときは、総合案内（裏表紙参照）までお問い合わせください。

J-PE02は、1.5GHzの周波数帯を利用し、J-PHONEグループのネットワークに対応した仕様になっております。

J-PE02は、日本国外ではご利用になれません。
This product is exclusively for use in Japan.

ご注意

・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
・本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載洩れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取替えいたします。
・液晶のタッチパネルが割れることを防ぐため、J-フォンを車のキーホルダーなど固い物と一緒にポケットやバッグの中に入れないでください。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」を**ご使用の前によくお読みください**。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止事項が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 危　険

■共通の取扱いについて

●分解・改造しない

分解禁止

J-フォン、電池パックや充電用機器の分解や改造は行わないでください。また、お客様による修理や電池パックに直接ハンダ付けなどは絶対にしないでください。液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

●指定以外の充電用機器、電池パックを使用しない

必ず、J-PE02専用の充電用機器で充電してください。J-PE02専用の電池パックを使用してください。性能や寿命の低下、液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

●ショートさせない

J-フォン、電池パックや充電用機器の端子に針金・ネックレス・ヘアピンなどの金属を接触させないでください。液もれ・発熱・破裂し、火災・けが・故障の原因となります。電池パックを単体で持ち運ぶ場合や、保管する場合はケース等に入れてください。

●強い衝撃を与えない

J-フォン、電池パックや充電用機器を投げたり、ハンマーなどでたたいたり、釘などを打ち込んだり、重いものをのせたり、落としたりして強い衝撃を与えないでください。液もれ･発熱･破裂し、火災･けがの故障の原因となります。

■電池パックの取扱いについて

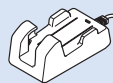
●加熱しない

禁止

電池パックを火の中に入れたり、電子レンジ等で加熱しないでください。液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

●他の機器に使用しない

禁止

付属の電池パックはJ-PE02専用です。それ以外の製品に使用すると、液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

■充電用機器の取扱いについて

●卓上急速充電器のプラグはAC100Vの電源に接続する

指定以外の電源に接続すると、発熱・火災・けが・感電・故障の原因となります。

⚠ 警　告

■共通の取扱いについて

●指定のものを使用する

周辺機器は必ず、J-PE02専用のものを使用してください。それ以外の製品を使用すると、液もれ・発熱・破裂し、火災・けが・故障の原因となることがあります（15ページ「付属品／別売品の紹介」参照）。

●異常時にはすぐに使用を中止する

J-フォン、電池パックや充電用機器から、変なにおいがしたり、液もれ、サビ、発熱などの異常に気付いたら、すぐに電池パックをはずし、卓上急速充電器をコンセントから抜いてください。破裂し、火災・けが・故障の原因となることがあります。最寄りの故障受付までご連絡ください。

●風呂場やシャワー室では使用しない

J-フォン、電池パックや充電用機器を、風呂場・シャワー室などでは使用しないでください。発熱・火災・けが・感電・故障の原因となります。

●幼児の手の届く場所に置かない

事故防止のため、J-フォン、電池パックや充電用機器を幼児の手の届く場所には置かないでください。けが・感電の原因となることがあります。

●濡らさない

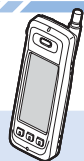
J-フォン、電池パックや充電用機器を雨や雪、水、ジュースなど液体で濡らさないでください。発熱・火災・けが・感電・故障の原因となります。濡れた場合は、すぐに使用を中止して最寄りの故障受付までご連絡ください。場合によっては、修理できないこともあります。

●引火に注意

引火性ガス（プロパンガス、ガソリンなど）の発生するような場所（ガススタンド、ガソリンスタンドなど）では、J-フォンの電源を切り、使用しないでください。引火・爆発の原因となることがあります。

●雷に注意

雷が発生しているときは、J-フォンや充電器を使用しないでください。すぐに安全な場所へ避難してください。

警　告

■J-フォン本体の取扱いについて

●車を運転しながら使用しない

車を運転しながら使用しないでください。交通事故の原因となります。特に運転中に電話がかかってきた場合は、安全な場所に停車してから、電話を受けてください。その際禁止されている場所で駐・停車しないでください。

●航空機内で使用しない

航空機内で使用しないでください。航空機の電子精密機器に影響を与え、飛行の安全に支障をきたす恐れがあります。搭乗するときには、J-フォンの電源を切ってください。（自動電源機能やアラーム機能をONに設定してある場合は、あらかじめ設定をOFFにしてから電源を切ってください。）

●植込み型心臓ペースメーカや医用電気機器の近くで使用される場合

植込み型心臓ペースメーカや医用電気機器の近くでJ-フォンを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与える恐れがありますので、次の事を守ってください。

①植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、J-フォンをペースメーカ装着部から22cm以上離して携行および使用してください。

②満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している人がいる可能性がありますので、J-フォンの電源を切るようにしてください。

③電波によりペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

④医療機関の屋内では次の事に注意してご使用ください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはJ-フォンを持ち込まないでください。
- 病棟内では、J-フォンの電源を必ず切ってください。（自動電源機能やアラーム機能をONに設定してある場合は、あらかじめ設定をOFFにしてから電源を切ってください。）
- ロビーなどでも付近に医用電気機器がある場合は、J-フォンの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

⑤医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカ以外の医用電気機器を使用する場合（自宅療養など）は、電波の影響について個別に医用機器メーカなどにご確認ください。

⚠ 警　告

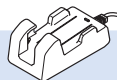
■電池パックの取扱いについて

●内部の液が目に入ったら、医師の治療を受ける

電池パック内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。そのままにしておくと、失明の恐れがあります。

●内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐに洗い流す

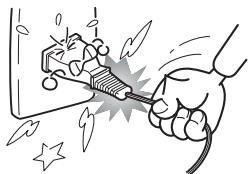
電池パック内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。そのままにしておくと、皮膚に障害をおこす恐れがあります。

■充電用機器の取扱いについて

●卓上急速充電器のプラグを抜くときは、コードを引っ張らない

卓上急速充電器のプラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが破損し、発熱・火災・けが・感電の原因となります。

●濡れた手で扱わない

濡れた手で卓上急速充電器のプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

Beee

●卓上急速充電器の差し込みに注意

卓上急速充電器のプラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・けがの原因となることがあります。また、プラグの刃に触れると感電することがあります。

●ゆるみのあるコンセントに接続しない

卓上急速充電器のプラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。家電販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

●ACコードの取り扱い

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重いものを乗せたり、加熱したり、引っぱったりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。また、コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注　意

■共通の取扱いについて

●高温・湿気・ほこりに注意

J-フォン、電池パックや充電用機器を、ストーブのそば、引火性のガスが発生する場所、車の中など高温な場所、極端な低温環境、および湿気やほこりの多い場所で使用したり、保管したり、放置したりしないでください。液もれ・発熱・破裂し、火災・けが・感電や故障の原因になることがあります。

●不安定な場所に置かない

J-フォン、電池パックや充電用機器を、ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分注意してください。

■J-フォン本体の取扱いについて

●磁気カードなどを近づけない

キャッシュカードやフロッピーディスクなどをJ-フォンに近づけないでください。近づけると、磁気データが消去されることがあります。

●目にささない

J-フォンのアンテナを誤って目にささないでください。失明の恐れがあります。

●振り回さない

アンテナやストラップやタッチペンを持ってJ-フォンを振り回さないでください。まわりの人にけがをさせる恐れがあります。

●カバーをはめて使用する

通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバーなどをはめた状態で使用してください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水等が入り、発熱・火災・けが・感電・故障の原因となります。

⚠ 注　意

■電池パックの取扱いについて

●不要な電池パックを捨てない

強制

不要になった電池パックは、捨てないでください。最寄りの故障受付窓口へお持ちください。

●充電温度範囲にご注意

禁止

電池パックの充電温度範囲は5℃〜35℃です。この温度範囲以外では電池パックの充電をしないでください。性能や寿命の低下・液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。

●長時間充電に注意

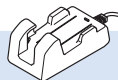
強制

充電に異常に時間がかかる（約5時間以上）ときは、充電をやめてください。液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。最寄りの故障受付までご連絡ください。

●長時間使わないときは本体からはずす

強制

約1ヶ月以上使用しないときは、電池パックをJ-フォンからはずしてください。また、長時間使用しない場合は、使いきってから約30分間充電したあと、乾燥した冷暗所に保管してください。電池パックをとりはずさないと性能や寿命の低下の原因となります。電池パックを取り外すときは、電池パックやリード線をつかんで抜かないでください。

■充電用機器の取扱いについて

●充電しないときは電源を抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、使用しないとき、お手入れのときは卓上急速充電器のプラグをコンセントから抜いてください。発熱・火災・けがの原因となります。

●液もれした電池パックを充電しない

禁止

破裂・液もれした電池パックを充電しないでください。
電池パックの発熱・火災・けがの原因となることがあります。

●雷に注意

プラグをコンセントから抜く

雷が発生した場合は、早めに卓上急速充電器のプラグをコンセントから抜いてください。火災・けがの原因となることがあります。

ご利用にあたって

● Ｊ-フォンは電波を利用しているため、サービスエリア内であっても電波の届かないところ（山間部、トンネル、地下など）では発着信できません。また、電波の弱いところ（ビルの陰、建物の中、カバンの中など）では発着信ができないことがあります。通話中にこのようなところに移動しますと、通話が途切れることがありますのであらかじめご了承ください。
● Ｊ-フォンはデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。従って、逆に通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることもあります。あらかじめご了承ください。
● まわりの迷惑にならないようにご使用ください。
● Ｊ-フォンを一般の電子機器の近くやカーオーディオなどの近くでお使いになると影響（ノイズ）を与えることがあります。
● Ｊ-フォンは電波法に定められた無線局です。したがって電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

お取扱いにあたって

● お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いないでください。色があせたり、印刷文字が薄くなったりすることがあります。
● 商品の故障、誤動作、または電池切れなどの要因により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目　次

お使いになる前に

各部の名称と機能

ストラップ / タッチペン取付

決定ボタン / 誤動作防止ボタン
シャトルキーで選んだ項目を決定します（本体ボタンの右ボタンと同じ働きをします）。約 2 秒以上押すと誤動作防止機能が働きます（「誤動作を防止する」105 ページ参照）。

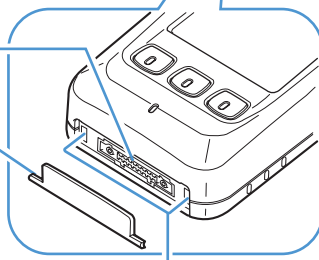
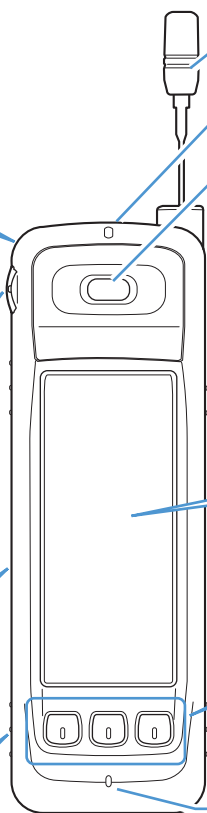
シャトルキー
ジェットスクロールや電話帳などで相手を選びます。シャトルキーは上下にスライドさせて使います。

イヤホンマイク端子
別売のイヤホンマイクを接続します。

電源ボタン
約 1 秒以上押すと電源が ON/OFF します。

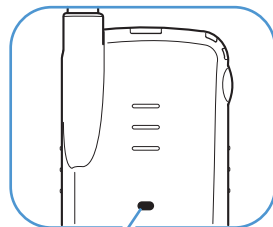
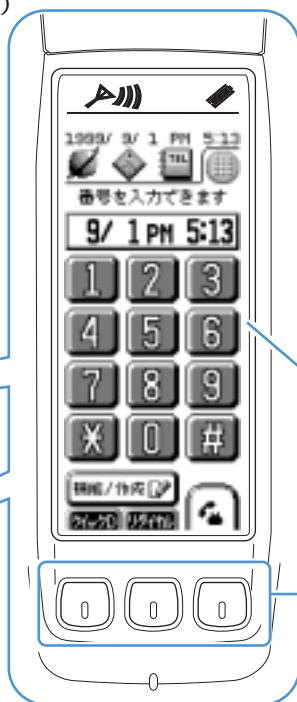
外部接続端子
別売のシガーライター充電器などを接続します。

外部接続端子カバー
外部接続端子を保護するためのカバーです。
外部接続端子に何も接続しないときは、カバーを付けておいてください。

充電端子
電池パックを充電するときの端子です。

質量（重量）：約99g（電池パック装着時）
サイズ：約43×131.5×21mm（アンテナを除く）
連続待受時間：約350時間
連続通話時間：約100分

アンテナ

着信ランプ

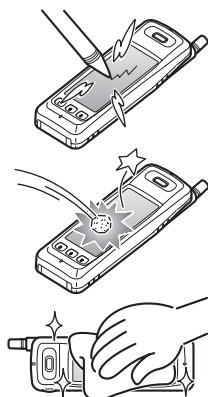
レシーバ（受話器）

リンガー

液晶タッチパネル
ダイヤル、リダイヤルなど画面ごとに各種操作が表示されます。付属のタッチペンまたは指で軽く触れて押します。

本体ボタン
ボタンの上の液晶タッチパネル部分に表示されている機能が操作できます。表示される機能はそのときの状況によって変わります。

マイク（送話器）

注意

- タッチパネルは必ず、付属のタッチペンまたは指で軽く触れてください。付属のタッチペン以外のとがったものや固いもので押さないでください。
- タッチパネルの上に、物を置いたり衝撃を与えたりしないでください。またカギなど堅い物と一緒にバッグなどに入れないでください。タッチパネルが割れることがあります。
- タッチパネルが汚れたときは、柔らかい乾いた布で、傷つけないように拭いてください。

J-フォンを使いこなそう

お買い上げいただいたJ-フォンは、タッチパネル操作で簡単にお使いいただくことができます。

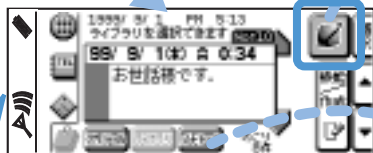
基本画面を確認しよう

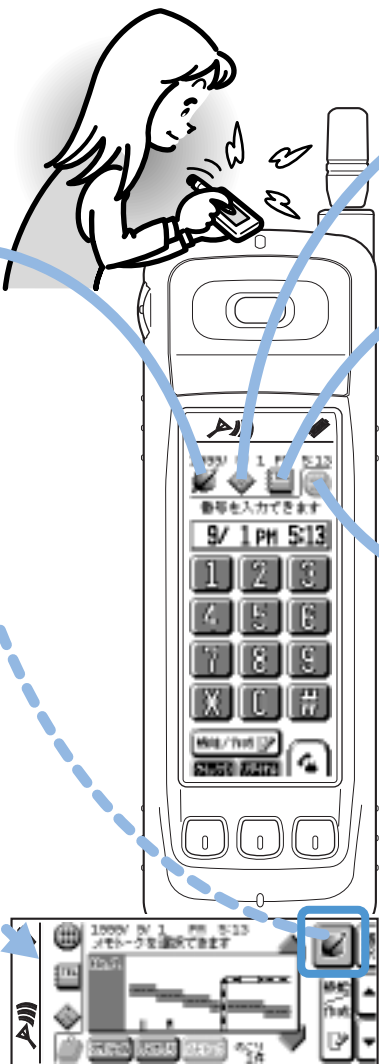
J-フォンには、いろいろな画面があります。機能に合わせて操作する内容とボタンが液晶タッチパネルに表示されます。

スカイウェブ画面

ニュース、天気予報、時刻表などの情報メッセージを読む画面です。

手帳画面（スケジュール）

スケジュールを入力したり、確認する画面です。

手帳画面（ライブラリ）

自分で作成したメッセージなどを登録することができる画面です。

スカイウォーカー画面

スカイメール、コーディネータ、リレーメール、ホットライン、グリーティング用のメッセージを管理する画面です。

電話帳画面

電話帳登録したり、電話帳から電話をかけたり（メモリダイヤル）する画面です。

ダイヤル画面

数字ボタンを押して電話をかけたり、リダイヤルやクイックダイヤルなどで電話をかけることができる画面です。

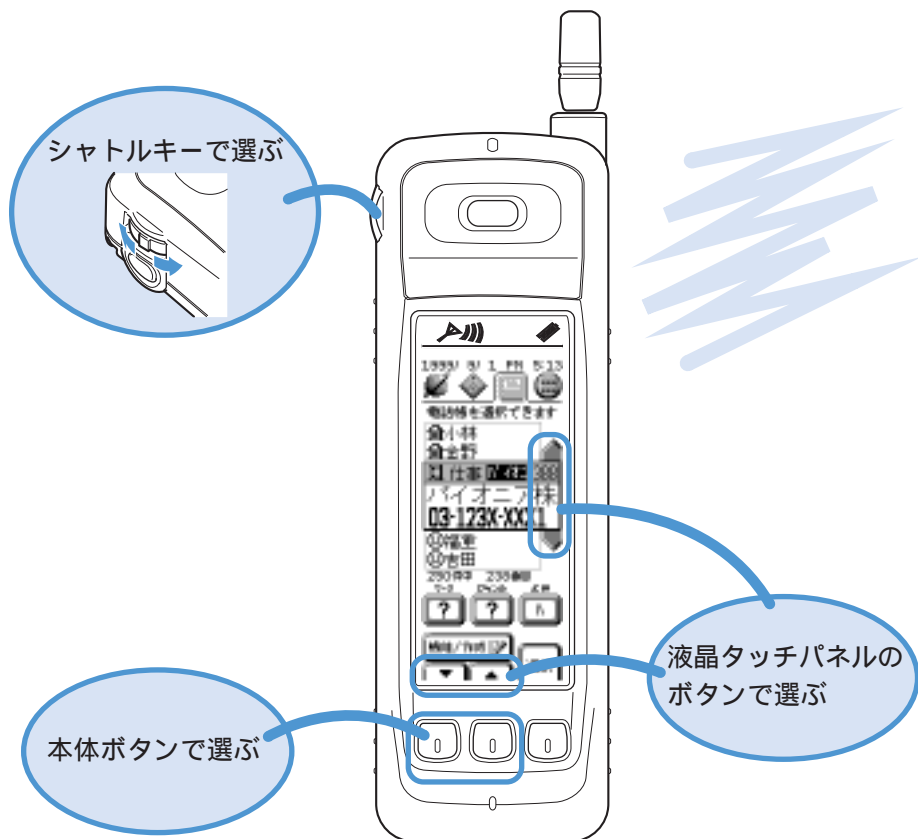
手帳画面（メモトーク）

タッチペンやスタンプなどで手書きメモなどを作成したり、相手に送信することができる画面です。

液晶タッチパネルは、付属されているタッチペンで操作しよう！指で操作してもOKです。

自分に合ったボタンで操作しよう

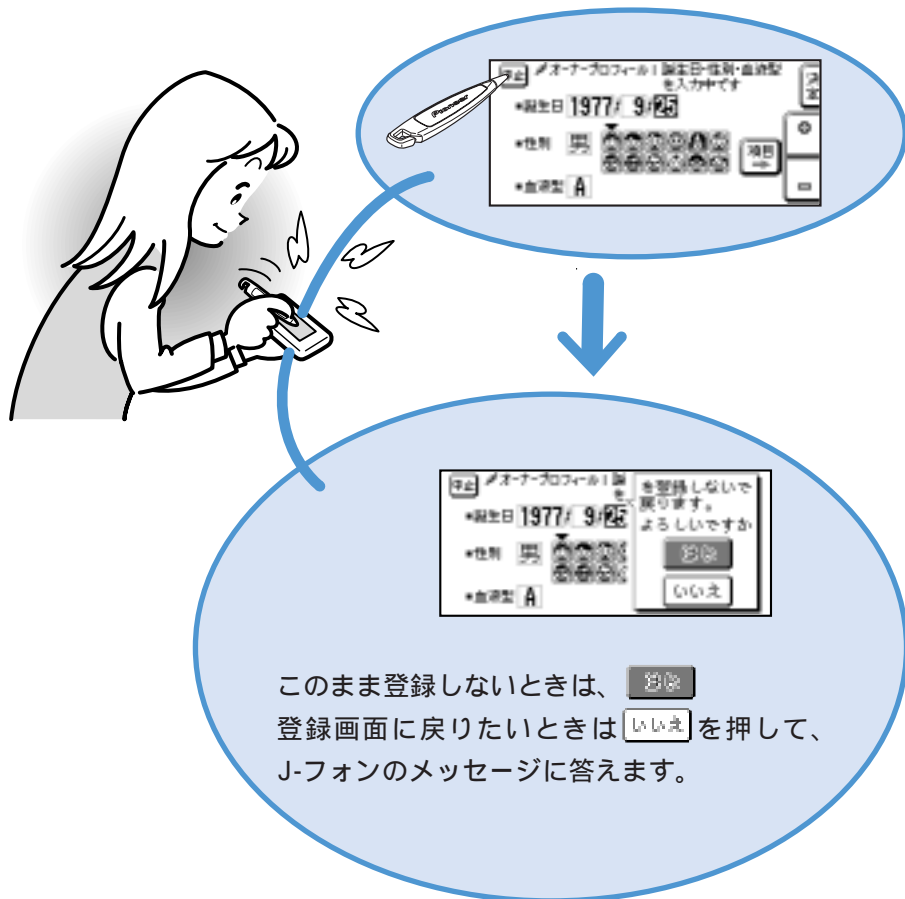
J-フォンは、一つの操作をいろいろな方法で行うことができます。操作しやすいボタンで操作してください。

例：相手を探す（メモリダイヤル）（78ページ）

液晶タッチパネルは、付属されているタッチペンで操作しよう！指で操作してもOKです。

例：電話をかける（31ページ）

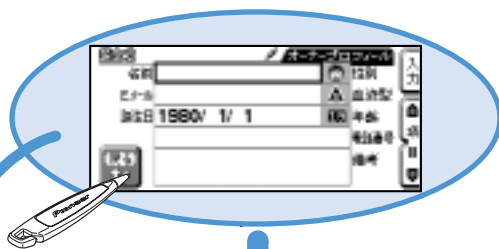
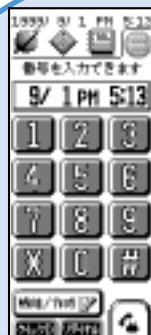
J-フォンのメッセージを確認しよう

確認が必要な操作は、J-フォンが確認のメッセージを表示します。表示の内容を確認して、次の操作に進んでください。

例：登録の画面で[中止]を押して登録を中止したとき

液晶タッチパネルは、付属されているタッチペンで操作しよう！指で操作してもOKです。

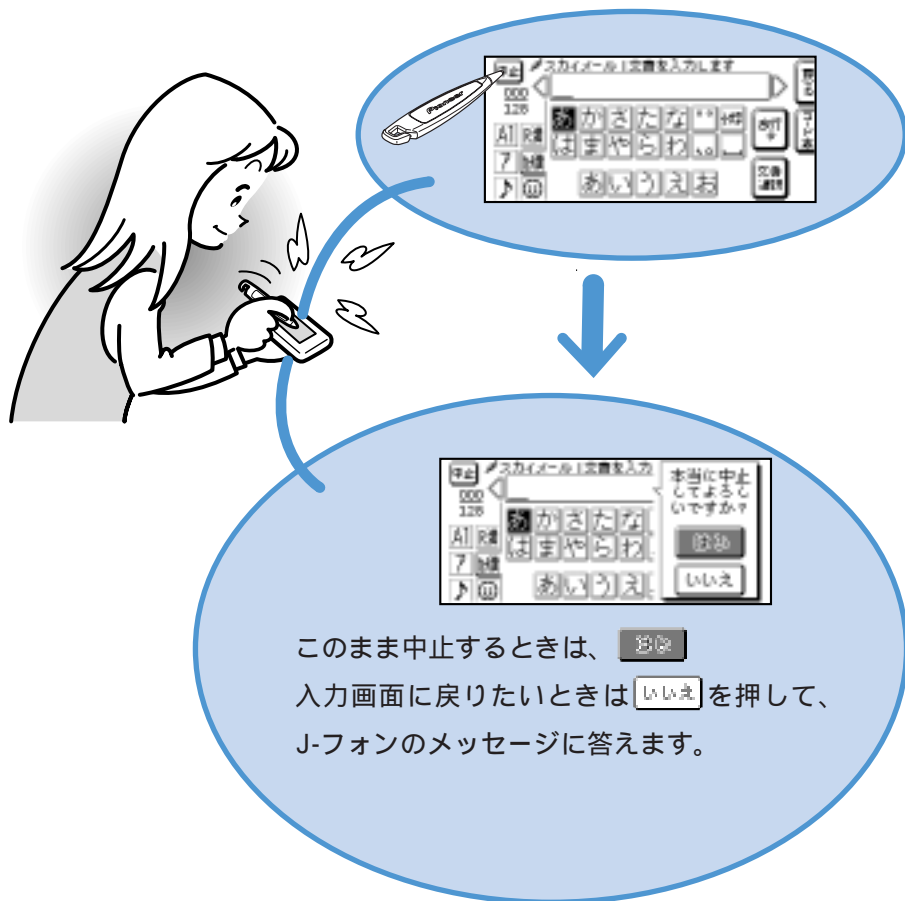
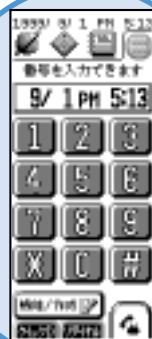
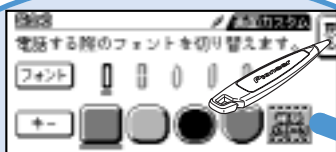
操作に迷ったら

操作に迷ったら、画面を戻そう。

やを押すと、一つ前の操作に戻ったり、最初の画面に戻ることができます。液晶タッチパネルの表示を確認して、もう一度操作をし直してください。

「戻る」や「中止」は画面によって形や位置が変わります。

途中で操作をやめる

途中で操作をやめるときは、次の方法で画面を戻してください。

例：[中止]を押して操作をやめる

液晶タッチパネルは、付属されているタッチペンで操作しよう！指で操作してもOKです。

「戻る」や「中止」は画面によって形や位置が変わります。

こんなときにはご利用になれません

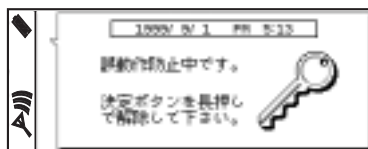
● **「圏外」表示がでているとき**

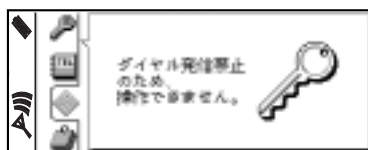
通話することができません。サービスエリア外、または電波の届かない場所です。「圏外」表示が消える場所へ移動してください。

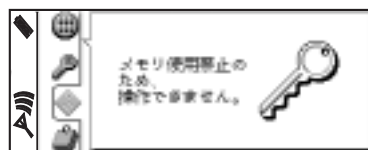
● **[要充電] の表示がでているとき**

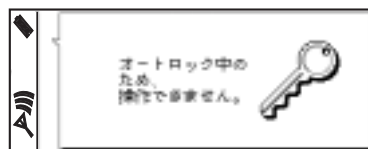
電池が切れかかっています。電池パックを専用充電器で充電してください。（16ページ「電池パックの取扱いと充電」参照）

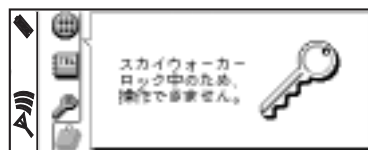
● **「誤動作防止中です。決定ボタンを長押しで解除して下さい。」の表示が出ているとき**

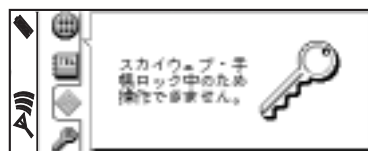
誤動作防止機能が設定されてるため操作ができません。誤動作防止機能を解除してから操作してください（2ページ「各部の名称と機能」誤動作防止ボタン参照）。

● **「ダイヤル発信禁止のため、操作できません。」の表示が出ているとき**

ダイヤルボタンから電話をかけることができません。電話帳画面から電話をかけるか、ダイヤル発信禁止を解除してください（78ページ「電話帳で電話をかける（メモリダイヤル）」、96ページ「いろいろなセキュリティ機能を使う」参照）。

● **「メモリ使用禁止のため、操作できません。」の表示が出ているとき**

電話帳で電話をかけることができません。ダイヤル画面から電話をかけるか、メモリ使用禁止を解除してください（31ページ「電話をかける」、96ページ「いろいろなセキュリティ機能を使う」参照）。

● **「オートロック中のため、操作できません。」の表示が出ているとき**

着信および電源OFF以外のほとんどの操作が禁止されています。オートロックを一時的に解除してから操作してください（96ページ「いろいろなセキュリティ機能を使う」参照）。

● **「スカイウォーカーロック中のため、操作できません。」の表示が出ているとき**

スカイウォーカーのメッセージを読むなどの操作が禁止されています。スカイウォーカーロックを解除してから操作してください（96ページ「いろいろなセキュリティ機能を使う」参照）。

● **「スカイウェブ・手帳ロック中のため操作できません。」の表示が出ているとき**

スカイウェブ、手帳（スケジュール、メモトーク、ライブラリ）の操作が禁止されています。スカイウェブ・手帳ロックを解除してから操作してください（96ページ「いろいろなセキュリティ機能を使う」参照）。

● **スカイウォーカーサービスセンターのセンター番号を0000に変更したとき**

スカイウォーカーサービスセンターのセンター番号を0000にするとスカイウォーカーサービスが停止されます（「SkyWalker/SkyWeb編」145ページ「スカイウォーカーサービスセンターの番号を変更する」参照）。

暗証番号について

J-フォンのご使用にあたっては「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」が必要になります。

■ 操作用暗証番号

操作用暗証番号は、“ 9999 ”もしくは、ご契約時にお決めいただいた4桁の番号です。J-フォン本体で以下の操作をするときに使用します。

- シークレットメモリ（67ページ）
- シークレット（175ページ、「SkyWalker/SkyWeb編」117、159ページ）
- オートロック（96ページ）
- メモリ使用禁止（96ページ）
- ダイヤル発信禁止（96ページ）
- スカイウォーカーロック（96ページ）
- スカイウェブロック（スケジュール、ライブラリ、メモトーク）（96ページ）
- メモリクリア（101ページ）
- 操作用暗証番号の変更（99ページ）
- 設定リセット（103ページ）
- 通話料金の累積リセット（158ページ）
- プライバシーレベル（3と4のメッセージを読む）（「SkyWalker/SkyWeb編」8ページ）
- スカイウォーカーの受信拒否（「SkyWalker/SkyWeb編」135ページ）

●操作用暗証番号を間違えていたときは、「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。表示されたメッセージを押して再度入力してください。
●操作用暗証番号は変更することができます。（99ページ）

■ 交換機用暗証番号

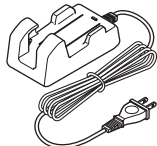
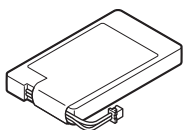
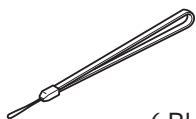
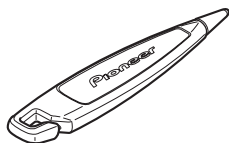
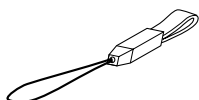
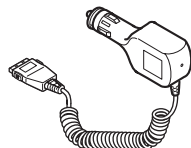
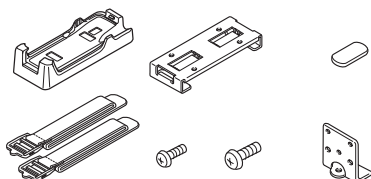
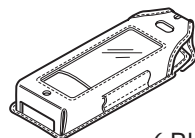
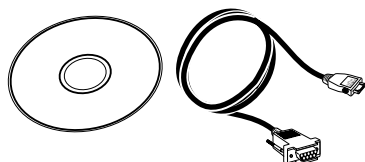
ご契約時にお決めいただいた4桁の番号です。以下のオプションサービスの遠隔操作をするときに使用します。

- 転送電話サービス（191ページ）
- 留守番電話サービス（200ページ）
- 割り込みコールサービス（205ページ）

ご自分の電話番号または交換機用暗証番号を間違えたときは再入力をうながすアナウンスが流れます。正しい番号を入力してください。ただし、3回間違えると電話がきれます。もう一度し直してください。

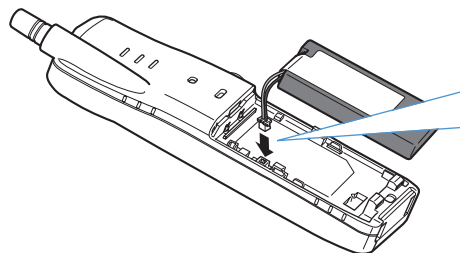
●「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」をお忘れにならないようにご注意ください。
●「操作用暗証番号」はJ-フォンの操作だけで変更できます。「交換機用暗証番号」はJ-フォンの操作では変更することができません。「交換機用暗証番号」を変更したい場合は、お手続きが必要になります。詳しくは総合案内（裏表紙参照）までお問い合わせください。
●事故の原因となりますので「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」は、他人に知られないようにご注意ください。

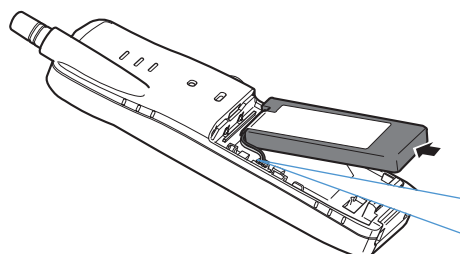
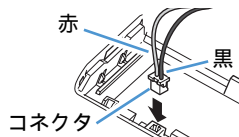
付属品／別売品の紹介

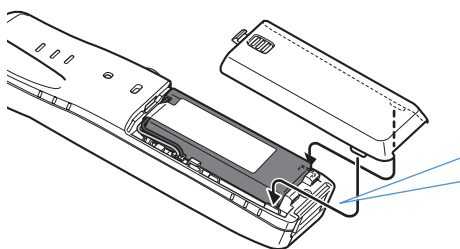
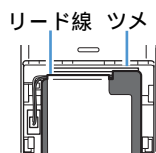
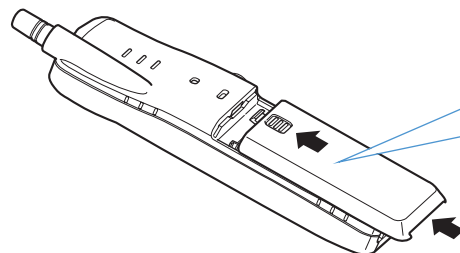
付属品 （別売品としてもご用意しております。）	別売品
■ 卓上急速充電器 （PI-C3-01）	■ シガーライター充電器 （PI-J3-01）
■ 電池パック （PI-B1-04）	■ 車載ホルダー （PI-K3-01）
■ ストラップ （PI-N4-01）	■ ソフトケース（ボタンタイプ） （PI-M4-01）
■ タッチペン （PI-T4-01）	■ PCリンクキット （PI-L1-01）
■ ミニストラップ （PI-N4-02）	

※ 付属品、別売品につきましては、総合案内（裏表紙参照）までお問い合わせください。

電池パックの取扱いと充電

■ 電池パックの取り付けかた・取り外しかた

● 取り付けかた

1 電池パックのコネクタを差し込む

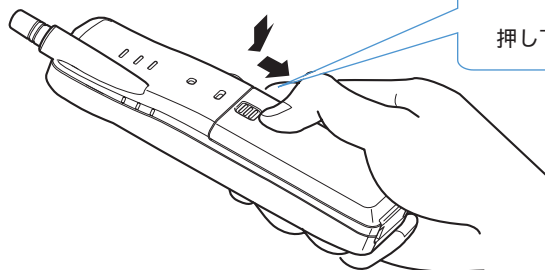
コネクタは赤のリード線が上になるように、最後まで確実に差し込んでください。

2 電池パックをJ-フォンのツメに合わせながらセットする

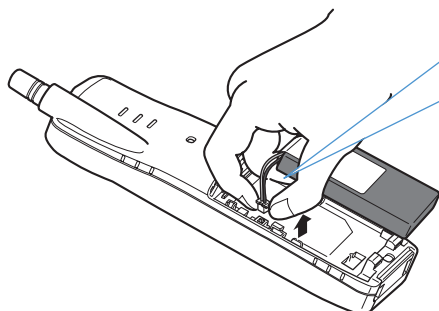
電池パックのリード線は、右図のようにフタを閉めたとき、フタにひっかからないようにセットしてください。

3 フタのリブが図のすきまに入るように合わせる

4 フタを閉める

電池パックのリード線を挟まないようにフタをスライドさせ、“ カチッ ”と音がするまで確実に閉めます。

● 取り外しかた

1 押してからスライドさせる

押し下げるようにスライドさせます。

2 電池パックをはずす

電池パックのコネクタをつまんで、ゆっくり抜きます。

注意

- ●J-フォンを長い間使用しない場合は、電池パックを取り外して冷暗所に保管してください。
- ●電池パックの取り付け・取り外しをするときは、必ずJ-フォンの電源をOFFにしてください。電源の入った状態で電池パックを取り外すと、メモリに異常をきたす場合があります。
- ●電池パックを長時間（約2日以上）外したままにすると、時計が止まります。このようなときは、電池パックをセットしたあと、もう一度時計を合わせてください。
- ●電池パックを外す場合は、電池パックやリード線をつかんで抜かないでください。リード線が断線することがあります。

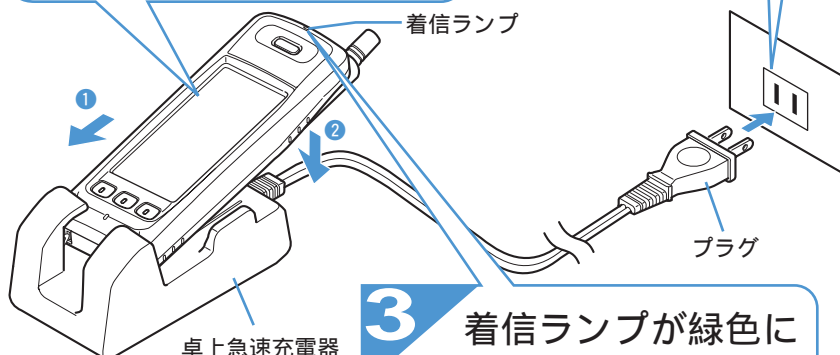
■ 卓上急速充電器を使って充電する

充電時間は約110分です（シガーライター充電器も卓上急速充電器と同じ充電時間です）。

1 プラグをコンセントに差す

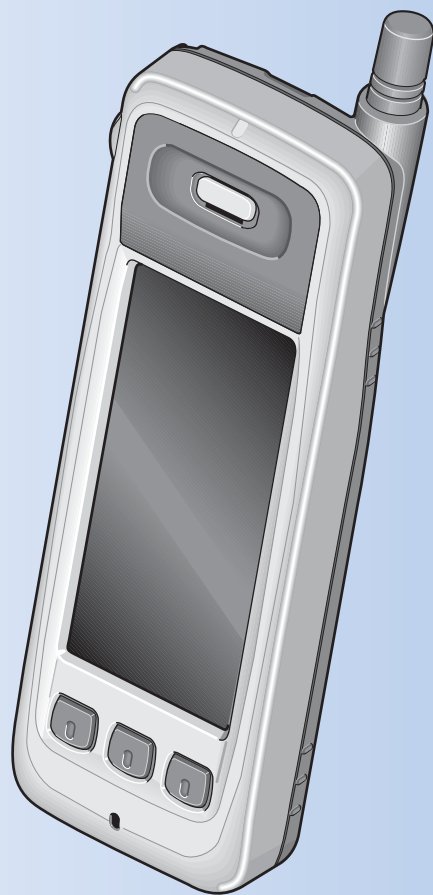
プラグをしっかり家庭用AC100Vコンセントに差し込みます。

2 J-フォンを充電器に差し込む

J-フォンの裏のミゾを卓上急速充電器のツメにはまるように差し込みます。
J-フォンの着信ランプが赤色に点灯して、充電が開始されます。

3 着信ランプが緑色に点灯したら充電完了

プラグをコンセントから抜きます。

注意

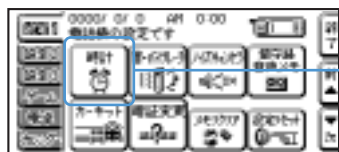
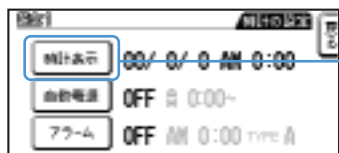
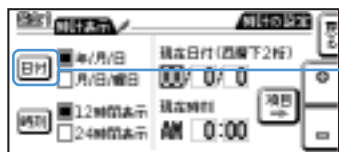
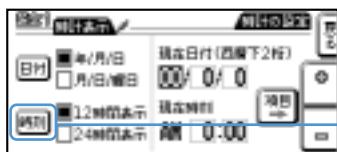
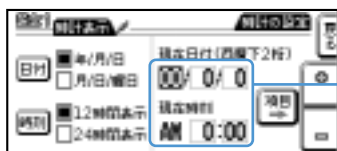
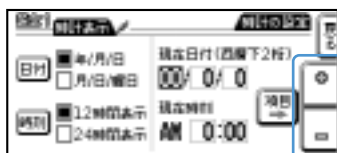
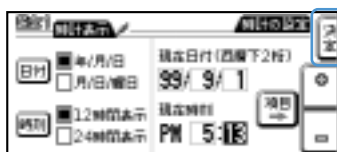
- J-フォン本体を卓上急速充電器にセットしても着信ランプが点灯しないときは、接触不良などが考えられます。電池パック、卓上急速充電器などをセットし直してください。
- 充電中に着信ランプが赤点滅したときはただちに充電を中止し、上記と同様に各部をセットし直してからもう一度充電してください。それでも赤点滅するときは、電池パックまたは卓上急速充電器の異常が考えられます。
- 充電中に着信ランプがオレンジ色に点滅したときは、充電規定外温度です。周囲温度が5℃〜35℃の場所で充電してください。
- 卓上急速充電器からＪ-フォンを取り外すときは、卓上急速充電器に手をそえて取り外してください。
- 電池パックは単体で充電することはできません。Ｊ-フォン本体にセットした状態で充電してください。
- 電源が入ったまま充電することもできます。その際充電時間がやや長くなります。
- 安全のため、充電しないときはプラグをコンセントから抜いてください。
- 卓上急速充電器やシガーライター充電器などのJ-フォン専用の充電機器をご使用ください。

はじめに設定してください

時計を設定する

J-フォンの日付と時刻を設定します。

はじめに設定してください

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 時計の設定画面に切り替える

4 時計表示画面に切り替える

5 日付の表示方法を選ぶ（補足※2）

6 **時刻の表示方法を選ぶ**（補足※2）

7 **入力する項目を選ぶ**（補足※3）

8 **数字を合わせる**（補足※4）

9 **時刻、日付を決定する**（補足※5）

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［ ］を押して切り替えることができます。

※2 設定の項目（□年/月/日、□月/日/曜日、□12時間表示、□24時間表示）を押しても選ぶことができます。

※3 ［項目→］を押して選ぶこともできます。

※4 シャトルキーで合わせることもできます。

※5 ラジオなどの時報に合わせて［決定］を押すと、0秒からスタートできます。

●時計を設定しないと、簡易留守録、音声メモ、リダイヤル、スカイウォーカーなどのタイムスタンプ、ウェイクアップ、朝・昼・夜の運勢、スケジュール、カレンダーの時刻表示がされません。
　＊タイムスタンプとは、着信または発信時などに日付や時刻を添付することをいいます。

●電池パックを長時間（約2日以上）外したままにすると、時計が止まります。このようなときは、電池パックをセットしたあと、もう一度時計を合わせてください。

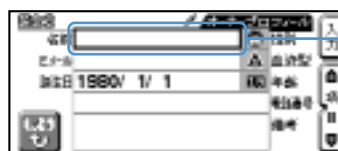
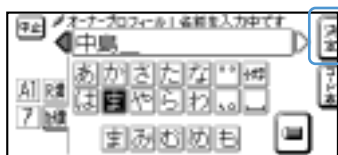
オーナープロフィールを入力する

オーナープロフィールを登録すると、誕生日のウェイクアップメッセージ、朝・昼・夜の運勢などが表示されます。J-フォンをお使いになるお客様の名前、Eメールアドレス、誕生日、性別、血液型、電話番号、備考などの情報を入力します。

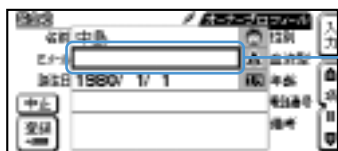
1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 設定2画面に切り替える（補足※2）

4 オーナープロフィール画面に切り替える

5 名前の入力画面に切り替える

6 名前を入力して、決定する

全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。（補足※3）

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

7 Eメールアドレスの入力画面に切り替える

オーナープロフィール画面について

直接選択と入力

太枠で囲まれている項目を押すと、入力画面に切り替わります。他の項目を直接押して選ぶと、押した項目が太枠で囲まれ、もう一度押すと太枠で囲まれた項目の入力画面に切り替わります。

入力

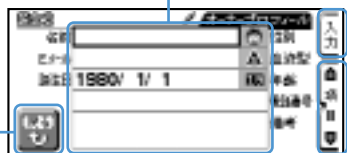
太枠で囲まれている項目の入力画面に切り替えます。

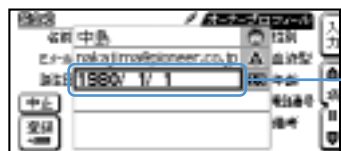
項目

入力する項目を選びます。選ばれた項目は、太枠で囲まれます。シャトルキーで入力する項目を選ぶこともできます。

戻る

機能選択画面に戻ります。

補足 は 次ページ参照。

8 Eメールアドレスを入力して、決定する

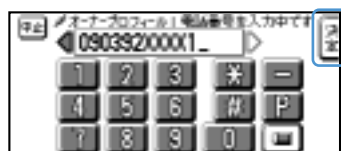
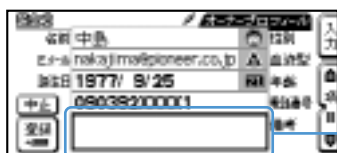
半角で60文字まで入力できます。
文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

9 誕生日の入力画面に切り替える

10 入力する項目を選ぶ（補足※4）

11 誕生日、性別、キャラクター（補足※5）、血液型を合わせる（補足※6）

選んだキャラクターには▼が表示されます。

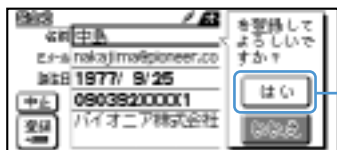
12 誕生日、性別、キャラクター、血液型を決定する

13 電話番号の入力画面に切り替える

14 電話番号（補足※7）を入力して、決定する

15 備考の入力画面に切り替える

16 備考を入力して、決定する

全角で24文字（半角で48文字）まで入力できます。

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

17 登録確認を表示させる

18 オーナープロフィールを登録する（補足※8）

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

※3 ・スカイウォーカーのホットラインで名前に所有者名を利用するときは、半角カタカナ（または半角英数字）で入力してください。

・JIS第2水準の漢字すべてに対応していないため、変換できない漢字もあります。

※4 を押して選ぶこともできます。

※5 性別で女を選ぶと、女性のキャラクターになります。

※6 シャトルキーで合わせることもできます。

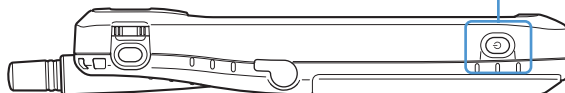
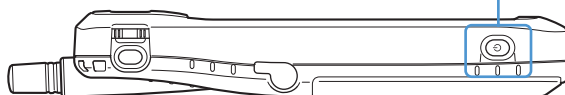
※7 ・ を入力することで、市外局番などを見やすくすることもできます。

・電話番号と操作番号をポーズ で区切って入力することもできます。先頭および を続けて入力することはできません（132ページ「通話中にプッシュトーンを一括して送る」参照）。

※8 を押すと登録を中止し、オーナープロフィール画面に戻ります。

簡単に使ってください

電源ON!／電源OFF!

■ 電源ON!のしかた

■ 電源OFF!のしかた

■ 最初の画面

電源を入れるとダイヤル画面が表示されます。この画面のときにダイヤルして電話をかけることができます。

ダイヤル画面

電波状態

電波の受信状態を表します。》の数が多いほど受信状態が良好です。

が表示されたときは、サービスエリア外または電波を受信できない場所にいるため、J-フォンをご利用になれません。

表示が消える場所に移動してください。

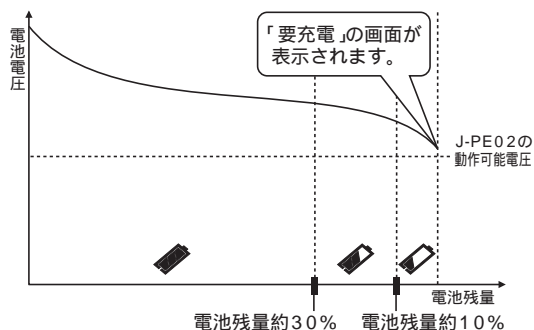
簡単に使ってください

■ 電池レベル表示について

J-フォンの電池レベル表示は、電池の残りの量とともに次のように変化します。電池レベル表示を確認して、充電してください。 になったら、「要充電」画面が表示されます。

電池レベル表示

- レベル3：充分
- レベル2：残り少ない
- レベル1：ほとんどない
- レベル0：要充電

電池電圧と電池残量の関係

補足

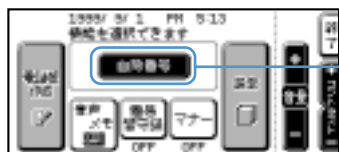
ご使用の温度条件によって電池レベル表示は変化します。

注意

電池レベル表示は目安！

電池レベル表示は電池残量の目安です。ご使用の状態により、電池レベル表示は変動する場合があります。

簡単に使ってください

■ 自分の電話番号を表示する

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 表示を切り替える（補足※2）

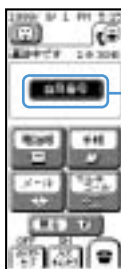
3 基本画面に戻す

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも [機能/自局] を押して切り替えることができます。

※2 機能選択画面で [自局番号] を押すと、[090392XXXX1] に表示を切り替えることができます。もう一度押すと表示が戻ります。

通話中に操作する

1 機能/自局番号表示に切り替える

2 表示を切り替える

3 画面を戻す

電話をかける

基本的な電話のかけかたです。

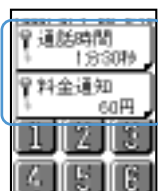
■ 電話番号を入力して電話をかける

1 電話番号を入力する

一般電話は市外局番から、携帯電話・自動車電話、PHSは電話番号全桁を入力します。

例） 一般電話：03 123X XXX1
携帯電話など：090XXXXXXXX

2 電話をかける（補足※1）

3 電話を切る

4 通話時間、通話料金を確認する（補足※2）

番号入力中画面

番号を訂正する

短く押すたびに最後の桁から１文字ずつ消えます。約１秒以上押すと表示されている番号がすべて消えます。

中止

電話番号入力を中止します。

P（ポーズ）

P（ポーズ）を入力します。P（ポーズ）に続けて入力する番号をプッシュトーンとして送ることができます（132ページ「通話中にプッシュトーンを一括して送る」参照）。

※1 発信されると呼び出し中の画面が表示されます。［プッシュトーン］を押すと呼び出し中にプッシュトーンを続けて入力できます。［終話］を押すと電話をかけるのを中止します。相手が電話に出ると、通話中の画面に切り替わります。

※2 電話が切れると「通話時間」と「通話料金」が約30秒表示されます。液晶タッチパネルに触れると表示は消えます。

時間や料金の表示は目安！

表示された時間や料金はあくまで目安としてご利用ください。

「通話料金」は表示させないようにすることもできます（157ページ「料金表示」参照）。

■ 国際電話をかける

J-フォンからは、国際電話サービスがご利用になれます。

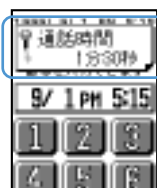
詳細については、以下をご覧ください。

・ジェイフォン東京でご契約のお客様「J-フォンガイドブック」
・ジェイフォン関西でご契約のお客様「サービスガイドブック」
・ジェイフォン東海でご契約のお客様「J-フォンサービスガイド」

電話を受ける

かかってきた電話を受けて通話します。電話がかかってくると着信ランプが点滅し、着信音または着信バイブレータで知らせます。また表示画面が着信画面に切り替わります。

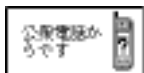
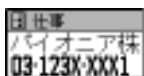
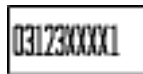
1 **電話にでる**

2 **電話を切る**

3 **通話時間を確認する**（補足※1）

補足

※1 電話が切れると「通話時間」が約30秒表示されます。液晶タッチパネルに触れると表示は消えます。

着信画面の表示

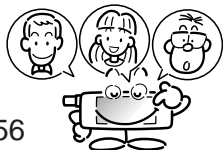
● 相手が公衆電話から電話をかけてきたとき（公衆電話の種類によっては表示されません）

● 電話帳に登録されている相手が番号通知で電話をかけてきたとき

● 相手が番号通知で電話をかけてきたとき

● 相手が番号非通知で電話をかけてきたとき

● その他の電話から電話をかけてきたとき

＊ 番号通知、番号非通知については、２１４ページ「発信者番号通知サービスを利用する」を参照してください。

機能紹介

機能紹介

メモリダイヤル（電話帳）
かける相手が多いときは電話帳に登録すると便利です

P56

クイックダイヤル
クイックダイヤルに登録されている番号で、電話をかけることができます

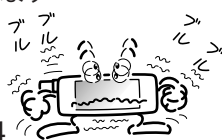
P70

リダイヤル
同じ相手に簡単にかけ直せます

P74

ジェットスクロール
メモリダイヤルに登録されている相手をシャトルキーで選んで電話をかけることができます

P82

バイブレータ
2種類のバイブレータから選べます

P84

オリジナル着信音（自作）
自作メロディを着信音に設定できます

P86

スカイメロディ
スカイメロディを着信音として選べます

P92

誤動作防止機能
ボタン操作しないようにロックします

P105

カスタム画面
ダイヤルボタンの形と数字の形（フォント）を選べます。

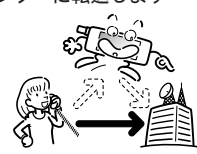
P109

マナーモード
着信音やボタン音を鳴らさないようにします

P116

応答保留
すぐに出られないとき保留にできます

P120

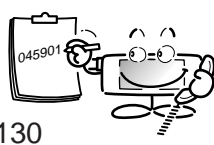
留守転送
すぐに出られないとき留守番電話センターに転送します

P123

簡易留守録
電話にでられないときJ-フォンがメッセージをお預かりします

P124

音声メモ
待受中に自分の音声を、通話中に相手の音声を録音できます

P126

ノートパッドメモリ
通話中に番号をメモできます

P130

タイマー・アラーム
自動電源のON/OFFを設定したり、アラームを設定することができます

P138

ウェイクアップ
電源を入れたときに音や絵を表示したり、スケジュールや運勢を表示できます

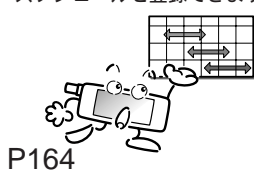
P149

スクリーンセーバー
使用していないときに、スクリーンセーバーが働き電池を長持ちさせます

P154

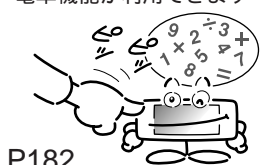
占い
自分の運勢や他人の運勢を見ることができます

P162

スケジュール
スケジュールを登録できます

P164

ゲーム
NINE FORCEやリンクルホップ2、お花育てゲームで遊べます

P176

簡易電卓
電卓機能が利用できます

P182

転送電話サービス
かかってきた電話を他の電話機に転送します

P184

留守番電話サービス
電話にでられないとき留守番電話サービスセンターがメッセージをお預かりします

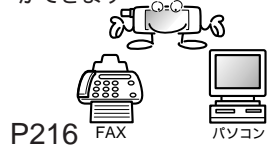
P192

割り込みコールサービス
通話中にかかってきた電話を受けられます

P201

マルチコール
3人で通話できます

P206

FAX・パソコン通信
FAX通信・パソコン通信ができます

P216

スカイウォーカー
メールで文字メッセージを送ります

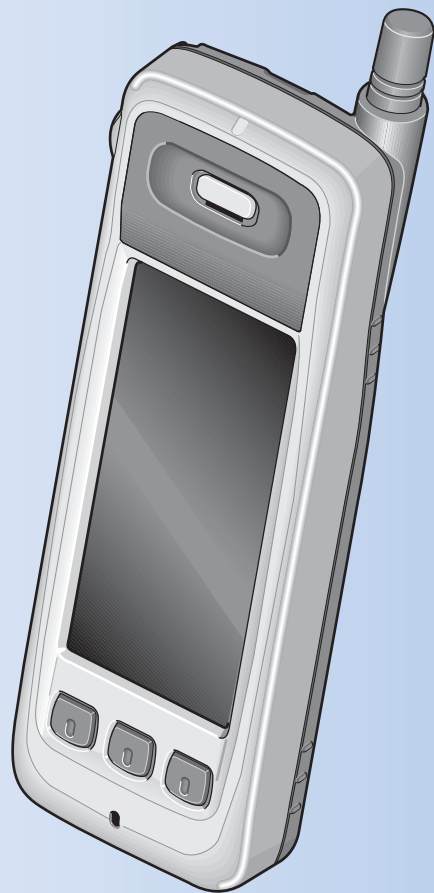
「Sky Walker/Sky Web編」

メモトーク
メモを記録したり、送信できます

「Sky Walker/Sky Web編」

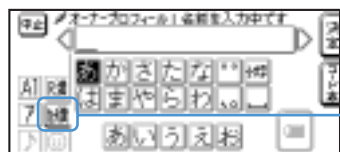
スカイウェブ
必要な情報を手にいれます

「Sky Walker/Sky Web編」

文字入力のしかた

文字の入力について

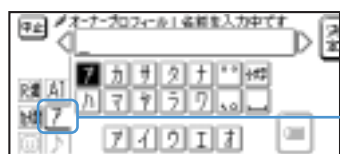
オーナープロフィールや電話帳での名前やＥメールアドレスの入力、スカイウォーカーなど各メッセージの作成、スケジュールやライブラリでの文書入力など、いろいろな場面で文字入力をします。J-フォンでは、ひらがな・カタカナ（全角/半角）、漢字、アルファベット（大文字/小文字、および半角/全角）、数字、記号、絵文字、メロディを扱うことができ、直接文字を入力する「カナ漢字入力」と、キーボード画面から入力する「ローマ字入力」があります。
絵文字、メロディの入力のしかたは、「SkyWalker/SkyWeb編」148ページ「自由文を作成する」を参照してください。

ローマ字入力ができます。

アルファベットを選び入力します（47ページ「ローマ字入力で文字を入力しよう」参照）。

カナ漢字入力ができます。

全角ひらがなを選び入力します。カタカナや漢字に変換することもできます。（41ページ「カナ漢字入力で文字を入力しよう」参照）。

英数字（アルファベットや数字）入力ができます。

英数字（アルファベットや数字）を選び入力します（50ページ「アルファベット、数字、記号を入力しよう」参照）。

半角カタカナ入力ができます。

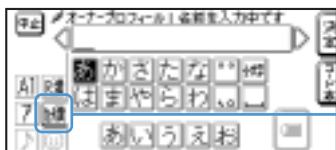
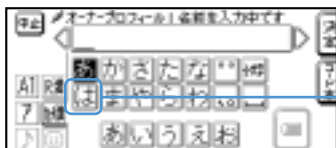
半角カタカナを選び入力します。入力は半角カタカナのみとなります。
入力方法は かな漢 と同じです。

- スカイウォーカーとライブラリの文字入力中に、入力バイト数が 中止 の下に表示されます。ただし、電話番号、Eメールアドレスの入力中は表示されません。（例：）
- 文字の入力中に、電源をOFFにすると、入力中のデータは消去されます。
  アラームやスクリーンセーバーの起動、着信のとき（オーナープロフィール入力中は除く）は、動作が終了すると入力画面に戻ります。
- 文字の入力中（オーナープロフィール入力中、着信音のタイトル入力中は除く）は が「ON」になっていても、文字の入力が優先されますので操作を約3分行わなくても、画面の表示は「ダイヤル画面」に戻りません（151ページ「デフォルトモードを設定する」参照）。
- 中止 を押すと入力を中止し、作成の操作が解除されます。

カナ漢字入力で文字を入力しよう

ひらがな・カタカナ・漢字の入力のしかた

例として「パイオニア本社」を入力します。まず、ひらがなで「ぱいおにあ」と入力してカタカナに変換し、「ほんしゃ」と入力して漢字に変換します。

かなの入力をする（例：ぱいおにあ）

1 **カナ漢字入力を選ぶ**

2 **「は」行を選ぶ**（補足※1）

画面下部に「はひふへほ」が表示されます。

3 **濁音に切り替える**（補足※2）

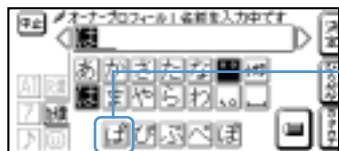
画面下部に「ばびぶべぼ」が表示されます。

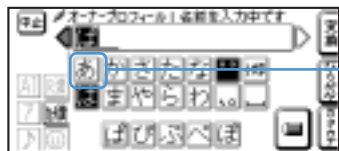
入力できる濁音・半濁音一覧

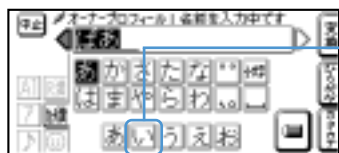
		ヴ	
がぎぐげご	ばびぶべぼ	ガギグゲゴ	バビブベボ
ざじずぜぞ	ぱぴぷぺぽ	ザジズゼゾ	パピプペポ
だぢづでど		ダヂヅデド	

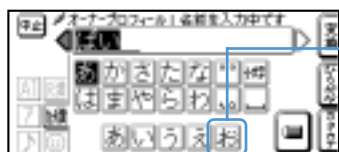
4 **もう一度押して半濁音に切り替える**（補足※2）

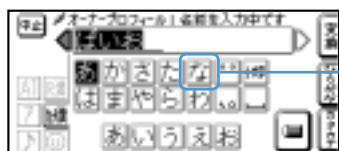
画面下部に「ぱぴぷぺぽ」が表示されます。

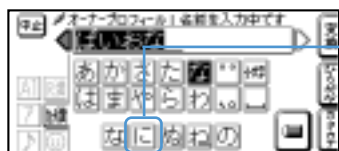
補足は 45ページ参照。

5 **「ぱ」を選ぶ**（補足※2）

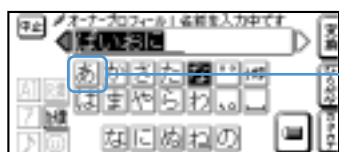
入力枠に「ぱ」が反転表示されます。

6 **「あ」行を選ぶ**

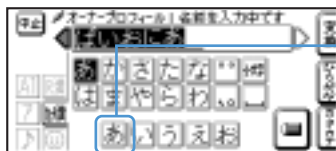
画面下部に「あいうえお」が表示されます。

7 **「い」を選ぶ**

入力枠に「い」まで反転表示されます。

8 **「お」を選ぶ**

入力枠に「お」まで反転表示されます。

9 **「な」行を選ぶ**

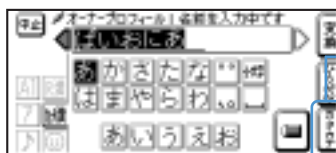
画面下部に「なにぬねの」が表示されます。

10 **「に」を選ぶ**

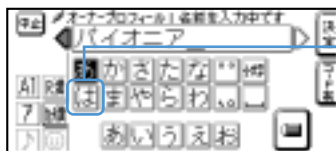
入力枠に「に」まで反転表示されます。

11 **「あ」行を選ぶ**

画面下部に「あいうえお」が表示されます。

12 **「あ」を選ぶ**（補足※1）

カタカナに変換する **に進む**

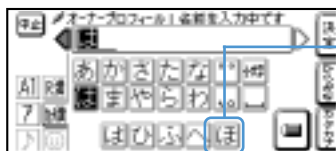
入力枠に「あ」まで反転表示されます。

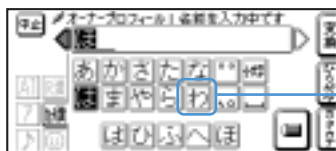
カタカナに変換する（例：ぱいおにあ→パイオニア）

13 **カタカナに変換する**（補足※3）

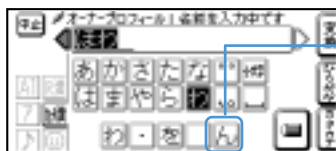
入力枠に「パイオニア」が表示されます。

14 **「は」行を選ぶ**

かなの入力をする **に進む**

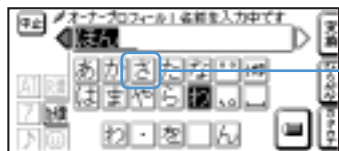
画面下部に「はひふへほ」が表示されます。

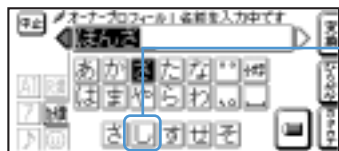
かなの入力をする（例：ほんし）

15 **「ほ」を選ぶ**

入力枠に「ほ」が反転表示されます。

16 **「わ」行を選ぶ**

画面下部に「わ・を　ん」が表示されます。

17 **「ん」を選ぶ**

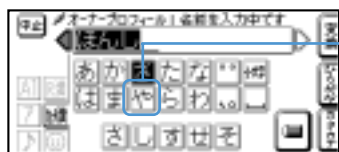
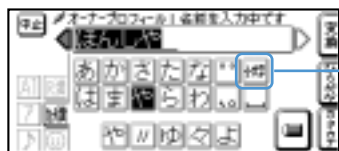
入力枠に「ん」まで反転表示されます。

補足は 45ページ参照。

18 「さ」行を選ぶ

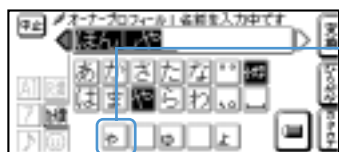
画面下部に「さしすせそ」が表示されます。

19 「し」を選ぶ

小文字の入力をする に進む

入力枠に「し」まで反転表示されます。

小文字の入力をする（例：ゃ）

20 「や」行を選ぶ

画面下部に「や〃ゆ々よ」が表示されます。

21 小文字に切り替える

画面下部に「ゃ　ゅ　ょ」が表示されます。

22 「ゃ」を選ぶ

漢字に変換する に進む

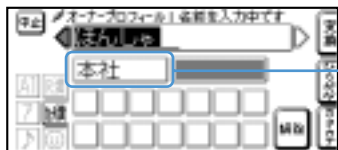
入力枠に「ゃ」まで反転表示されます。

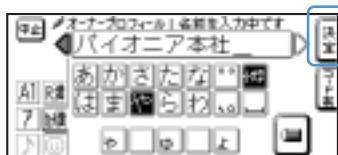
入力できる小文字一覧

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	っ	ゃ	ゅ	ょ	ゎ
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ッ	ャ	ュ	ョ	ヮ

漢字に変換する（例：ほんしゃ→本社）

23 漢字に変換する

変換候補が表示されます。

24 「本社」を確定する（補足※4）

入力枠に「パイオニア本社」が表示されます。

25 文字の入力を確定する

文字入力を終了し、作成や編集、登録などの各画面に戻ります。

入力を間違えたとき

消しゴム

消したい文字にカーソル（＿）をあわせて、文字を消すことができます。短く押すと1文字、長く押し続けると入力枠内のすべての文字を消すことができます。

補足

※1 五十音の「あ、か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ」はそれぞれの行を選んだときに、入力枠に反転表示されます。
次の行を選ぶと入力枠に反転表示されていた文字は自動的に決定されます。

※2 濁音、半濁音がないひらがな（カタカナ）のときは表示されません。

※3 を押すと入力した文字がひらがなで確定されます。

※4 表示された変換候補の漢字が、入力する漢字でないときは、漢字一覧より漢字を選びます。 を押すと次の漢字一覧が表示されます。JIS第2水準の漢字すべてに対応していないため、変換できない漢字もあります。

一括変換ができないとき

熟語での一括変換ができない漢字のときは、 または で変換する漢字の「よみ」を切り替えてから、漢字の変換候補を表示して選んでください。

ひらがなで確定

ひらがながグレーで表示（ ）されているときは、入力する漢字を選んだときにひらがなで確定入力されます。

例：「今日は」 →

漢字変換をやめるとき

漢字変換を中止するときは を押してください。

改行の入力

スカイウォーカーのメッセージやライブラリの作成では、改行を入力することができます。

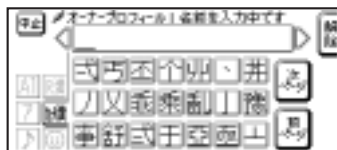
を押すと改行マーク（ ）が入力され、次の行に移動します。

句読点・スペースの入力

を押すと「、。？！-」を入力することができ、 を押すと文字と文字の間隔を空けることができます。

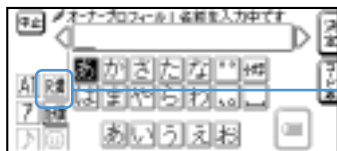
コード表からの漢字入力

を押すと漢字コード一覧が表示されます。その中から選ぶこともできます。

 ・ で一覧表の表示切り替えができます。 でかな入力の画面に戻ります。

ローマ字入力で文字を入力しよう

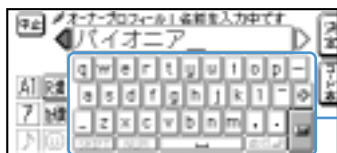
ひらがな・カタカナ・漢字の入力のしかた

例として「パイオニア本社」を入力します。まずローマ字入力で「ぱいおにあ」と入力してカタカナに変換し、「ほんしゃ」と入力して漢字に変換します。

かなの入力をする（例：paionia→ぱいおにあ）

1 **ローマ字入力を選ぶ**

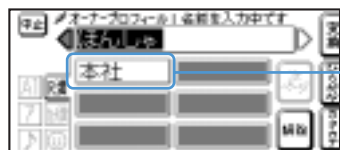
2 **「paionia」と入力する**
カタカナに変換する に進む
入力枠には「ぱいおにあ」とひらがなで反転表示されます。

カタカナに変換する（例：ぱいおにあ→パイオニア）

3 **カタカナに変換する**
入力枠に「パイオニア」が表示されます。

4 **「honnsya」と入力する**
漢字に変換する に進む
入力枠には「ほんしゃ」とひらがなで反転表示されます。

漢字に変換する（例：ほんしゃ→本社）

5 漢字に変換する（補足※1）

変換候補が表示されます。

6 「本社」を確定する

入力枠に「パイオニア本社」が表示されます。

7 文字の入力を確定する

文字入力を終了し、作成や編集、登録などの各画面に戻ります。

補足

※1 表示された変換候補の漢字が、入力する漢字でないときは、漢字一覧より漢字を選びます。 を押すと次の漢字一覧が表示されます。JIS第2水準の漢字すべてに対応していないため、変換できない漢字もあります。

入力を間違えたとき

消しゴム

消したい文字にカーソル（_）をあわせて、文字を消すことができます。短く押すと、1文字、長く押し続けると、入力枠内のすべての文字を消すことができます。

一括変換ができないとき

熟語での一括変換ができない漢字のときは、◀ ▶または で変換する漢字の「よみ」を切り替えてから、漢字の変換候補を表示して選んでください。

ひらがなで確定

ひらがながグレーで表示（は）されているときは、入力する漢字を選んだときにひらがなで確定入力されます。

例：「今日は」 きょうは → 今日は

漢字変換をやめるとき

漢字変換を中止するときは を押してください。

改行の入力

スカイウォーカーのメッセージやライブラリの作成では、改行を入力することができます。

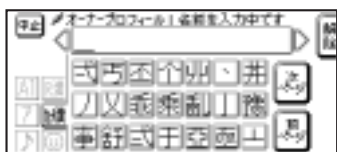
 または 改行 を押すと改行マーク（↓）が入力され、次の行に移動します。

スペースの入力

␣ を押すと文字と文字の間隔を空けることができます。

コード表からの漢字入力

 を押すと漢字コード一覧が表示されます。その中から選ぶこともできます。

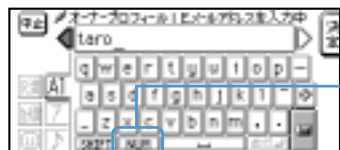
 ・ で一覧表の表示切り替えができます。 でローマ字入力の画面に戻ります。

アルファベット、数字、記号を入力しよう

例としてＥメールアドレス「taro335@pioneer.ne.jp」を入力します。

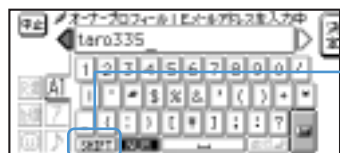
アルファベットの入力をする

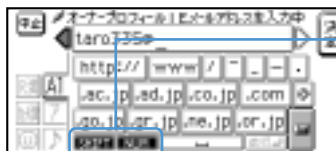
1 英数入力を選ぶ（補足※1）

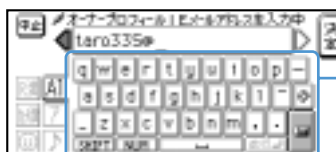
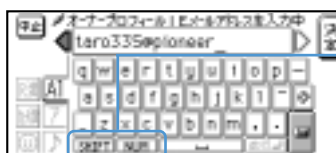
2 「taro」と入力する（補足※2）
数字の入力をする に進む
入力枠には「taro」と半角アルファベットで表示されます。

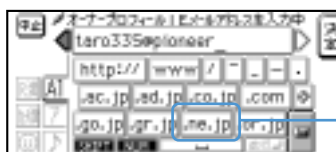
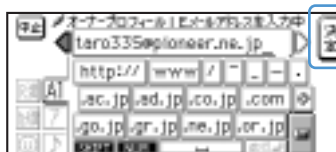
数字の入力をする

3 キーボード表示を切り替える
数字・記号表示に切り替わります。

4 「335」を入力する
記号の入力をする に進む

記号の入力をする

5 キーボード表示を切り替える
インターネット記号表示に切り替わります。

6 「@」マークを入力する

7 キーボード表示を切り替える

アルファベット小文字表示に切り替わります。

8 「pioneer」を入力する

9 キーボード表示を切り替える

インターネット記号表示に切り替わります。

10 「.ne.jp」を入力する

11 文字の入力を確定する

文字入力を終了し、作成や編集、登録などの各画面に戻ります。

補足

※1 オーナープロフィールや電話帳作成のEメールアドレスを入力するときなどは、あらかじめ半角の英数入力が選ばれ、他の入力方法を選ぶことはできません。

※2 Eメールアドレス入力以外で[全角]、[半角]が表示されているときは、文字を入力する前に全角・半角を決定し、入力します。

入力を間違えたとき

消しゴム

消したい文字にカーソル（_）をあわせて、文字を消すことができます。短く押すと、1文字、長く押し続けると、入力枠内のすべての文字を消すことができます。

キーボードの表示と SHIFT ・ NUM の関係

A1 を押して入力画面に切り替えたときのキーボードの表示

SHIFT を押したとき（反転させたとき）のキーボードの表示

NUM を押したとき（反転させたとき）のキーボードの表示

SHIFT と NUM の両方を押したとき（反転させたとき）のキーボードの表示

改行の入力

スカイウォーカーのメッセージやライブラリの作成では、改行を入力することができます。
改行 を押すと改行マーク（↓）が入力され、次の行に移動します。

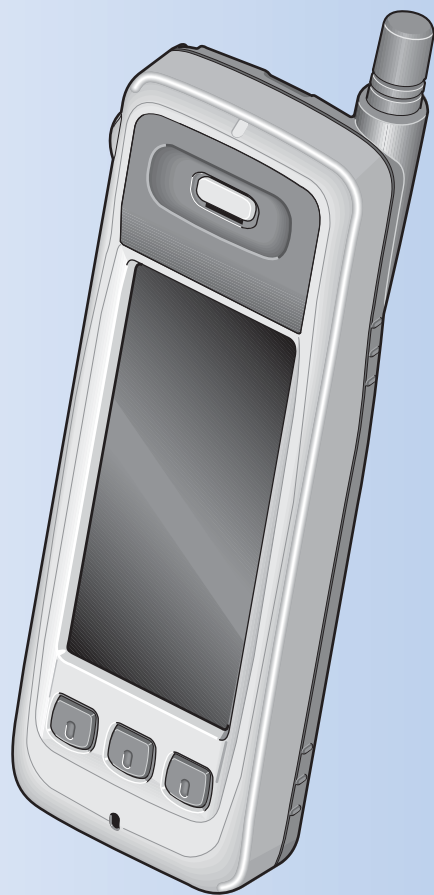
スペースの入力

␣ を押すと文字と文字の間隔を空けることができます。

ローマ字変換一覧

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
	(YI)			
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
(CA)		(CU)		(CO)
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SE	SO
	(SHI)			
	(CI)		(CE)	
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	(CHI)	(TSU)		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		(FU)		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や	い	ゆ	いぇ	よ
YA	YI	YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ	う	うぇ	を
WA	WI	WU	WE	WO
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	(JI)			
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
(SHA)		(SHU)	(SHE)	(SHO)
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
(CHA)		(CHU)	(CHE)	(CHO)
(CYA)	(CYI)	(CYU)	(CYE)	(CYO)
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO

ふゃ	ふぃ	ふゅ	ふぇ	ふょ
FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
(JA)		(JU)	(JE)	(JO)
(JYA)	(JYI)	(JYU)	(JYE)	(JYO)
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
QA	QI	QU	QE	QO
つぁ	つぃ	つ	つぇ	つぉ
TSA	TSI	TSU	TSE	TSO
とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
ふぁ	ふぃ	ふ	ふぇ	ふぉ
FA	FI	FU	FE	FO
ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ
DWA	DWI	DWU	DWE	DWO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA	VI	VU	VE	VO
ヴャ	ヴィ	ヴュ	ヴェ	ヴョ
VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
	(VI)		(VE)	
ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
XA	XI	XU	XE	XO
(LA)	(LI)	(LU)	(LE)	(LO)
ゃ	ぃ	ゅ	ぇ	ょ
LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
っ	ん			
LTU	NN			
	N（子音）			

ローマ字入力で、キーボードから「，．~」を選ぶと、「、 。～」で入力されます。

記号一覧

次の記号は、左の読みで変換すると入力できます。

おなじ	ヽヾゝゞ仝々
かっこ	‘　’“　”（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】 [ ] { } ( ) 〈〉　„‟　‚‛
きごう	？！∞∴♂♀℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§※〒→←↑↓
きじゅつ	、。，．・：；゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇 ―‐‐／＼～‖｜…‥〓
ぎりしあ	Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
けいさん	＋－±×÷＝≠＜＞≦≧
さんかく	△▲▽▼
しかく	□■
しゃせん	／＼
ずけい	☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼
せっし	℃
とくしゅ	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇 ―‐‐／＼～‖｜…‥‘　’“　”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』 【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆ ★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓ゎゐゑヮヰヱヴヵヶー 壱億九五伍三参四七拾十千兆二弐八百万六
やじるし	→←↑↓
ろしあ	А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я
かおもじ かお	^^;　^_^;　(^^)　(^_^)　(^o^)　(^0^)　(^○^)　(^_^;)　(^^ゞ (;_;)　(＠_＠)　(i_i)　(T_T)　(＊_＊)　(＋_＋)　(-.-)　(-_-) (-_-;)　(..)　(._.)　(^.^)　(^Ø_Ø^)　(~_~メ)　(~o~) (~_~)　(~_~;)　>^_^<　)^o^(

じょうずに使いましょう

知り合いの電話番号を登録する（メモリダイヤル）

電話帳に相手を登録しておくと、簡単に電話をかけることができます。また、電話をかけるだけでなく、スカイウォーカーを使うときや電話がかかってきたときにも役立ちます。

登録した電話番号やEメールアドレスを失わないために

電話帳に登録した相手の名前、電話番号、Eメールアドレスは、事故や故障のために消えてしまうことがあります。大切な情報は、控えをとっておくことをおすすめします。なお、事故や故障が原因で電話帳の登録内容が変化・消失した場合の損害および損失利益について当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

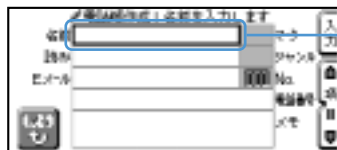
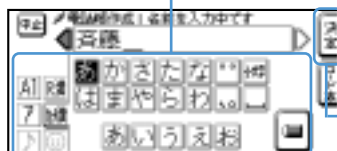
登録の準備

電話帳への新規登録は、相手の名前、よみがな、電話番号、Ｅメールアドレスなどを、マークやジャンルなどで分類しながら入力します。また簡単なメモも入力することができ、500件まで登録することができます。

補足

※1 ダイヤル画面で [機能/作成] を押しても、電話帳の機能選択画面に切り替えることができます。

名前を入力する

名前は漢字、ひらがな、カタカナ、半角カタカナ、アルファベット、数字で入力することができ、全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。また名前の入力は省略することもできます。

1 **名前を入力する画面に切り替える**

2 **名前を入力する**

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

3 **名前を決定する**

読みを入力する に進む

電話帳作成画面について

直接選択と入力

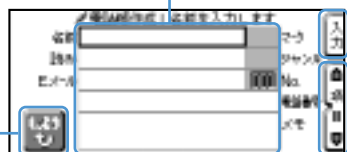
太枠で囲まれている項目を押すと、入力画面に切り替わります。他の項目を直接押して選ぶと、押した項目が太枠で囲まれ、もう一度押すと太枠で囲まれた項目の入力画面に切り替わります。

入力

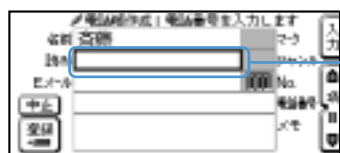
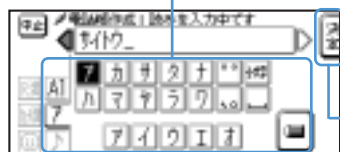
太枠で囲まれている項目の入力画面に切り替えます。

項目

入力する項目を選びます。選ばれた項目は、太枠で囲まれます。シャトルキーで入力する項目を選ぶこともできます。

戻る

機能選択画面に戻ります。

読みを入力する

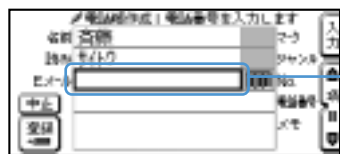
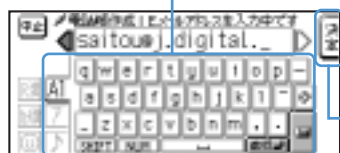
名前の読みを入力します。半角で20文字まで入力することができます。ここで入力した読みは検索のときに使用します。
入力された「読み」の編集が必要ないときは、**Eメールアドレスを入力する**に進んでください。

1 読みを入力する画面に切り替える

2 読みを入力する

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

3 読みを決定する

Eメールアドレスを入力する に進む

Eメールアドレスを入力する

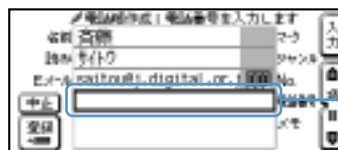
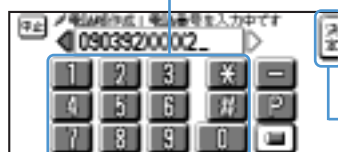
相手のEメールアドレスを半角の英・数字、記号など60文字まで入力できます。
Eメールアドレスの入力は省略することもできます。

1 Eメールアドレス入力画面に切り替える

2 Eメールアドレスを入力する

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

3 Eメールアドレスを決定する

電話番号を入力する に進む

電話番号を入力する

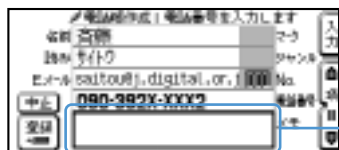
電話番号を40桁以内で、市外局番からすべて入力します。電話番号の入力は省略することもできます。

※1 ・ ［－］を入力することで、市外局番などを見やすくすることもできます。
・電話番号と操作番号をポーズ［P］で区切って入力することもできます。先頭および［P］を続けて入力することはできません（132ページ「通話中にプッシュトーンを一括して送る」参照）。

注意

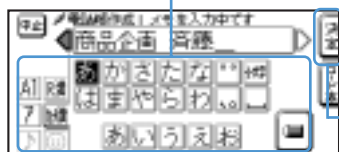
「184」（イヤヨ）と「186」

発信者番号通知サービスのお申し込みにより、通知・非通知の入力が異なります。詳しくは214ページ「発信者番号通知サービスを利用する」を参照してください。

メモを入力する

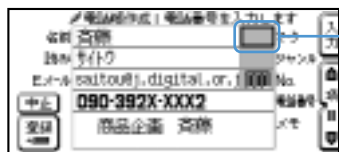
メモを全角で20文字（半角で40文字）まで入力することができます。メモの入力は省略することもできます。

1 **メモ入力画面に切り替える**

2 **メモを入力する**

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

3 **メモを決定する**

マークを選ぶに進む

マークを選ぶ

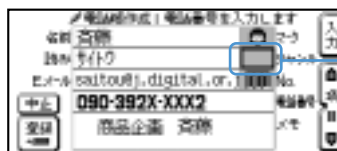
63種類のマークの中から1つだけ選ぶことができます。マークは検索に使うことができます。
マークを省略すると、そのときの検索では「マークなし（□）」に登録されます。

1 **マーク入力画面に切り替える**

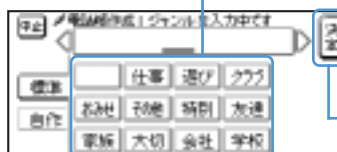
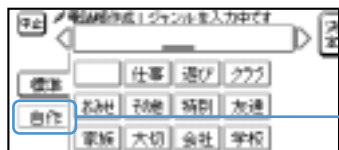
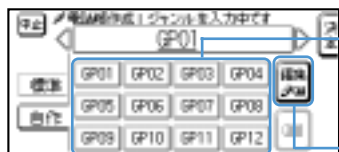
2 **マークを選ぶ**（補足※1）

3 **マークを決定する**

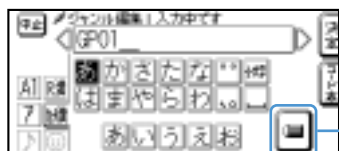
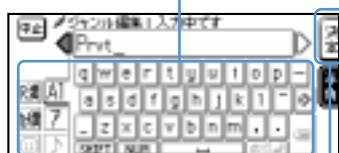
ジャンルを選ぶに進む

ジャンルを選ぶ

24種類（J-フォン登録12種類＋自作最大12種類）に分類することができ、検索に使うことができます。ジャンルを省略すると、そのときの検索では「ジャンルなし(□)」に登録されます。

J-フォン登録済みのジャンルから選ぶ

じょうずに使いましょう

ジャンルを自作して選ぶ

1 **自作ジャンル画面に切り替える**

2 **自作を登録する場所を選ぶ**（補足※1）

選んだ場所が入力枠に表示されます。

3 **ジャンル編集画面に切り替える**

4 **ジャンル名を消す**

5 **ジャンル名を入力する**（補足※2）

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

6 **ジャンル名の入力を決定する**

7 **ジャンル名を決定する**

No.（保存No.）を編集する **に進む**

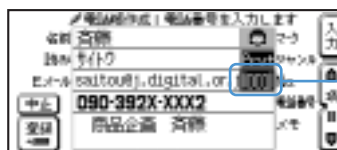
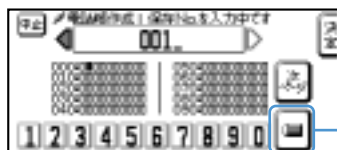
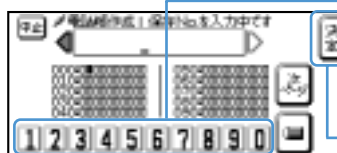
※1「GP01」はグループ01番という意味で、これを自作に書き替えます。

※2 ・全角で2文字（半角で4文字）入力できます。文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

・スペース（＿）のみで入力することはできません。

・「標準」のジャンル名と同じ名称は、自作ジャンルに登録できません。。

No.（保存No.）を編集する

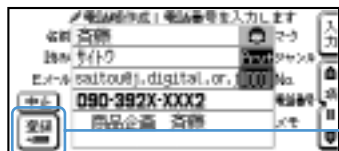
No.（保存No.）は作成した順に自動登録されます。
No.（保存No.）の編集が必要ないときは、**電話帳に登録する**に進んでください。
No.（保存No.）を変更して管理したいときは、自分の好きな保存No.を入力することができます。利用できるNo.（保存No.）は000〜499までの500件です。
No.（保存No.）の000〜099までに登録された相手には、スピードダイヤルで電話をかけることができます（73ページ「いろいろな方法で電話をかける」参照）。

※1 ・保存No.が「▮」の場所はすでに登録済みです。空白の番号を選ぶか、[ボタン]を押して他のNo.（保存No.）表示に切り替えます。
・左側より3桁を入力します。
・ハンズフリーキットA（別売品）に対応する番号は0〜29です。

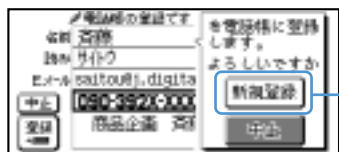
上書きできません！

すでに電話帳に登録されているNo.（保存No.）には上書き登録できません。同じNo.（保存No.）を使用したいときは、登録されている電話帳データを削除してください。
496〜499には以下のように4件があらかじめ登録されています。

- 留守番電話（有料）　1416
- 総合案内（無料）　157
- 故障案内（無料）　113
- 料金案内（無料）　154

電話帳に登録する

入力した相手を電話帳に登録します。

1 電話帳に登録する

登録確認のメッセージが表示されます。

2 新規登録を選ぶ（補足※1）

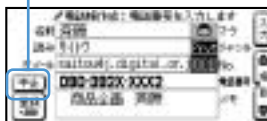
3 入力を終了する（補足※2）

電話帳画面またはダイヤル画面に戻ります。

電話帳登録を中止するとき

中止

電話帳の登録を中止します。

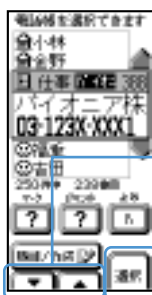
補足

※1 中止 を選ぶと登録を中止し、前の画面に戻ります。

※2 電話帳の新規登録を続けるときは 新規入力 を押します。

電話帳の登録内容を編集・削除する

すでに電話帳に登録した相手の登録内容を編集したり、不要な相手を削除できます。

電話帳選択画面を表示する

1 **電話帳画面に切り替える**

2 **編集・削除したい相手を選ぶ**（補足※1）

3 **表示された相手に決定する**

選んだ相手の電話帳選択画面に切り替わります。

電話帳選択画面について

編集

選んだ相手の内容を編集します。

シークレット

選んだ相手をシークレットにします。

中止

選んだ相手の編集を中止します。

削除

選んだ相手を削除します。

補足

※1 ・シャトルキーや▲▼で相手を選ぶこともできます。

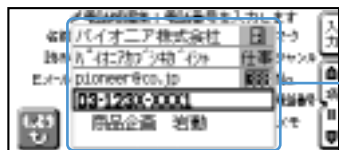
・「マーク」「ジャンル」「よみ」などで範囲を限定して検索すると便利です（79ページ「電話帳データの検索」参照）。

相手の内容を編集する

電話帳の名前や電話番号などの内容を修正します。

1 **電話帳選択画面で相手を選ぶ**

65ページ 1 〜 3 の操作をする。

2 **電話帳編集画面に切り替える**

3 **修正したい項目を選び、編集する**（補足※1）

4 **編集した電話帳を登録する**

登録確認のメッセージが表示されます。

5 **上書き登録する**（補足※2）

変更した内容を登録されていた内容と入れ替えて登録します。登録されていた内容は残りません。

別登録するとき

別登録

編集した内容を登録されていた内容とは別に新しく電話帳に登録します。登録されていた内容はそのまま残ります。

補足

※1 修正入力のしかたは新規登録と同じです（56ページ「知り合いの電話番号を登録する」参照）。

※2 ・上書き登録すると確認メッセージが表示されます。
・を選ぶと登録を中止し、電話帳入力画面に戻ります。

秘密にしたい電話番号を登録する（シークレットメモリ）

選んだ電話番号や同じマークに分類されているすべての電話番号をシークレットに登録して、電話帳シークレットで「表示する」「表示しない」を選ぶことができます。また、「表示しない」に設定した番号で電話をかけると、電話帳に登録済のデータと一致してもリダイヤルに名前などが記憶されません。

1 電話帳選択画面で相手を選ぶ

65ページ 1 ～ 3 の操作をする。

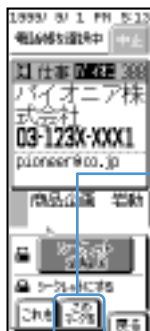
2 操作用暗証番号入力画面に切り替える

3 操作用暗証番号を入力する（補足※1）

4桁が入力されるとシークレット設定画面に切り替わります。

4 選んだ相手を登録する（補足※2）

シークレットに登録され、電話帳画面に戻ります。

マークの分類でシークレットに登録するとき

このマークを

選んでいるマークで登録されているすべての相手先がシークレットに設定されます。

シークレットに登録した相手の表示について

シークレットに登録した相手は🔒マークで表示されます。「シークレットに登録した電話帳の内容を表示しない」(98ページ参照)で[電話帳シークレット]を「非表示」(✕)に設定すると、電話帳には電話番号は表示されず選べません。このときは、「ロック機能の設定」で[電話帳シークレット]を表示(👁)に変更してから、選んでください。

補足

※1 ご購入時の操作用暗証番号は「9999」もしくはJ-フォンをご契約いただいたときに、お決めいただいた4桁の番号に設定されています。
操作用暗証番号が間違っていると「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。メッセージ表示後、もう一度正しい操作用暗証番号を入力してください。

※2 シークレットに登録された電話番号には🔒マークが表示されます。

シークレットを解除する

シークレットに登録した電話番号やマークを解除します。

1 シークレット解除画面にする

65ページ 1 ～ 3 の操作をする。

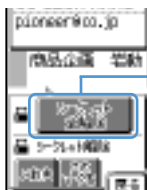
2 選んだ相手のシークレット登録を解除する

シークレット登録が解除され、電話帳画面に戻ります。

選んだマークのシークレットの登録を解除するとき

このマークを

選んでいるマークで登録されているすべての相手先のシークレット登録を解除します。

全てのシークレットの登録を解除するとき

シークレット全解除

電話帳内すべてのシークレットの登録を解除します。

クイックダイヤルに電話番号を登録する

クイックダイヤルにはよく電話をかける相手を5件まで登録できます。

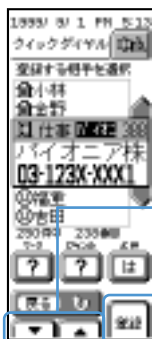
クイックダイヤルに登録する

登録には電話帳のデータを使います。

1 **クイックダイヤル画面に切り替える**

2 **登録する場所を選ぶ**（補足※1）

選ばれた場所は、太枠で囲まれます。

3 **電話帳検索画面に切り替える**

4 **登録したい相手を表示する**

（補足※2）

5 **クイックダイヤルに登録する**

登録確認の画面が表示されます。

6 登録を確認する（補足※3）

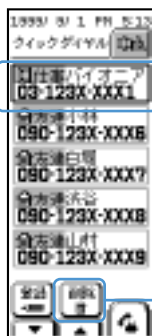
クイックダイヤル画面に戻ります。

※1 シャトルキーや［▼］［▲］で選ぶこともできます。

※2 ・シャトルキーや▲▼で相手を選ぶこともできます。
・「マーク」「ジャンル」「よみ」などで範囲を限定して検索すると便利です（79ページ「電話帳データの検索」参照）。
・シークレットの設定で「非表示」を選んでいるときは、シークレットメモリに登録された相手は選ぶことはできません（67ページ「秘密にしたい電話番号を登録する（シークレットメモリ）」参照）。

※3 ［いいえ］を押すと登録を中止し、電話帳検索画面に戻ります。

クイックダイヤルから削除する

1 **クイックダイヤル画面に切り替える**

2 **削除する相手を選ぶ**（補足※1）

3 **クイックダイヤルから削除する**

削除確認の画面が表示されます。

4 **削除を確認する**（補足※2）

クイックダイヤル画面に戻ります。

※1 シャトルキーや［▼］［▲］で選ぶこともできます。
※2 ［いいえ］を押すと削除を中止し、クイックダイヤル画面に戻ります。

いろいろな方法で電話をかける

リダイヤルで電話をかける

前にかけた電話番号、受けた電話番号の履歴から相手を選んで簡単にかけ直すことができます。履歴は電源を切っても記録されています（履歴については214ページ「発信者番号通知サービスを利用する」参照）。

補足

※1 履歴の種類は、以下の3種類があります。

：電話をかけた相手、受けた相手（相手が番号通知でかけてきたとき）の電話番号と、通話中に記録した番号（ノートパッドメモリ）を表示します。

：電話をかけた相手のみを表示します。

：電話を受けた相手のみを表示します。（相手が番号通知でかけてきたときのみ）

※2 シャトルキーや▲▼で相手を選ぶこともできます。

リダイヤルの件数

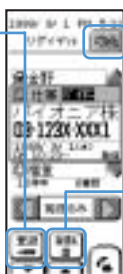
リダイヤルの履歴は最新の20件分が記録されます。履歴が20件を超えると古い履歴は自動的に削除されます。

ノートパッドメモリで電話をかける

通話中にメモした電話番号にリダイヤルと同じ操作で電話をかけることができます（130ページ「通話しながら電話番号をメモする（ノートパッドメモリ）」参照）。

リダイヤルについて

登録

表示している履歴を電話帳に登録します。登録したあとは電話帳機能で編集することができます。

中止

リダイヤルを中止します。

削除

記録している履歴を削除します。

いろいろな方法で電話をかける

リダイヤルを削除する

1 **削除するリダイヤルを選ぶ**

74ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 **リダイヤルを削除する**

削除確認の画面が表示されます。

3 **選んだリダイヤルを削除する**（補足※1）

全部を削除するとき

全部を削除

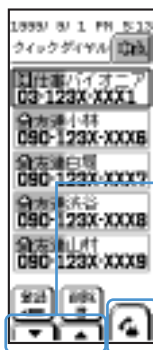
リダイヤルの履歴をすべて削除します。

補足

※1 中止 を選ぶと削除を中止し、リダイヤル画面に戻ります。

クイックダイヤルで電話をかける

よく電話をかける相手をクイックダイヤルに登録しておくと、素早く電話をかけることができます。
クイックダイヤルの登録は70ページ「クイックダイヤルに電話番号を登録する」を参照してください。

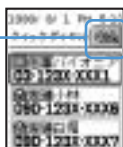
1 **クイックダイヤル画面に切り替える**

2 **相手を選ぶ**（補足※1）

選んだ相手が太枠で囲まれます。

3 **電話をかける**（補足※2）

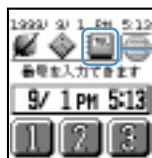
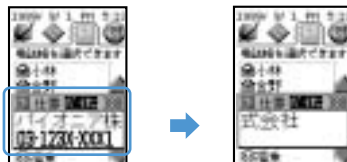
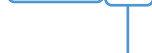
クイックダイヤルを中止するとき

中止

クイックダイヤルを中止します。

※1 シャトルキーや相手先を直接押して選ぶこともできます。

※2 選んだ相手を約2秒以上直接押し続けても、電話をかけることができます。

電話帳で電話をかける（メモリダイヤル）

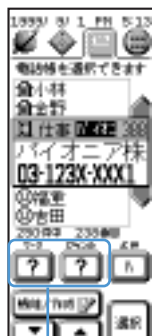
電話帳に登録（500件まで）してある相手の中から、1件を選び出し電話をかけることができます。「マーク」「ジャンル」「よみ」などの分類で登録してあるときは、その分類で限定して検索して、相手を選ぶこともできます。
電話帳の登録は56ページ「知り合いの電話番号を登録する（メモリダイヤル）」を参照してください。

電話帳を中止するとき

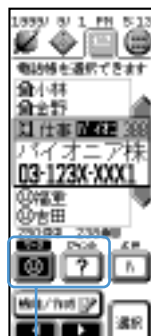
中止

電話帳を中止します。

電話帳データの検索

「マーク」「ジャンル」での検索

「マーク」「ジャンル」を選んで、その中だけで検索することができます。
「？」のときはすべてのデータの中からの検索になります。

1 「マーク」または「ジャンル」を押す

2 「マーク」または「ジャンル」の種類を選ぶ

3 選んだ「マーク」または「ジャンル」を決定する

補足

※1「よみ」での検索は、表示される画面が異なります。また分類を組み合わせて限定することもできます（80ページ参照）。

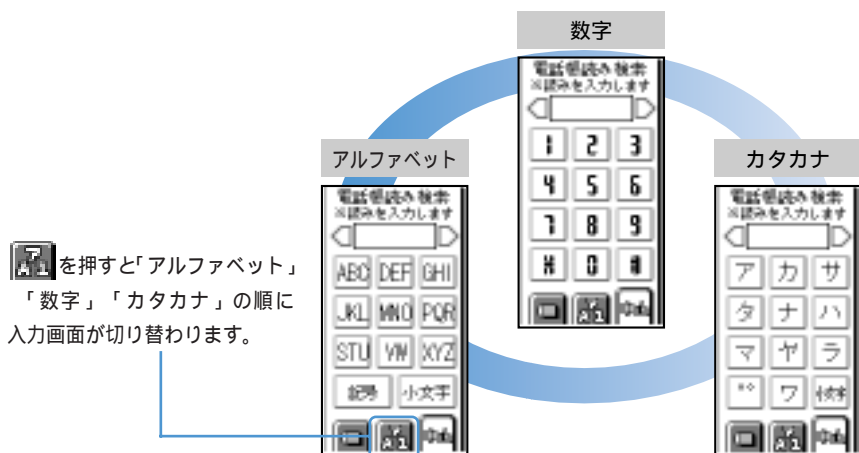
※2 シャトルキーや▲▼で選ぶこともできます。押し続けるとジェットスクロールになります（82ページ「ジェットスクロールで電話をかける」参照）。

シャトルキーで画面を切り替える

ダイヤル画面のときシャトルキーで上（または下）にスライドさせると電話帳画面に切り替わります。さらに1秒以上スライドさせるとジェットスクロール画面に切り替わります。

「よみ」での検索

「よみ」を押すと「よみ（カタカナ）」の入力画面に切り替わります。

を押すと「アルファベット」→「数字」→「カタカナ」の順に入力画面が切り替わります。

1 よみの行の頭文字を押し、よみの文字を入力する（補足※1）

2 よみを決定する（補足※2）

3 検索します（補足※3）

補足

※1 **カタカナの入力**　：ア を押すごとに、**「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」**の順に入力できます。

「バ」の入力　：ハ を押してから ゛ を押します。

「パ」の入力　：ハ を押してから ゛ を2回押します。

「ッ（小文字）」の入力：タ を3回押してから 小文字 を押します。

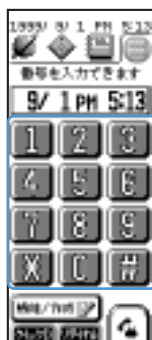
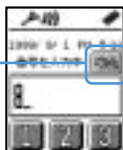
アルファベットの入力：ABC を押すごとに、**「A」「B」「C」**の順に入力できます。

※2 間違って入力したときは◀または▶で、修正したい文字にカーソルを合わせて ▭ を押します。

※3 電話帳データの中から入力された文字に最も近いものを中心に表示し、電話帳画面に切り替わります。

いろいろな方法で電話をかける

スピードダイヤルで電話をかける

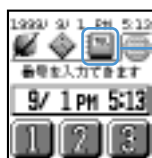
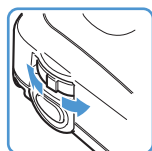
電話帳に保存したときの「No.（保存No.）」000～099の中から電話をかけたい相手の「No.（保存No.）」を入力して、素早く電話をかけることができます。

※1 No.（保存No.）の押しかたは、008なら［8］、025なら［2］［5］と押します。

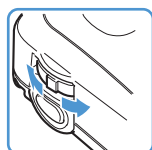
※2 入力した「No.（保存No.）」に登録されていないと電話をかけることはできません。

「No.（保存No.）」が100～499の相手にはスピードダイヤルで、電話をかけることができません。

いろいろな方法で電話をかける

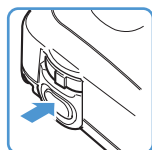
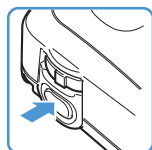
ジェットスクロールで電話をかける

シャトルキーで、電話帳の中から素早く相手を選び電話をかけることができます。（補足※1）

1 **電話帳画面に切り替える**

2 **シャトルキーを上（または下）に約1秒以上スライドする**（補足※2）

ジェットスクロール画面に切り替わります。

3 **相手を選ぶ**（補足※3）

4 **相手を決定する**

5 **電話をかける**

画面では

補足

※1 電話帳に6件以上登録されていないと、ジェットスクロールで相手を選ぶことはできません。

※2 ・電話帳に登録されている名前だけが「あいうえお」順に表示されます。選んだ相手が太枠で囲まれます。

・電話帳画面で ▼ ▲ を1秒以上押してもジェットスクロール画面に切り替わります。

※3 電話帳画面で ▼ ▲ で選ぶこともできます。

シャトルキーで画面を切り替える

ダイヤル画面のときシャトルキーで上（または下）にスライドさせると電話帳画面に切り替わります。さらに1秒以上スライドさせるとジェットスクロール画面に切り替わります。

いろいろな方法で電話をかける

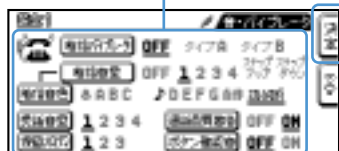
音もお好きなように

着信音・バイブレータを設定する

電話がかかってきたことを知らせる音の種類や大きさ、バイブレータ（振動）、受話音量やボタン操作音などの設定をします。着信音はJ-フォンにあらかじめ登録されたものの他に、スカイメロディ（「SkyWalker/SkyWeb編」215ページ「スカイメロディ」参照）で受信・登録した曲や、自分で作曲した曲を登録することもできます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 音・バイブレータの設定画面に切り替える

4 設定ボタンを押して設定する（補足※2）

各項目のボタンを押すたびに設定が切り替わり、音や振動を確認することができます。
太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：**1**）

5 音・バイブレータの設定を決定する

音もお好きなように

設定項目について

着信バイブレータ　バイブレータで着信を知らせる

着信をバイブレータで知らせます。タイプAまたはタイプB、OFFから選びます。

着信音量　着信時の音の大きさを設定する

着信を音で知らせるように設定したときの音の大きさを設定します。一定音量4段階、またはステップアップ／ステップダウン、OFFから選びます。

設定項目について（つづき）

着信音色　着信時の音色を設定する（補足※3）

着信を音で知らせるときは音色を4種類のメロディ、3種類のベル音、スカイメロディ（注意※1）、オリジナル着信音（注意※1）から選びます。
「スカイメロディ」を直接選ぶとスカイメロディの選択画面（92ページ「スカイメロディを着信音に設定する」参照）に切り替わり、「自作」を直接選ぶとオリジナル着信音の選択画面（86ページ「着信音を自分で作る（オリジナル着信音）」参照）に切り替わります。

受話音量　受話音量を設定する

聞こえてくる相手の声の大きさを4段階から選びます。

保留メロディ　保留メロディを設定する

電話を保留にしたときの保留音を選びます（レシーバに耳を近づけて確認してください）。

通話品質警告　通話品質警告（通話品質アラーム）を設定する

「ON」に設定すると、通話中に電波の状態が悪くなったとき、警告音が鳴るようになります。

ボタン確認音　ボタン確認音を設定する

「ON」に設定すると、タッチパネル内のボタンや本体ボタンの操作を行ったときに音が鳴るようになります。

音もお好きなように

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［ボタン］を押して切り替えることができます。

※2 ［ボタン］を押して［ボタン］に切り替えて設定すると、確認音を鳴らさずに設定できます。

※3 着信音色を選ぶと音色に合わせて着信ランプが点滅します。

「着信音色」メロディの曲名

メロディD:パルティータ Allemande／バッハ
メロディE: ロマンス／ベートーベン
メロディF:「春」第1楽章／ベートーベン
メロディG:愛の夢／リスト

「保留メロディ」の曲名

保留メロディ1：「アルルの女・第2組曲」メヌエット／ビゼー
保留メロディ2：「タイスの瞑想曲」／マスネー
保留メロディ3：「ノクターン」／ショパン

設定画面以外でも着信・受話音量を調節できます

通話中や設定画面以外でも着信・受話音量を調節できます（93ページ「着信・受話音量を調節する」参照）。

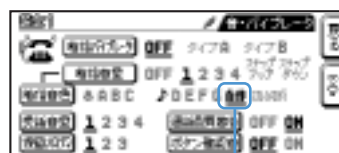
注意

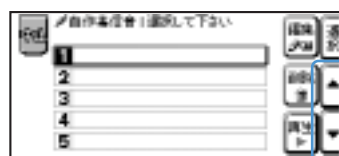
※1 スカイメロディ・自作（オリジナル着信音）に登録されていないときに、「スカイメロディ」または「自作」を［着信音色］で選ぶと、ベル音Aが選ばれます。92ページ「スカイメロディを着信音に設定する」、86ページ「着信音を自分で作る（オリジナル着信音）」を参照してください。

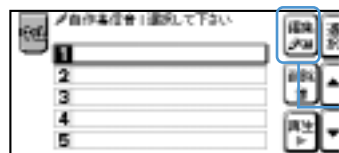
着信音を自分で作る（オリジナル着信音）

メロディを自作して、着信音として設定します。自作したメロディは10曲まで登録することができます。また、自作したメロディはスカイウォーカーで送受信することもできます（「SkyWalker/SkyWeb編」12ページ、98ページ「メッセージの作成」参照）。

メロディの自作

音符、音の高さ、休符などを入力して、曲名をつけて登録します。

1 音・バイブレータの設定画面に切り替える

84ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 「自作」を直接選ぶ

オリジナル着信音画面に切り替わります。

3 自作するメロディを登録する場所を選ぶ（補足※1）

選んだ場所が太枠で囲まれます。

4 メロディ入力画面に切り替える

5 メロディを入力する（補足※2）

鍵盤を押して音の高さを決定し、音符を入力します。鍵盤左右の◀▶でオクターブを切り替えることができます。

6 メロディを再生する

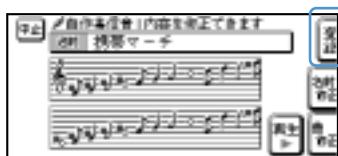
作成したメロディが最初から流れます。

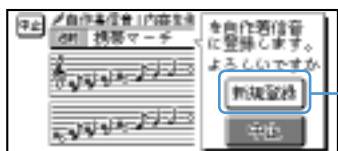
7 メロディを決定する

メロディの名前入力画面に切り替わります。

8 曲名を入力する

文字の入力については３９ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

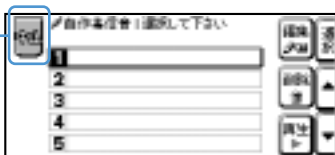
9 曲名を決定する

10 メロディを登録する（補足※3）

登録確認画面に切り替わります。

11 新規登録する（補足※4）

12 入力を終了する（補足※5）

オリジナル着信音画面に戻ります。

オリジナル着信音画面について

中止
着信音を選ぶことを中止します。

中止
着信音の作成を中止します。

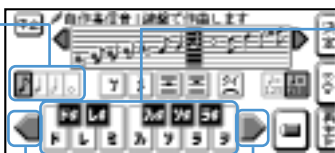
カーソル

カーソル移動
五線譜のカーソルを移動します。

休符、タイ
休符、タイを入力します。

テンポ
曲のテンポを選びます。

消しゴム
カーソル上にある音符を削除します。

音符
音符を入力します。

鍵盤
音階を入力します。

オクターブ移動
オクターブを切り替えます。

補足

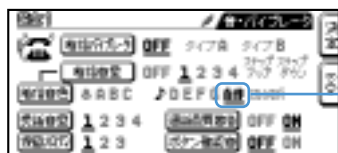
※1 ・5の項目が選ばれているときに▼を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。また1の項目が選ばれているときに▲を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。
・シャトルキーで選ぶことや直接押して選ぶこともできます。

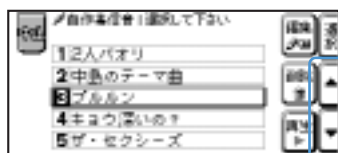
※2 を押してに切り替えて設定すると、確認音を鳴らさずに設定できます。

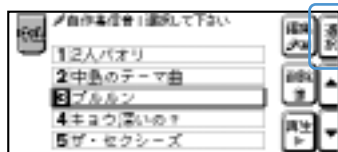
※3 を押すと名前入力画面に戻り、を押すとメロディ入力画面に戻ります。

※4 を押すと登録を中止し、前の画面に戻ります。

※5 を選ぶと、続けて新しいメロディを自作することができます。

自作したメロディを着信音に設定する（注意※1）

1 音・バイブレータの設定画面に切り替える

84ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 「自作」を直接選ぶ

オリジナル着信音画面に切り替わります。

3 メロディを選ぶ（補足※1）

選んだ着信音が太枠で囲まれます。

4 選んだメロディを着信音に設定する

音・バイブレータの設定画面に戻ります。

オリジナル着信音について

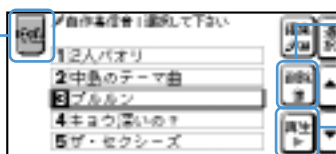
削除

メロディを削除します。

再生（補足※2）

メロディを再生します。再生中は［再生］が［停止］に変わり、再生中のメロディを停止することができます。

中止

オリジナル着信音を選ぶのを中止して、音・バイブレータの設定画面に戻ります。

補足

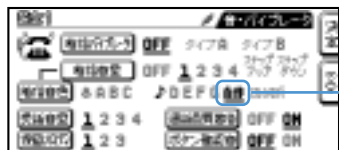
※1 直接タッチペンで押しても自作を選ぶことができます。
※2 再生中は、メロディに合わせて着信ランプが点滅します。

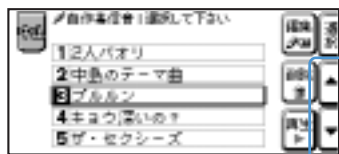
注意

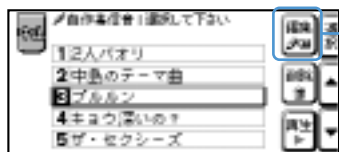
※1 **あらかじめ登録を！**
自作したメロディを着信音に設定するには、あらかじめメロディを自作して登録しておくことが必要です。86ページ「着信音を自分で作る（オリジナル着信音）」を参照してください。

オリジナル着信音を編集する

1 音・バイブレータの設定画面に切り替える

８４ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 「自作」を直接選ぶ

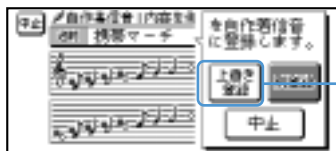
オリジナル着信音画面に切り替わります。

3 メロディを選ぶ（補足※1）

選んだ着信音が太枠で囲まれます。

4 メロディ入力画面に切り替える

5 メロディを編集し、決定する（補足※2）

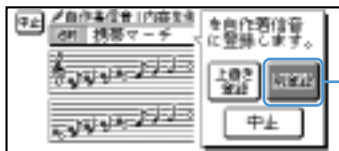
6 曲名を編集し、決定する

7 編集したメロディを登録する（補足※3）

登録確認画面に切り替わります。

8 上書き登録する（補足※4）

変更した内容を登録されていた内容と入れ替えて登録します。登録されていた内容は残りません。

別登録するとき

別登録

編集した内容を登録されていた内容とは別に新しくオリジナル着信音に登録します。登録されていた内容はそのまま残ります。

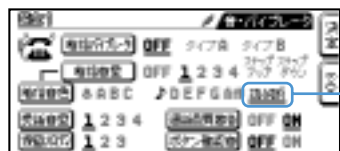
※1・5の項目が選ばれているときに［▼］を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。また1の項目が選ばれているときに［▲］を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。
・シャトルキーで選ぶことや直接押して選ぶこともできます。

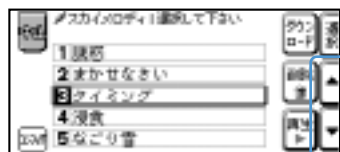
※2［ ］を押して［ ］に切り替えて設定すると、確認音を鳴らさずに設定できます。

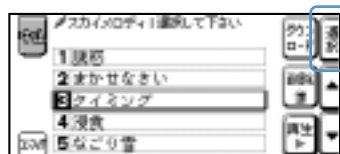
※3［ ］を押すと名前入力画面に戻り、［ ］を押すとメロディ入力画面に戻ります。

※4・上書き登録すると確認メッセージが表示されます。
・［中止］を選ぶと登録を中止し、前の画面に戻ります。

スカイメロディを着信音に設定する（注意※1）

登録したスカイメロディを着信音に設定します。

1 **音・バイブレータの設定画面に切り替える**

84ページ 1～3 の操作をする。

2 **「スカイメロディ」を直接選ぶ**

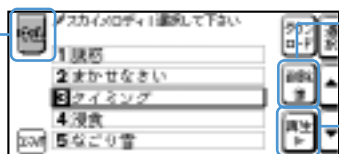
スカイメロディ画面に切り替わります。

3 **メロディを選ぶ**（補足※1）

選んだメロディが太枠で囲まれます。

4 **選んだメロディを着信音に設定する**

音・バイブレータの設定画面に戻ります。

音もお好きなように

スカイメロディ画面について

中止

スカイメロディを選ぶのを中止して、音・バイブレータの設定画面に戻ります。

削除

メロディを削除します。

再生（補足※2）

メロディを再生します。再生中は［再生］が［停止］に変わり、再生中のメロディを停止することができます。

補足

※1 シャトルキーで選ぶことや直接押して選ぶこともできます。

※2 再生中は、メロディに合わせて着信ランプが点滅します。

注意

※1 **あらかじめ登録を！**

スカイメロディを着信音に設定するには、あらかじめメロディを受信して登録しておくことが必要です。スカイメロディ機能（「SkyWalker/SkyWeb編」215ページ「スカイメロディ」）を参照してください。

着信・受話音量を調節する

設定画面に切り替えないで着信音量や受話音量を調節することができます。

通話中に受話音量を調節する

通話中に聞こえてくる相手の声の大きさを4段階から選びます。

1 相手の音量を調節する

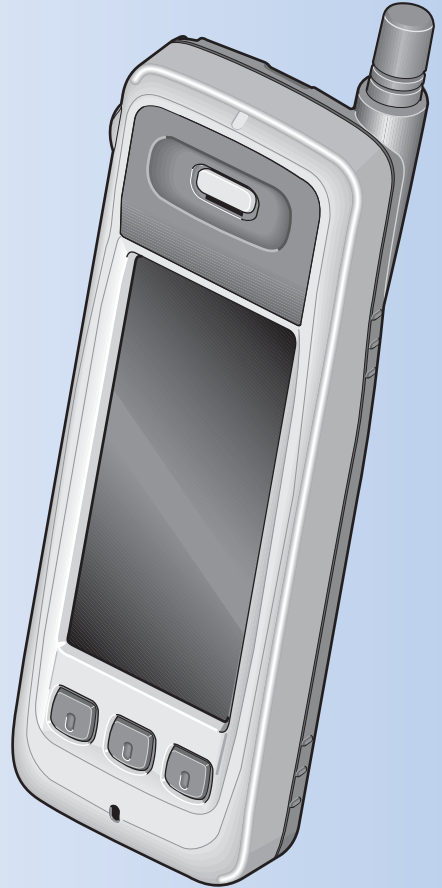
待受中に着信音量を調節する

待受中に着信音量の大きさを一定音量4段階、またはステップアップ/ステップダウン、OFFから選びます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 音量を調節する

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

音もお好きなように

管理したいとき

いろいろなセキュリティ機能を使う

いろいろなロック機能を使う

いろいろなロック機能を使って操作を禁止することができます。禁止されている操作をすると禁止を知らせるメッセージが表示されます（12ページ「こんなときにはご利用になれません」参照）。

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **設定2画面に切り替える**（補足※2）

4 **ロック機能の設定画面に切り替える**

操作用暗証番号入力画面が表示されます

5 **操作用暗証番号を入力する**（補足※3）

4桁が入力されると、ロック機能画面に切り替わります。

6 **ロックする項目を設定する**（補足※4）

7 **ロック機能を設定する**

設定2画面に戻ります。

ロック機能について

オートロック オートロックを設定する（注意※1）（補足※5）

J-フォンの着信と電源OFF以外のほとんどの操作を禁止します。「ON」に設定した後に電源を切ります。もう一度電源を入れ直すとオートロックが設定されます。オートロックは一時的に解除することができます。
タッチパネルに触れたり、本体ボタンを押すと、操作用暗証番号入力画面が表示されます。操作用暗証番号を正しく入力すると一時的にオートロックが解除され、J-フォンを使用することができます。電源を切ってからもう一度電源を入れると、再びオートロック状態に戻ります。

ダイヤル発信禁止 ダイヤル発信禁止を設定する（注意※1、※2）

ダイヤル操作による発信、通話中のノートパッドメモリを禁止します。

メモリ使用禁止 メモリ使用禁止を設定する（注意※2）

電話帳の操作（発信、編集、登録、削除）を禁止します。

スカイウェブロック スカイウェブロックを設定する

スカイウェブ、スケジュール、メモトーク、ライブラリの操作を禁止します。

スカイウォーカーロック スカイウォーカーロックを設定する（補足※6）

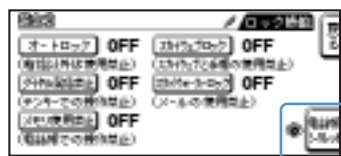
スカイウォーカーのメッセージの送信と参照を禁止します。

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。
※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。
※3 ご購入時の操作用暗証番号は「9999」もしくはJ-フォンをご契約いただいたときに、お決めいただいた4桁の番号に設定されています。
操作用暗証番号が間違っていると「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。メッセージ表示後、もう一度正しい操作用暗証番号を入力してください。
※4 項目を押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。
※5 オートロック中でも可能な操作は、「かかってきた電話に出る」、「応答保留」、「通話中の相手の声の大きさ調節」、「簡易留守録」、「スカイウォーカーの受信」、「スカイウェブの受信」、「電源のON/OFF」、「誤動作防止機能」です。
※6 スカイウォーカーロック中はホットライン以外のスカイメール、リレーメール、コーディネータ、グリーティングの受信はできますが、読むことはできません。

注意

※1 が「ON」になっていても、ダイヤル画面には戻りません（151ページ「デフォルトモードを設定する」参照）。
※2 ダイヤル発信禁止とメモリ使用禁止は同時に「ON」に設定することはできません。

シークレットに登録した電話帳の内容を表示しない

「非表示」（✕）に設定すると、シークレットに登録された電話帳の内容は表示されません（67ページ「秘密にしたい電話番号を登録する（シークレットメモリ）」参照）。

1 ロック機能の設定画面に切り替える

96ページ 1 ～ 5 の操作をする。

2 「非表示」（✕）にする（補足※1）

3 電話帳シークレットを設定する

設定2画面に戻ります。

非表示（✕）にすると

電話帳でシークレットに登録した相手は、電話帳に表示されません。さらにシークレットに設定された相手は、件数に数えられません。登録されている件数表示は、シークレットに設定されている件数分を引いた件数が表示されます。

表示（👁）にすると

電話帳でシークレットに登録した相手には🔒マークを表示します。電話帳で見ることができます（67ページ「秘密にしたい電話番号を登録する（シークレットメモリ）」参照）。

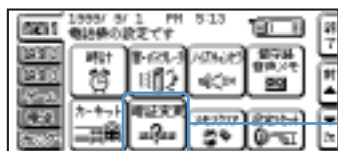
補足

※1 を押すたびに「非表示」（✕）↔「表示」（👁）が切り替わります。

操作用暗証番号を変更する

ご契約時にお決めいただいた操作用暗証番号を変更します。

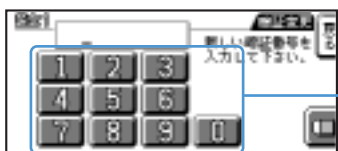
1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **操作用暗証番号設定画面に切り替える**

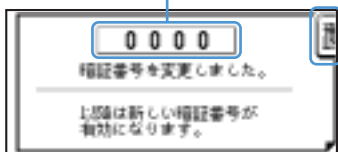
操作用暗証番号入力画面が表示されます。

4 **現在の操作用暗証番号を入力する**

（補足※2）

４桁が入力されると、操作用暗証番号変更画面に切り替わります。

5 **新しい操作用暗証番号を入力する**

6 **新しい操作用暗証番号を確認する**

（補足※3）

7 **決定する**

設定２画面に戻ります。

管理したいとき

※1 ダイヤル画面以外の画面からも[ボタン]を押して切り替えることができます。
※2 ご購入時の操作用暗証番号は「9999」もしくはJ-フォンをご契約いただいたときに、お決めいただいた4桁の番号に設定されています。
操作用暗証番号が間違っていると「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。メッセージ表示後、もう一度正しい操作用暗証番号を入力してください。
※3 入力した新しい操作用暗証番号が表示されますので、メモするなどして忘れないようにしてください。

操作用暗証番号はここで使っています！

●ここで変更する操作用暗証番号は、以下の機能で使用する4桁の番号のことです。

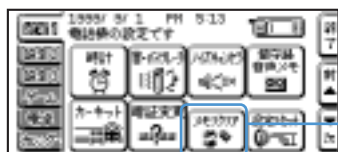
- シークレットメモリ（67ページ）
- シークレット（175ページ、「SkyWalker/SkyWeb編」117、159ページ）
- オートロック（96ページ）
- メモリ使用禁止（96ページ）
- ダイヤル発信禁止（96ページ）
- スカイウォーカーロック（96ページ）
- スカイウェブロック（スケジュール、ライブラリ、メモトーク）（96ページ）
- メモリ（オール）クリア（101ページ）
- 操作用暗証番号の変更（99ページ）
- 設定リセット（103ページ）
- 通話料金の累積リセット（158ページ）
- プライバシーレベル（3と4のメッセージを読む）（「SkyWalker/SkyWeb編」8ページ）
- スカイウォーカーの受信拒否（「SkyWalker/SkyWeb編」135ページ）

なお、上記の操作用暗証番号の他にオプションサービスを利用するときに使う「交換機用暗証番号」もあります（14ページ「暗証番号について」参照）。
操作用暗証番号はＪ-フォンの操作で変更できます。交換機用暗証番号はＪ-フォンの操作では変更することができません。

- 「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」をお忘れにならないようにご注意ください。
- 「操作用暗証番号」はJ-フォンの操作だけで変更できます。「交換機用暗証番号」はJ-フォンの操作では変更することができません。「交換機用暗証番号」を変更したい場合は、お手続きが必要になります。詳しくは総合案内（裏表紙参照）までお問い合わせください。
- 事故の原因となりますので「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」は、他人に知られないようにご注意ください。

メモリ内容を一度に消去する（メモリクリア）

電話帳、リダイヤル、メッセージ、スケジュール、ライブラリ、メモトークなどのデータを削除します。メッセージは各項目で選び、その中のデータをすべて削除します。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

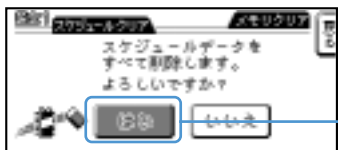
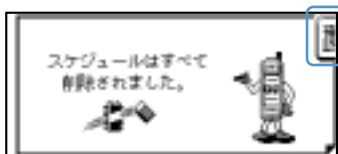
3 メモリクリア設定の画面に切り替える

操作用暗証番号入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する（補足※2）

4桁が入力されると、メモリクリア設定の画面に切り替わります。

5 データを削除する項目を選ぶ（補足※3）

削除確認画面が表示されます。

6 データを削除する（補足※4）

7 削除を確認する

設定１画面に戻ります。

補足は 次ページ参照。

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［ボタン］を押して切り替えることができます。
※2 ご購入時の操作用暗証番号は「9999」もしくはJ-フォンをご契約いただいたときに、お決めいただいた4桁の番号に設定されています。
操作用暗証番号が間違っていると「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。メッセージ表示後、もう一度正しい操作用暗証番号を入力してください。
※3 ［ボタン］を押すとメールクリア画面が表示されます。この画面で削除するメッセージの内容を選んで削除してください。［ボタン］を押すと「連結受信中」と表示されたメッセージも削除されます（「SkyWaker/SkyWeb編」25ページ参照）。

［ボタン］を押すとスカイウェブクリア画面が表示されます。この画面で削除するメッセージの内容を選んで削除してください。

※4 ［いいえ］を押すと削除を中止して、前の画面に戻ります。

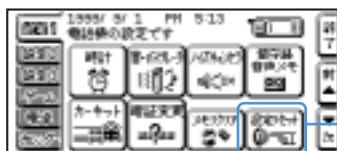
すべてのメモリを削除したいとき
［ボタン］を押すとすべてのメモリを削除できます。

電話帳クリアを実行すると
ご購入時に登録されている電話帳の案内4件が再登録されます。
・留守番電話（有料）　1416
・総合案内（無料）　157
・故障案内（無料）　113
・料金案内（無料）　154

メモリオールクリアを実行すると
メモトークのボーナスピクチャー4件、電話帳の案内4件が再登録されます。

設定した内容をすべて購入時の状態に戻す（設定リセット）

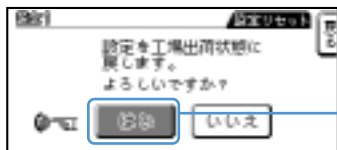
すべての設定をリセットして工場出荷時の状態に戻します。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 設定リセットの設定画面に切り替える

操作用暗証番号入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する（補足※2）

4桁が入力されると、設定リセットの設定画面に切り替わります。

5 すべての設定を工場出荷時の状態に戻す（補足※3）

6 設定リセットを確認する

設定1画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［機能/作成］を押して切り替えることができます。

※2 ご購入時の操作用暗証番号は「9999」もしくはJ-フォンをご契約いただいたときに、お決めいただいた4桁の番号に設定されています。
操作用暗証番号が間違っていると「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。メッセージ表示後、もう一度正しい操作用暗証番号を入力してください。

※3 ［いいえ］を押すと設定のリセットを中止し、設定1画面に戻ります。

注意 は 次ページ参照。

管理したいとき

工場出荷時の設定

設定1

項目	設定	値
時計	時計表示（時刻）	リセットしない
	日付	年/月/日
	時刻	12時間表示
	自動電源	OFF
	回数	一回限り
	方法	電源ON
	電源ON時刻	AM 0：00（未動作）
	電源OFF時刻	AM 0：00（未動作）
	クロックアラーム	OFF
	回数	一回限り
	タイプ	ベル音A
	アラーム時刻	AM 0：00
音・バイブレータ	着信バイブレータ	OFF
	着信音量	4
	着信音色	ベル音 A
	受話音量	4
	保留メロディ	1
	通話品質警告	OFF
	ボタン確認音	ON
スカイメロディ コンフィグ	メロディ センター番号	1790
ノイズキャンセラー		ON
簡易留守録・音声メモ		
簡易留守録	呼び出し	あり（12秒間）
	応答	固定メッセージ
簡易留守録・音声メモ	オーバーライト	ON
カーキット	自動着信	OFF
暗証変更	暗証番号	リセットしない

設定2

項目	設定	値
カスタム	フォント	1番左
	デザイン	1番左
ウェイクアップ	トーン	ボタン音
	絵	OFF
	所有者名表示	OFF
	予定・運勢表示	予定優先
オーナー（プロフィール）	名前	消去
	Eメール	消去
	誕生日	1980年1月1日
	性別	男
	血液型	A
	年齢	自動設定
	電話番号	消去
	備考	消去
ロック機能	ダイヤル発信禁止	OFF
	メモリ使用禁止	OFF
	スカイウォーカーロック	OFF
	オートロック	OFF
	スカイウェブロック	OFF
	電話帳シークレット	表示( )
デフォルトモード	自動テンキー画面	OFF
	メール作成	携帯電話
照明	パネル照明	ON
スクリーンセーバー実行タイプ		ホワイトスクリーン
バッテリーセーブ		ON

設定3

項目	設定	値
料金表示	料金表示	ON
	累積料金目安	0円
	累積時間目安	0分

スカイウォーカー

項目	設定	値
送信設定	配信確認	OFF
	送信速さ	Med
	PINコード	なし
	配信端末	指定なし
	プライバシー	1
受信設定	受信バイブレータ	OFF
	受信音量	1
	一般受信	ボタン音
	速達／ホットライン	ボタン音
	ホットライン中	ボタン音
受信拒否	アドレスフィルター設定	OFF
	PINコード	0000
	対標準メール	OFF
	対連結メール	OFF
	対Eメール	OFF
	対ポーリングメール	OFF
掲示板	相手番号	なし
	配信確認	OFF
センター番号	センター番号	＊7000

スカイウェブ

項目	設定	値
受信設定	受信バイブレータ	OFF
	受信音量	1
	プッシュ	ボタン音
	リクエスト	ボタン音
	自動応答	ON
	スカイウェブ	ON
Config	サーバーアドレス	1590
	センター番号	＊7002

その他

項目	設定	値
簡易留守録		OFF
マナー		OFF
カレンダー	（グレー設定）	日祭日のみグレー1設定
コントラスト	設定値	センター
メモトーク	ボーナスピクチャー	4件

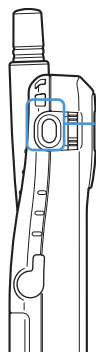
管理したいとき

注意

設定リセットする前に！

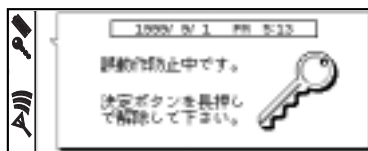
- 設定リセットを行うと、各種の設定内容がＪ-フォンご購入時の状態に戻ります。操作の前に本当にリセットしてよいかどうか、十分に確認してください。
- 日付、時計表示、暗証番号は、設定リセットを行ってもご購入時の状態には戻りません。
- スカイウォーカーの受信拒否に登録した相手、掲示板の設定で掲示板を読める相手は削除されます。
- シルリアの声の設定は「OFF」に変更されます。

誤動作を防止する

タッチパネルや本体ボタンで操作できないようにします。バッグなどに入れるときに誤動作防止にしておくと、誤ってボタンが押されても動作しません。

1 約2秒以上押す（補足※1）

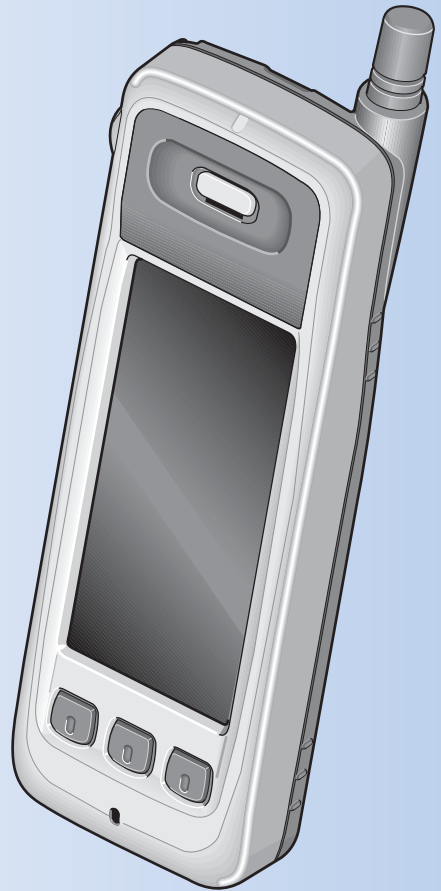
約2秒以上押すごとに誤動作防止が「ON」↔「OFF」します。

補足

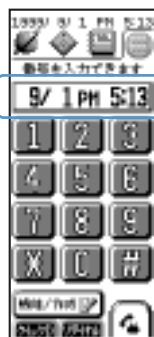
※1 誤動作防止中の画面が表示され誤動作防止が設定されます。

電話がかかってくると

誤動作防止中に電話がかかってきたときは、［アイコン］表示下の［ボタン］を押すことにより、基本操作の「電話を受ける」「留守番電話センターに転送する」「応答保留を利用する」の操作をすることができます。通話開始後それぞれの画面では、通常の操作をすることができます。

アラームが鳴ると

誤動作防止中にアラームが鳴ると、一時的に誤動作防止が解除されてアラームを止めることができます。

表示について

マナーモードと簡易留守録の設定を確認する

ダイヤル画面のときに、マナーモード、簡易留守録機能の設定状態が表示され、設定を確認することができます。

1 表示を切り替える（補足※1）

押すたびに「設定表示」↔「時計表示」が切り替わります。

設定表示の状態

マナーモード
「ON」のとき表示されます。

簡易留守録
「ON」のとき表示されます。

表示について

※1 設定表示は、マナーモードと簡易留守録が「OFF」のときは切り替わりません。

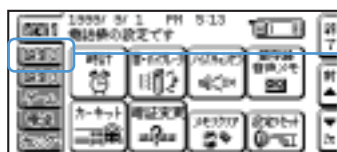
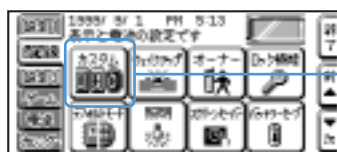
設定表示について

・電話番号の入力を行うと設定表示は消えます。
・設定表示は、ダイヤル以外の画面を表示しても記憶されています。

ダイヤルボタンや文字の形を変える

ダイヤル画面内の数字のフォントカ（字体）やキー（ボタン）の形状をお好みに合わせて変更することができます。またメモトーク（「SkyWalker/SkyWeb編」107ページ「メモトーク」参照）で作成（受信）した画像をダイヤル画面の背景として設定することもできます。

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **設定2画面に切り替える**（補足※2）

4 **画面カスタム設定の画面に切り替える**

5 **各項目を設定する**（補足※3）

太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：）

6 **設定を決定する**

設定2画面に戻ります。

表示について

設定項目について

フォント 数字の形状（フォント）を設定する

表示する数字のフォントを5種類（表示例：0）の中から選びます。

キー キーの形状を設定する

表示するダイヤルボタンの形状を4種類の中から選び、ダイヤル画面の背景も選びます。
を押すとメモトーク選択画面に切り替わり、背景として使用するメモトークを選ぶことができます。

メモトーク選択画面

メモトークの詳しい操作方法は、「SkyWalker/SkyWeb編」113ページ「メモトークを表示する」を参照してください。

中止
メモトークを選ぶのを中止し、前の画面に戻ります。

1 ページを切り替える

2 背景に使用するメモトークを選ぶ（補足※4）
前の画面に戻ります。

表示について

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

※3 直接押して選ぶことができます。

※4 ゴミ箱（ ）を選ぶと背景は白になります。また、シークレットされているメモトーク（ ）は、選べません。

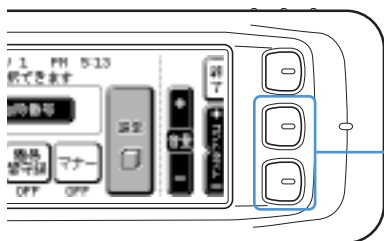
表示例

注意

・スカイウェブロック中には、メモトークは選べません。

タッチパネル表示の濃淡を調整する（コントラスト）

温度が高い、または低いときは、タッチパネルの表示が見えにくいことがあります。そのようなときは、コントラストを調整してください。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 コントラストを調整する（補足※2）

ボタンを押すごとにタッチパネル表示の濃さが変化します。

3 調整を終了する

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

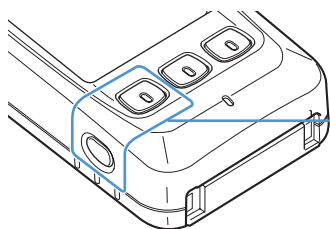
※2 スクリーンセーバーでスカイウェブを選んでいるとき、コントラストが濃いと残像がでることがあります。

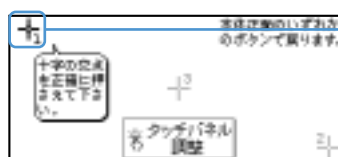
注意

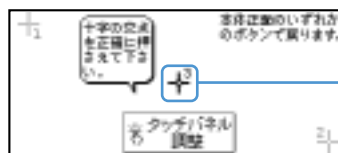
操作は本体ボタンで！

 ボタンでは直接操作できません。本体ボタンまたはシャトルキーで操作してください。

タッチパネルを調整する

タッチパネルのボタンなどを押しても、J-フォンが操作を受けつけないことがあります。そのようなときは、タッチパネルを調整してください。

1 ダイヤル画面で、同時に約4秒以上押す（補足※1）

タッチパネル調整画面に切り替わります。

2 左上の十字の交点を付属のタッチペンで正確に押す

3 右下の十字の交点を付属のタッチペンで正確に押す

4 中央の十字の交点を付属のタッチペンで正確に押す

調整が終わったら基本画面に戻ります。

※1 電源ボタンを早めに押すように操作してください。

電源を入れたときのメッセージを確認する

絵画・メモトーク・今日の予定（スケジュール）・運勢

J-フォンの電源を入れたときに基本画面の前に「絵画」や「今日の予定（スケジュール）」、「運勢」などを表示させることができます。表示させるには「ウェイクアップ」で設定します（149ページ「電源を入れたときに絵や音で知らせる（ウェイクアップ）」参照）。

●絵画

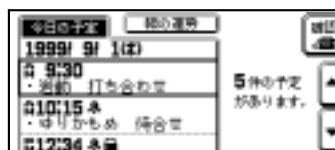
季節や月や時間帯によって、表示される絵は変わります。絵を表示した後は「基本画面」または「今日の予定」「運勢」表示になります。

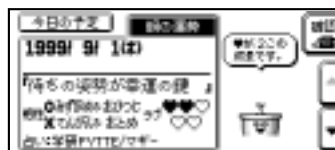
「オーナープロフィール」に登録されているキャラクター、名前

●今日の予定（スケジュール）

その日のスケジュールに予定が入っているときに表示されます。予定を確認したら、[確認]を押して基本画面に切り替えます。

● メモトーク

選んだメモトークが表示されます。メモトークを表示した後は「基本画面」または「今日の予定」「運勢」表示になります。

●運勢

1日3回（朝・昼・夜）運勢表示が変わります。運勢を確認したら、[確認]を押して基本画面に切り替えます。

補足 運勢は時計表示とオーナープロフィールを設定しないと表示されません。

グリーティングメッセージ

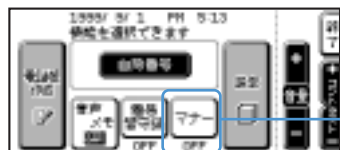
J-フォンの電源を入れたときに、グリーティングメッセージの指定時刻が過ぎていたときは、「絵画」や「今日の予定」などが表示された後にメッセージが表示されます。

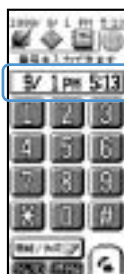
グリーティングのメッセージが表示されたら、 を押してメッセージを読むことができます。すぐに読まないときは を押してください（「SkyWalker/SkyWeb編」104ページ「グリーティングメッセージを受信する」参照)。

ほかにもいろいろあります

ボタン音や着信音を鳴らさないようにする（マナーモード）

マナーモードを「ON」にすると、周りの人に迷惑をかけないように、ボタン音や着信音などの音を鳴らさずに、バイブレータで知らせることができます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 マナーモードの画面に切り替える（補足※2）

3 マナーモードの設定を確認し、機能選択画面に戻る（補足※3）

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［保留/消音］を押して切り替えることができます。
※2 マナーモードが「OFF」のときに押すと、マナーモードの画面に切り替わります。
※3 マナーモードの設定内容（音、着信音、アラーム音、スケジュール、スカイウォーカー受信音など）はあらかじめ決められています。個別に細かい設定は行えません。

マナーモードを「ON」にすると音を鳴らしません
着信音、スカイウォーカー受信音、スカイウェブ受信音、電池警告音、スケジュールアラーム、クロックアラーム、ボタン確認音、応答保留音を鳴らしません。

マナーモードが「ON」のときに音やアラームの設定をすると
「マナー機能が設定されています」のメッセージが表示されます。［確認］を押して次の操作に進んでください。

アラームなどを設定するときは、マナーモードの「ON」「OFF」を確認しましょう！
マナーモードが「ON」に設定されていると、アラームの設定時刻になっても音は鳴りません。アラームを設定するときはマナーモードを「OFF」にしてください。

マナーモードを「OFF」にすると
マナーモードを「OFF」にすると、各設定の状態は元に戻ります。

注意

マナーモードについて
マナーモードを「ON」に設定していると、メロディ付きのメッセージを受信した場合、メロディ音は鳴りません。

小声ではなす（ナイショモード）

静かな場所など周りが気になるときは、ナイショモードで通話すると、小さな声ではなしても相手によく聞こえるようになります。

1 **通話中に押す**

押すたびに「ON（ ）」↔「OFF（ ）」が切り替わります。

ナイショモードとは

ナイショモードにすると、マイクの感度が高くなると同時に受話音量が大きくなります。

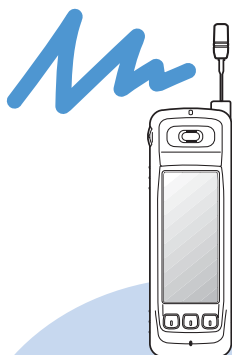
現在の状態を確認

現在の状態をマーク表示します。

- ：ナイショモードに設定されていることを表示しています。
- ：ナイショモードが解除されていることを表示しています。

すぐに電話にでられないとき

電話がかかってきてもすぐにでられないときは、次の内の5つの機能から選んで利用することができます。

転送電話サービス
指定した電話番号に転送します。
あらかじめ登録が必要です。
（184ページ「転送電話サービスを利用する」参照）

応答保留
かかってきた電話に出るのを一時的に保留し、その後電話に出ることができます。
（120ページ「応答保留を利用する」参照）

留守番電話サービス
留守番電話サービスセンターが相手からのメッセージをお預かりして、後で聞くことができます。
（192ページ「留守番電話サービスを利用する」参照）

簡易留守録
かかってきた電話に出ないで、J-フォンの記憶装置（J-フォンのメモリ）内に相手からのメッセージを20秒、10件まで録音することができ、後で聞くことができます。
（122ページ「簡易留守録を利用する」参照）

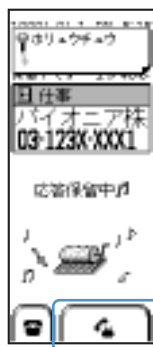
留守転送
かかってきた電話を留守番電話センターに転送することができ、後でメッセージを聞くことができます。
（123ページ「留守番電話サービスセンターに転送する（留守転送）」参照）

応答保留を利用する

電話にすぐにでられないときや通話中に電話から手が離れるとき、保留することができます。

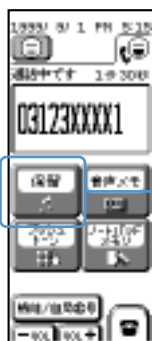
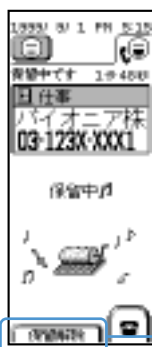
着信中に保留する

電話にすぐにでられないときに一時保留することができます。

1 応答保留中画面に切り替える（補足※1）

2 保留中の電話に出る（補足※2）

相手と通話することができます。

通話中に保留する

通話中に一時保留することができます。

1 **保留画面に切り替える**（補足※3）

2 **保留中の相手と通話を再開する**（補足※2）

相手と通話することができます。

※1 相手にはメッセージが応答し、こちらには保留音が流れます。
※2 すぐに電話にでられないときは［電話］で電話を切ることができます。
※3 保留音が流れます。

保留中でも通話料がかかる！
保留中でも、電話をかけた側に通話料がかかります。

簡易留守録を利用する

かかってきた電話にでることができないときは、J-フォンの記憶装置（メモリ）内にメッセージを10件まで録音することができます。
あらかじめ設定することもでき、応答メッセージを自作することもできます（144ページ「簡易留守録と音声メモの設定をする」参照）。

1 着信中に簡易留守録実行画面に切り替える（補足※1）

相手のメッセージが録音されます。
相手が電話を切るか、もしくは録音が終了すると着信前の画面に戻ります。

相手メッセージ録音中のとき

相手の声を聞く

相手の声を聞くことができます。

電話にでる

電話にでて相手と通話することができます。

補足

※1 簡易留守録で録音されたメッセージを聞くときは、128ページ「音声を再生する」を参照してください。

録音可能時間は

1件につき約20秒まで録音できます。

簡易留守録の自動応答

あらかじめ簡易留守録機能を「ON」にしておくと、自動で相手に応答します（124ページ「簡易留守録機能を利用する」参照）。また、自分で作った応答メッセージで応答することもできます（144ページ「簡易留守録と音声メモの設定をする」参照）。

圏外にいるときは

圏外にいるときは、着信を受けられませんので、簡易留守録機能を利用できません。

留守番電話サービスセンターに転送する（留守転送）

かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに転送し、センターが相手のメッセージをお預かりします。

1 **着信中に留守転送機能に切り替える**
（補足※1）

留守番電話サービスセンターに転送されます。「留守番電話転送します」が表示され、着信前の画面に戻ります。

※1 転送されたメッセージの聞きかたは、留守番電話サービスと同じです。留守番電話サービスについては192ページ「留守番電話サービスを利用する」を参照してください。

転送電話サービスを利用する（転送電話サービス）

かかってきた電話をあらかじめ登録しておいた電話番号に自動的に転送し、そちらで電話を受けます。転送電話サービスについては184ページ「転送電話サービスを利用する」を参照してください。

留守番電話サービスを利用する（留守番電話サービス）

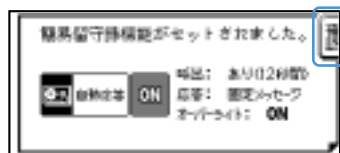
電波の届かない場所や、通話中のため電話に出られないとき（割り込みコールサービスを設定しているときは除く）などに、電話をかけてきた相手にアナウンスを流し、伝言を録音して、後で聞くことができます。留守番電話サービスについては192ページ「留守番電話サービスを利用する」を参照してください。

簡易留守録機能を利用する

会議中などの理由で電話にでることができないときに、J-フォンが相手からのメッセージをお預かりします。「圏外」にいるときやJ-フォンの電源を切っているときなどに留守番電話センターがメッセージをお預かりする「留守番電話サービス」とは異なります。
呼び出し中に［簡易留守録］を押しても、かかってきた電話に簡易留守録で応答することができます（122ページ「簡易留守録を利用する」参照）。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 簡易留守録設定画面に切り替える
（補足※2）

押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。

3 簡易留守録設定を確認し、機能選択画面に戻る（補足※3）

設定の確認

1 表示を切り替える

簡易留守録の設定が表示されます。

2 表示を切り替える

日時表示に戻ります。

相手メッセージ録音中のとき

相手の声を聞く

相手の声を聞くことができます。

電話にでる

通話中の画面に切り替わり、相手と通話することができます。
通話をするまでの相手のメッセージは録音されています。

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。
※2 簡易留守録機能が「OFF」のときに押すと簡易留守録の設定画面に切り替わります。
※3 設定内容を変更したいときは144ページ「簡易留守録と音声メモの設定をする」を参照してください。

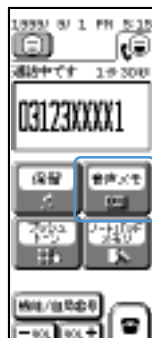
録音可能時間と録音件数

1件あたり約20秒まで録音することができます。また、音声メモ、マイボイスメモと合わせて合計10件まで録音することができます（126ページ「相手や自分の声をJ-フォンに録音する（音声メモ・マイボイスメモ）」参照）。
応答メッセージ再生中は、相手の声は録音されません。

相手や自分の声をJ-フォンに録音する（音声メモ・マイボイスメモ）

通話中に相手の音声と待受中に自分の音声をあわせて10件まで録音することができます。

音声を録音する

通話中の相手の声を録音する（音声メモ）

1 通話中に押す

音声メモ画面に切り替わります。

2 録音を開始する（補足※1）

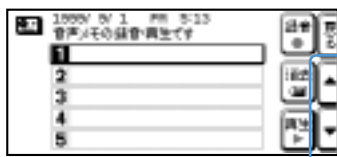
録音が開始されます。

3 録音を停止する（補足※2）

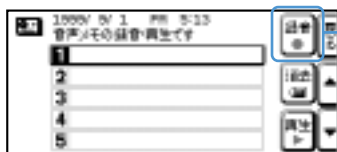
通話中画面に戻ります。
約20秒まで録音されると、自動的に通話中画面に戻ります。

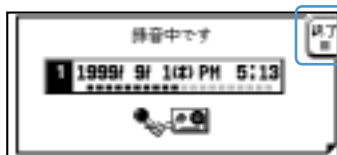
待受中に自分の声を録音する（マイボイスメモ）

1 機能選択画面に切り替える（補足※3）

ほかにもいろいろあります

2 音声メモ画面に切り替える

3 録音する場所を選ぶ（補足※4）

選んだ場所が太枠で囲まれます。

4 録音を開始する（補足※5）

録音が開始されます。

5 録音を終了する（補足※6）

音声メモ画面に戻ります。
約20秒まで録音されると、自動的に音声メモ画面に戻ります。

※1 中止 を押すと録音を開始しないで通話中画面に戻ります。
※2 通話を終了して基本画面に戻ると マークが表示されます。
※3 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。
※4 ・太枠で囲まれた番号の項目が選ばれています。5の項目が選ばれているときに ▼ を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。また1の項目が選ばれているときに ▲ を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。
・シャトルキーで選ぶことや直接押して選ぶこともできます。
※5 日時が表示されている場所はすでに音声が録音されています。消したくないときは空欄を選んで録音してください。録音されている項目を選ぶと、元の内容を消して上書き録音されます。
※6 録音中は日付の下に表示されている ▪ （約1秒）で録音時間を確認できます。

録音可能時間は

1件につき約20秒まで録音できます。

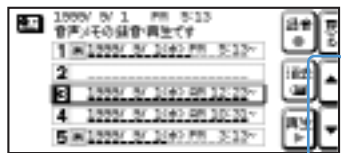
すでに10件入っている場合でオーバーライト（上書き）の設定（144ページ「簡易留守録と音声メモの設定をする」参照）を「ON」にしているときには、自動的に古いメッセージから上書き録音されます（ご購入時オーバーライトは「ON」に設定されています）。

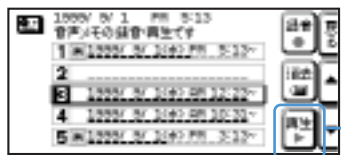
ほかにもいろいろあります

音声を再生する

録音した相手、または自分の音声を待受中に再生することができます。

1 音声メモ画面に切り替える（補足※1）

126ページ「待受中に自分の声を録音する（マイボイスメモ）」の 1 ～ 2 の操作をする

2 再生したい音声を選ぶ（補足※2）

選んだ音声が太枠で囲まれます。

3 再生する（補足※3）

再生が終了すると、音声メモ画面に戻ります。

補足

※1 まだ聞いていない（未再生）音声があるときは、基本画面に マークが表示されます。 を押すと、音声メモ画面に切り替わります。

※2 ・未再生の音声メモに が表示されています。

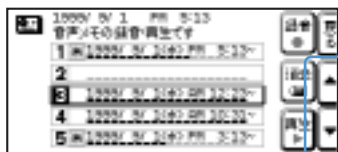
- 5の項目が選ばれているときに を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。また1の項目が選ばれているときに を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。
- シャトルキーで選ぶことや直接押して選ぶこともできます。

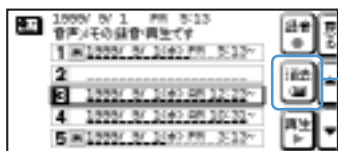
※3 で再生を途中で止めることができます。

音声を消去する

録音した相手、または自分の声を待受中に消去することができます。

1 音声メモ画面に切り替える（補足※1）

126ページ「待受中に自分の声を録音する（マイボイスメモ）」の 1 ～ 2 の操作をする

2 消去したい音声を選ぶ（補足※2）

選ばれた音声は、太枠で囲まれます。

3 消去する

消去確認画面が表示されます。

4 対象を消去する（補足※3）

消去され、音声メモ画面に戻ります。

すべての音声メモを消去するとき

全部を消去

保存されているすべての音声を消去します。

補足

※1 まだ聞いていない（未再生）音声があるときは、基本画面に マークが表示されます。 を押すと、音声メモ画面に切り替わります。

※2 ・未再生の音声メモに が表示されています。

・5の項目が選ばれているときに を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。また1の項目が選ばれているときに を押すと、6～10の項目に表示が切り替わります。

・シャトルキーや直接押して選ぶこともできます。

※3 中止 を押すと消去を中止し、前の画面に戻ります。

通話しながら電話番号をメモする（ノートパッドメモリ）

通話中に相手から聞いた電話番号などをメモします。通話終了後にリダイヤル画面から電話をかけたり電話帳に登録することもできます。（リダイヤル用メモリと合わせて最新20件）（75ページ「ノートパッドメモリで電話をかける」参照）

ノートパッドメモリを登録する

1 通話中に押す

ノートパッドメモリ画面に切り替わります。

2 メモする電話番号を押す

3 保存する（補足※1）

「電話番号を登録しました」が表示され、リダイヤル用のメモリに保存されます。
通話中画面に戻ります。

補足

※1 ・間違えたときは［ ］で消すことができ、［ ］を約1秒以上押すと入力したすべてを消すことができます。
・［中止］を押すとノートパッドメモリを中止し、通話中画面に戻ります。

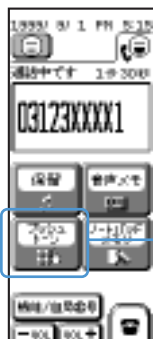
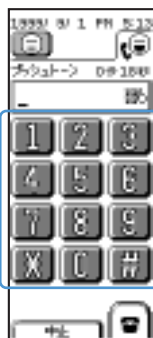
注意

こんなときはノートパッドメモリができません

・オートロック中（96ページ）、ダイヤル発信禁止中（96ページ）は、ノートパッドメモリはできません。
・ノートパッドメモリ中に通話が切れたときは、その時点までの番号が保存されます。

プッシュトーンを送る

留守番電話のメッセージをチェックしたいときやポケベルを呼び出すときなどに、プッシュトーンを送ります。

通話中にプッシュトーンを１つずつ送る

通話中にプッシュトーンを一括して送る

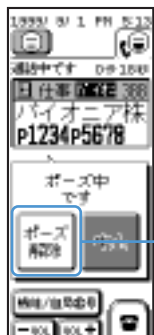
銀行の残高照会など遠隔操作を行うときは、電話番号の後にP（ポーズ）を入れ、暗証番号や操作番号などを続けて入力した番号を電話帳に登録しておきます。電話帳から電話をかけ、P（ポーズ）以降の番号をプッシュトーンとして一括送信することができます。

電話をかけると同時に暗証番号などを送る

例）03123XXXX1に電話をかけて、暗証番号1234を送信してから操作番号5678を送信するとき

1 登録してある相手を画面に表示する
（補足※1）

2 電話をかける（補足※2）

電話番号だけが送信され、それ以降の番号の送信を一時停止しています。

3 番号を送信する（補足※3）

プッシュトーンの登録のしかた

例） 電話番号「03123XXXX1」
暗証番号「1234」
操作番号「5678」
→ 03123XXXX1**P**1234**P**5678
のように電話帳に登録します。

P（ポーズ）

P（ポーズ）を入力します。

- 電話番号の先頭に**P**（ポーズ）を入力することはできません。
- **P**（ポーズ）を続けて（例：XX12PP98XX）入力することはできません。

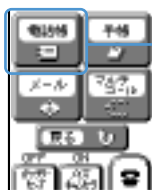
※1 電話帳からの電話のかけかたは、78ページ「電話帳で電話をかける（メモリダイヤル）」を参照してください。
※2 最初の**P**（ポーズ）以前に入力されている番号が送信されます。
※3 次の**P**まで（ここでは1234）が送信され、さらに［ポーズ送信］を押すと次の番号（ここでは5678）が送信されます。

通話しながらメモリダイヤル（電話帳）・手帳・メッセージを参照する

通話中に電話帳、手帳（スケジュール、ライブラリ、メモトーク）、メッセージ（スカイメール、コーディネータ、リレーメール、ホットライン、グリーティング、メモトーク）の内容を見ることができます。例として、メモリダイヤル（電話帳）を参照します。

例）メモリダイヤル（電話帳）を参照する

1 **通話中に押す**

参照選択画面に切り替わります。

2 **電話帳を選ぶ**

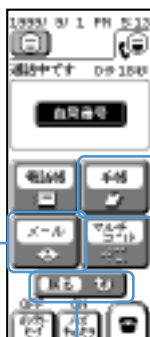
3 **参照する相手を選ぶ**

4 **通話中画面に戻る**（補足※1）

ほかにもいろいろあります

参照選択画面

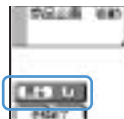
メール

メッセージ（スカイメール、コーディネータ、リレーメール、ホットライン、グリーティング、メモトーク）の内容を参照します。

手帳

手帳（スケジュール、ライブラリ、メモトーク）の内容を参照します。

戻る

前の画面に戻ります。

※1 前の画面に戻り、引き続き参照する内容を選ぶこともできます。

手帳内容表示

手帳の内容表示のしかたは各手帳（スケジュール・ライブラリ・メモトーク）の操作と同じです（170ページ「スケジュールを表示する」、「SkyWalker/SkyWeb編」、113ページ「メモトークを表示する」、160ページ「ライブラリを選ぶ」参照）。

メッセージ内容表示

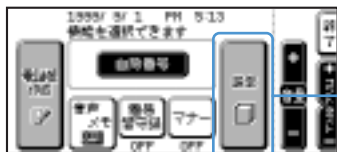
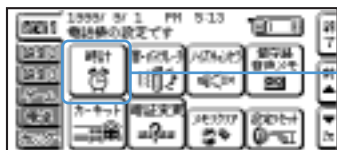
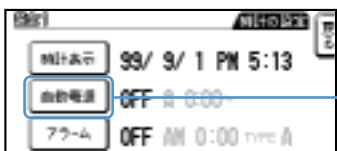
メッセージの内容表示のしかたはスカイメール、コーディネータ、リレーメール、ホットライン、グリーティング、メモトーク受信、スカイメロディ受信の操作と同じです（「SkyWalker/SkyWeb編」9ページ「スカイメール」、29ページ「コーディネータ」、51ページ「リレーメール」、73ページ「ホットライン」、93ページ「グリーティング」、125ページ「メモトークを受信する」、217ページ「受信したメロディを聞く」参照）。

いろいろな環境設定をしよう

自動電源ON/OFF・アラーム

タイマー（自動電源）を設定する

J-フォンの電源の入る時刻、切れる時刻を設定することができます。

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **時計の設定画面に切り替える**

4 **「ON」にする**

自動電源設定画面に切り替わります。

5 **自動電源ON/OFFの回数を選ぶ**（補足※2）

6 **電源の方法を選ぶ**（補足※2）

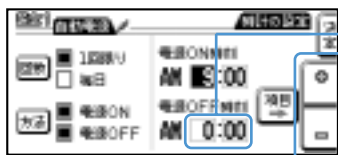
設定した時刻にJ-フォンの電源が入ります（ON）。

設定した時刻にJ-フォンの電源が入り（ON）、設定した時刻にJ-フォンの電源が切れます（OFF）。

設定した時刻にJ-フォンの電源が切れます（OFF）。

いろいろな環境設定をしよう

7 電源ONの「時」または「分」を選ぶ
（補足※3）

8 数字を合わせる（補足※4）

9 電源OFFの「時」または「分」を選ぶ
（補足※3）

10 数字を合わせる（補足※4）

11 自動電源を決定する
時計の設定画面に戻ります。

自動電源を解除する
時計の設定画面で を押します。「ON」が「OFF」表示になり自動電源が解除されます。

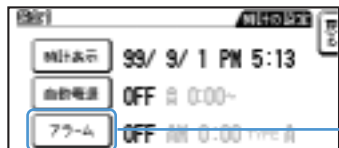
※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。
※2 ・設定の項目（□ 、□ ）を押しても選ぶことができます。
・電源ON、電源OFFの両方を選ぶときは 方法 を押して選んでください。
※3 を押して選ぶこともできます。
※4 シャトルキーで選ぶこともできます。

●時計を設定していないと自動電源は使用できません（20ページ「時計を設定する」参照）。
●電源ONのみで自動電源を使った場合、放置しておくと、肝心なときに電池が切れていることがありますのでご注意ください。
●通話中に電源OFFの時間になっても、電源OFFにはなりません。通話終了後、操作をしなければ約5分後にOFFになります。

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻にアラーム音を鳴らすことができます。

1 時計の設定画面に切り替える

138ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 「ON」にする

クロックアラーム設定画面に切り替わります。

3 アラームの回数を選ぶ（補足※1）

4 アラーム音の種類を選ぶ（補足※2）

太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：A）

5 アラームの「時」または「分」を選ぶ（補足※3）

6 数字を合わせる（補足※4）

7 アラームを決定する

時計の設定画面に戻ります。

指定した時刻になると

1 アラームが鳴ったら押して、アラームを止める

●アラーム音は約30秒鳴ると自動的に止まります。
●電源がOFFでも指定した時刻になるとアラーム音が鳴ります。アラーム音が鳴り終わると電源がOFFになります。このとき、 を操作してアラームを止めると電源がONのままになります。
●通話中にアラームの指定時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。
●画面はベル音・メロディ（昼・夜）で替わります。

アラームを解除する

時計の設定画面で を押します。「ON」が「OFF」表示になりアラームが解除されます。

補足

※1 設定の項目（□ 、□ ）を押しても選ぶことができます。
※2 アラーム音は6種類（ベル音（ ）A・B・C、メロディ（ ）D・E・F）の中から選べます。アラーム音を設定すると、その音が鳴るので、音色の確認をすることができます。
※3 を押して選ぶこともできます。
※4 シャトルキーで選ぶこともできます。

「アラーム音色」メロディの曲名
メロディD:パルティータ Allemande／バッハ　**メロディE:** ロマンス／ベートーベン
メロディF:「春」第1楽章／ベートーベン

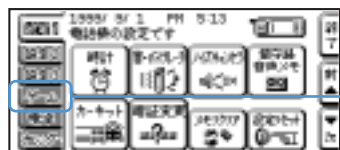
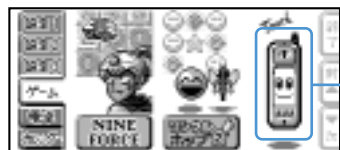
注意

●日付・時刻を合わせていないと、アラームは使用できません（20ページ「時計を設定する」参照）。
●マナーモードが「ON」に設定されていると、アラームの時刻になっても音は鳴りません（116ページ「ボタン音や着信音を鳴らさないようにする（マナーモード）」参照）。

キャラクターの音声を使う

ゲームで登場するキャラクター（シルリア）の音声をウェイクアップ時やスカイウォーカーのメッセージ送受信時、スクリーンセーバーで使うことができます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 ゲーム選択画面に切り替える（補足※2）

4 シルリアの声設定画面に切り替える

5 「ON」にする（補足※3）

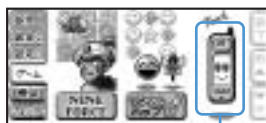
ゲーム選択画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［機能/作成］を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや［前］［次］で選ぶこともできます。

※3 ［戻る］を押すと設定を中止し、前の画面に戻ります。

「ON」にすると表示が変わります。

「OFF」にすると表示が変わります。

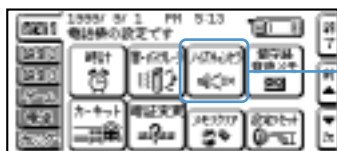
シルリアを「ON」にすると

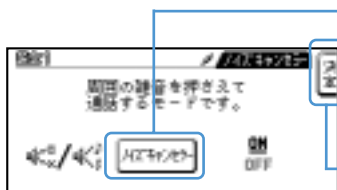
シルリアを「ON」にすると、スクリーンセーバーの設定に関わらず、シルリアのスクリーンセーバーが設定されます。

いろいろな環境設定をしよう

周りの雑音を抑える（ノイズキャンセラー）

通話中に周囲の雑音を抑えることができます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 ノイズキャンセラーの設定画面に切り替える

4 「ON」/「OFF」を切り替える

押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：**ON**）

5 ノイズキャンセラーを決定する

設定1画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［機能/自局番号］を押して切り替えることができます。

通話中に操作する

通話中（マルチコール、3者通話を含む）でも、設定を変更することができます。

1 機能/自局番号表示に切り替える

2 設定を切り替える

簡易留守録と音声メモの設定をする

簡易留守録と音声メモのオーバーライトを設定する

簡易留守録と音声メモの書き替えの設定をします。
音声メモリ（簡易留守録のメッセージや音声メモ）が一杯のとき、一番古いメッセージから自動で上書き録音（オーバーライト）をします。

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **簡易留守録・音声メモの設定画面に切り替える**

4 **「ON」/「OFF」を切り替える**

押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。

5 **オーバーライトを決定する**

設定1画面に戻ります。

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［機能/作成］を押して切り替えることができます。

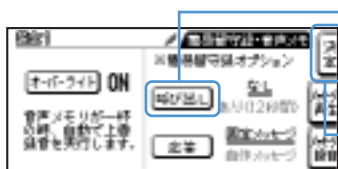
ご購入時にはONに設定されています！
ご購入時はオーバーライトの設定は「ON」にされています。音声メモリが一杯になると、自動で上書き録音します。

簡易留守録が自動応答するまでの時間を選ぶ

1 簡易留守録・音声メモの設定画面に切り替える

144ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 自動応答するまでの時間を選ぶ（補足※1）

太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：なし）

3 自動応答を決定する

設定1画面に戻ります。

補足

※1 **自動応答するまでの時間を選ぶ**

なし：

呼び出し音を鳴らさずにメッセージが流れ、簡易留守録を始めます。

あり（12秒間）：

ご購入時は、「あり」（12秒間）に設定されています。着信時に約12秒呼び出し音を鳴らし、この間に電話に出なかったときは、相手にメッセージが流れ簡易留守録を始めます。

メッセージを確認する

を押すとメッセージを確認できます。

注意

留守番電話サービス・転送電話サービスがONのとき！

留守番電話サービスまたは転送電話サービス（呼び出しあり）が「ON」で、簡易留守録（呼び出しあり）も「ON」にした場合、呼び出し時間の設定が短い方が先に動作します。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービス、簡易留守録とも「呼び出しなし」に設定した場合は、留守番電話サービスまたは転送電話サービスの動作が優先されます。

応答メッセージを自分で作る

自作したメッセージを応答メッセージとして設定することができます。

メッセージを自作する

1 簡易留守録・音声メモの設定画面に切り替える

144ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 「自作メッセージ」を選ぶ（補足※1）

太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：固定メッセージ）

3 自作メッセージ録音画面に切り替える

4 録音を開始する

マイクに向かって、メッセージを録音します。

5 録音を終了する

簡易留守録・音声メモ設定画面に戻ります。
約20秒まで録音されると、自動的に簡易留守録・音声メモの設定画面に戻ります。

メッセージを再生する

1 簡易留守録・音声メモの設定画面に切り替える

144ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 自作メッセージを再生する（補足※2）

再生が終了すると、自動的に簡易留守録・音声メモの画面に戻ります。

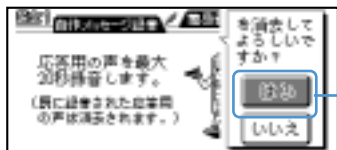
メッセージを消去する

1 簡易留守録・音声メモの設定画面に切り替える

144ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 自作メッセージ録音画面に切り替える

3 自作メッセージを消去する

消去確認画面に切り替わります。

4 消去する（補足※3）

消去され、自作メッセージ録音画面に戻ります。

いろいろな環境設定をしよう

補足

※1 **応答メッセージを選ぶ**

固定メッセージ：

ご購入時は、「固定メッセージ」に設定されています。J-フォンにあらかじめ登録されている「ただいま電話に出られません。ピッという発信音のあとにメッセージをお願いします。」というメッセージが流れます。

自作メッセージ：

自作のメッセージを録音して、相手にメッセージを流すことができます。

※2 [終了] で再生を途中で止めることができます。

※3 [いいえ] を選ぶと消去を中止し、自作メッセージ録音画面に戻ります。

録音可能時間は

メッセージは約20秒まで録音できます。

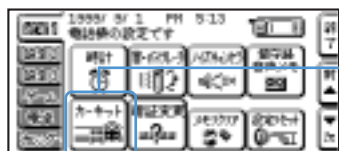
注意

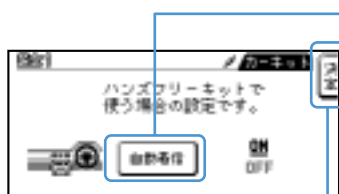
自作メッセージの保存は1件！

自作メッセージは1件のみ保存できます。保存されているとき、録音すると上書き録音されます。

ハンズフリーキットの設定をする

別売のハンズフリーキットAを使用したときは、自動着信の設定を行うことができます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 カーキットの設定画面に切り替える

4 「ON」／「OFF」を切り替える

押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：**ON**）

5 カーキットの設定を決定する

設定１画面に戻ります。

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

自動着信とは

電話が着信したとき自動的に回線をつなぎ、通話可能な状態にします。

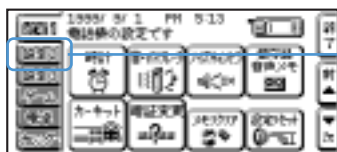
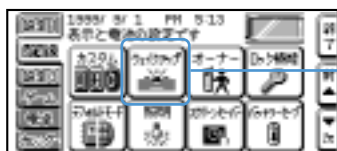
ハンズフリーキットＡの取扱説明書をお読みください

ハンズフリーキットＡ接続時の動作は、ハンズフリーキットＡの取扱説明書をお読みください。

電源を入れたときに絵や音で知らせる(ウェイクアップ)

J-フォンに電源を入れたときに絵や画像を表示したり、音を鳴らすことができます。
(113ページ「電源を入れたときのメッセージを確認する」参照)

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **設定2画面に切り替える**（補足※2）

4 **ウェイクアップの設定画面に切り替える**

5 **設定ボタンを押して設定する**（補足※3）

各項目のボタンを押すたびに設定が切り替わり、トーンでは音を確認することができます。太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：ON）

6 **ウェイクアップの設定を決定する**

設定2画面に戻ります。

いろいろな環境設定をしよう

設定項目について

トーン **音を設定する**（補足※4）

電源を入れたときに鳴る音を、ボタン音、ベル音（A、B、C、H、I、J）の7種類から選べます。音を鳴らさないときはOFFを選びます。

絵 **絵やメモトークの表示を設定する**

電源を入れたときに絵（補足※5）やメモトーク（補足※6）を表示します。OFFにすると表示されません。メモトークを選ぶときは直接「メモトーク」を押してください。

設定項目について（つづき）

所有者名表示　所有者名の表示を設定する（補足※7）

設定を「ON」にすると、オーナープロフィールに登録されている所有者名が表示されます。

予定･運勢表示　スケジュールと運勢の表示を設定する（補足※8）

「予定優先」に設定すると、電源を入れたときに当日の予定を運勢よりも先に表示します（その日のスケジュールがない時は、運勢が表示されます）。「運勢優先」に設定すると、朝・昼・夜の運勢を予定よりも先に表示します。

メモトーク選択画面

メモトークの詳しい操作方法は、「SkyWalker/SkyWeb編」113ページ「メモトークを編集・削除する」を参照してください。

中止

メモトークを選ぶのを中止し、前の画面に戻ります。

1 ページを切り替える

2 背景に使用するメモトークを選ぶ

前の画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

※3 を押して に切り替えて設定すると、確認音を鳴らさずに設定できます。

※4 他の設定にあるA、B、C、H、I、Jとは音質が異なります。

※5 表示される絵は21種類あり、オーナープロフィールで誕生日を登録しているときは、誕生日も表示されます。

絵表示例

※6 メモトークを選ぶと、メモトーク選択画面に切り替わります。

※7 設定を「ON」にしても、 が「OFF」に設定されていると表示されません。

※8 オーナープロフィールと現在時刻が入力されていないと運勢やスケジュールは表示されません（20ページ「時計を設定する」、22ページ「オーナープロフィールを入力する」参照）。

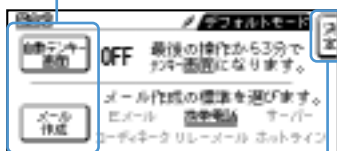
デフォルトモードを設定する

デフォルトモードの設定では、最後の操作から約3分で自動的にダイヤル画面に戻る機能や、スカイウォーカーのメッセージの作成での初期設定を変更することができます。

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **設定2画面に切り替える**（補足※2）

4 **デフォルトモードの設定画面に切り替える**

5 **設定ボタンを押して設定する**

各項目のボタンを押すたびに設定が切り替わります。
自動テンキー画面は、押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。
メール作成は、太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：**携帯電話**）

6 **デフォルトモードの設定を決定する**

設定2画面に戻ります。

設定項目について

ダイヤル画面に自動で戻る設定をする

「ON」のときは、最後の操作から約3分後に自動的にダイヤル画面に切り替わります（文字の入力、編集中、通話中などは除く）。

メール作成（スカイウォーカー）の標準選択を設定する

よく利用するメッセージタイプを選びます。スカイウォーカーでメールを作成するとき、ここで標準に設定されたメッセージタイプが優先して開きますので、メッセージタイプを選ぶ手間を省くことができます。

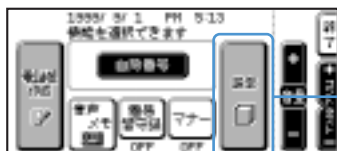
補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

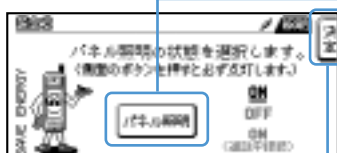
※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

タッチパネルの照明をつける（パネル照明）

タッチパネルの照明を、「ON」/「OFF」にすることができます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 設定2画面に切り替える（補足※2）

4 照明の設定画面に切り替える

5 「ON」／「OFF」を切り替える

押すたびに設定が切り替わります。
太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：ON）

6 パネル照明の設定を決定する

設定2画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

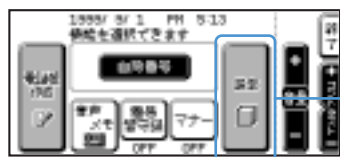
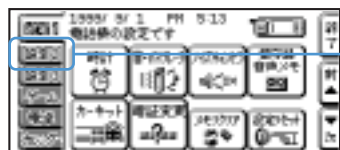
※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

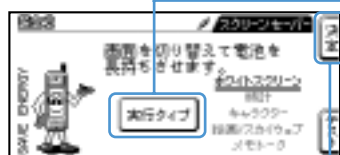
照明について

通常、照明を「ON」にしておくと、タッチパネルに触れたときに照明が点灯します。この照明は10秒以上操作をしないと、自動的に消えます。照明を「OFF」にすると、タッチパネルに触れても照明が点灯しません。ただし、電源ボタンと決定ボタンを押すと点灯します。「ON（通話中継続）」を選ぶと、通話中、ゲーム中は照明が点灯します。

操作をしないときは絵を表示させる（スクリーンセーバー）

約5分以上タッチパネルや本体ボタンに触れないと、スクリーンセーバーが動作します。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 設定2画面に切り替える（補足※2）

4 スクリーンセーバーの設定画面に切り替える

5 スクリーンセーバーの種類を選ぶ（補足※3）

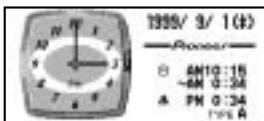
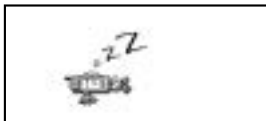
押すたびに設定が切り替わります。
太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：ホワイトスクリーン）

6 スクリーンセーバーの設定を決定する

設定2画面に戻ります。

テスト

設定したスクリーンセーバーを一時的に起動させて、約20秒の間に実行、タイプの確認を行うことができます。約20秒の間にタッチパネルや本体ボタンに触れると、スクリーンセーバーの設定画面に戻ります。

表示例

ホワイトスクリーン	時計	キャラクター

絵画/スカイウェブ		メモトーク

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［ ］を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや［ ］［ ］で選ぶこともできます。

※3 メモトークを選ぶと、メモトーク選択画面に切り替わります。メモトークを選ぶ方法は、「SkyWalker/SkyWeb編」113ページ「メモトークを編集・削除する」を参照してください。

スクリーンセーバーについて

- スクリーンセーバー中は、パネルの一部や本体のボタンなどを触れることにより、ダイヤル画面や電話帳画面などになります。
- 「ホワイトスクリーン」では、アンテナ、電池残量、カギマークの各表示のほかは、何も表示されません。
- 自動電源の「ON」「OFF」およびアラームが設定されているときは、その時刻やタイプなどが「スクリーンセーバー」の「時計」の中で表示されます。
- 「スカイウェブ」では、情報メッセージの長さにより全て表示されないことがあります。

注意

スクリーンセーバーを「時計」「キャラクター」「絵画/スカイウェブ」「メモトーク」に設定すると、「ホワイトスクリーン」に比べて連続待受時間が多少短くなります。

シルリアの声を設定していると

ゲームキャラクターのシルリアの声を設定していると、スクリーンセーバーの設定に関わらず、シルリアのスクリーンセーバーが表示されます。

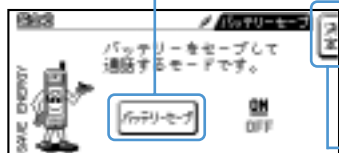
電池の消耗を抑える(バッテリーセーブ機能)

自分が話していないときに電波の出力を抑えて、電池を節約することができます。

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **設定2画面に切り替える**（補足※2）

4 **バッテリーセーブの設定画面に切り替える**

5 **「ON」／「OFF」を切り替える**

押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：**ON**）

6 **バッテリーセーブの設定を決定する**

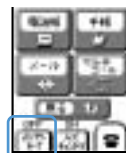
設定2画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［機能/作成］を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや［前］［次］で選ぶこともできます。

通話中に操作する

また通話中（マルチコール、3者通話を含む）でも、［機能/自局番号］を押して表示を切り替えると設定を変更することができます。

注意

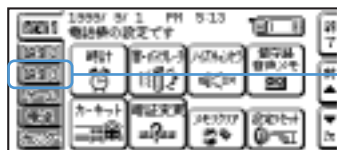
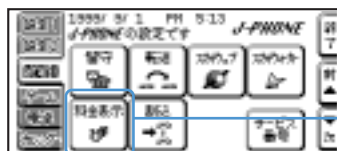
不自然に聞こえる場合があります！

「ON」に設定されていると、話し始めの声が相手に不自然に聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

料金表示

電話をかけて通話が終了したとき（電話を切ったとき）に、その通話の料金の目安、累積料金目安、累積時間目安を表示させることができます。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 設定3画面に切り替える（補足※2）

4 料金表示の設定画面に切り替える

5 「ON」／「OFF」を切り替える

押すたびに「ON」↔「OFF」が切り替わります。太字でアンダーラインのついた項目が選ばれています。（例：**ON**）

6 料金表示の設定を決定する

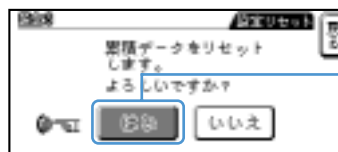
設定3画面に戻ります。

累積料金をリセットする

1 料金表示設定画面に切り替える

157ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 設定リセット画面に切り替える

操作用暗証番号入力画面が表示されます。

3 操作用暗証番号を入力する（補足※3）

4桁が入力されると、設定リセット画面に切り替わります。

4 データを削除する

料金表示設定画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも [ボタン] を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや [キー] で選ぶこともできます。

※3 ご購入時の操作用暗証番号は「9999」もしくはJ-フォンをご契約いただいたときに、お決めいただいた4桁の番号に設定されています。
操作用暗証番号が間違っていると「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。メッセージ表示後、もう一度正しい操作用暗証番号を入力してください。

料金表示について

通話料金は、通話が切れると約30秒表示されます。液晶タッチパネルに触れると表示は消えます。

注意

表示はあくまでも目安！

表示される料金表示はあくまでも目安であり、実際の料金とは異なる場合があります。

累積料金は料金表示されたものだけ！

通話終了後に料金表示されたものだけ、累積加算されます。

通話料金表示されない場合！

電波が弱くなって通話が切断された場合（通話中にサービスエリア外へ移動した場合やトンネル内に入った場合など）、国際電話をかけた場合、留守番電話サービスセンターの遠隔操作用電話番号をダイヤルした場合には通話料金表示はされません。

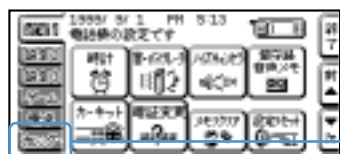
カレンダー・ゲーム・電卓

カレンダーを使う

カレンダーや運勢を見たり、自分のスケジュールを管理することができます。

カレンダーを見る

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 カレンダー画面に切り替える（補足※2）

4 見たい年、月、日のカレンダーを表示する

1924年1月1日から2023年12月31日まで見ることができます。

5 カレンダー表示を終了する

基本画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［登録/作成］を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや［前］［次］で選ぶこともできます。

日付に色を付けて管理する

カレンダーの日付にグレー1（薄いグレー）、グレー2（濃いグレー）の色を付け、自分の休みのスケジュールや特別な日などに色を付けて管理することができます。

1 カレンダー画面に切り替える

160ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 色を付ける日を選ぶ

3 色を決める（補足※1）

押すごとに グレー1 → グレー2 → なし が切り替わります。

4 色付けを終了する

基本画面に戻ります。

※1 日曜・祝日はあらかじめ グレー1 に設定されています。

カレンダーの色について

- 色付けは日曜・祝日を含めて100日分できます。日曜・祝日の色を グレー2 や なし に変更したとき1日分として数えられます。
- グレー1 は日曜日や祝日と同じ濃さです。
- 付けた印をすべて消すときは、 一括消去 を押してください。
- グレー表示が淡くて見にくいときは、液晶コントラストを濃くすると違いが分かりやすくなります（111ページ「タッチパネル表示の濃淡を調整する（コントラスト）」参照）。

2000年以降の祝日について

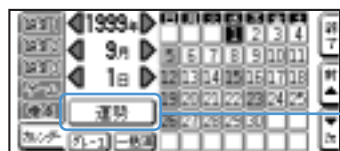
2000年以降の祝日については、すべてに対応していません。

カレンダー・ゲーム・電卓

運勢を見る

朝、昼、夜のその時間帯の自分の運勢または自分以外の人（電話帳登録している人）の運勢を見ることができます。**(注) 実際表示される運勢は、以下の画面と異なります。**

自分の運勢を見る

オーナープロフィールに登録した人（自分）の運勢を見ます。

1 カレンダー画面に切り替える

160ページ 1 〜 3 の操作をする。

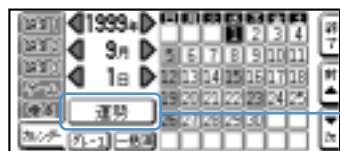
2 運勢を表示する

3 表示を切り替える

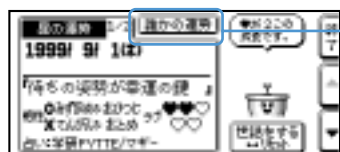
4 運勢の表示を終了する (補足※1)

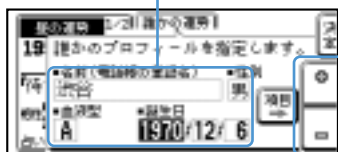
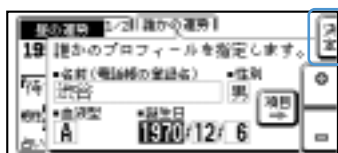
カレンダー画面に戻ります。

誰かの運勢を見る

電話帳に登録されている人の運勢を見ることができます。

1 カレンダー画面に切り替える

160ページ 1 〜 3 の操作をする。

2 運勢を表示する

3 誰かの運勢を見る

4 **運勢を見たい人を選ぶ**（補足※2）

5 **プロフィールを入力する項目を選ぶ**（補足※3）

6 **プロフィールの内容、誕生日を合わせる**（補足※2、4）

7 **運勢を見る**

選んだ人の運勢が表示されます。

8 **表示を切り替える**

続きの表示を読みます。

9 **運勢の表示を終了する**（補足※1）

カレンダー画面に戻ります。

※1 を押すと前の画面に戻ります。

※2 シャトルキーで選ぶこともできます。

※3 を押して選ぶこともできます。

※4 西暦は1924～2023年まで入力できます。

注意

運勢が表示されないとき！

オーナープロフィールをJ-フォンに登録していないと、運勢は表示されません（22ページ「オーナープロフィールを入力する」参照）。

カレンダー・ゲーム・電卓

スケジュールを管理する

スケジュール機能は、設定した日時、電源投入時にスケジュールを知らせることができます。

登録の準備

新しいスケジュールを入力します。日時、スケジュール内容を入力し、アラーム設定をします。

1 スカイウェブ画面に切り替える（補足※1）

2 手帳画面の「スケジュール」に切り替える

月間スケジュールが表示されます。
手帳画面が「ライブラリ」「メモトーク」のときは、を押して「スケジュール」に切り替えてから操作してください。

ライブラリ

メモトーク

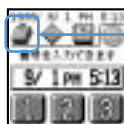
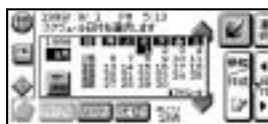
3 スケジュールを登録する日付を選ぶ（補足※2）

日付の選びかたについては次ページ「月間スケジュール」「週間スケジュール」を参照してください。

4 機能選択画面に切り替える

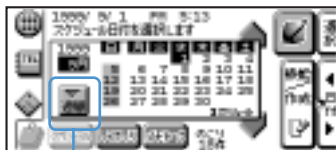
5 スケジュール作成画面に切り替える

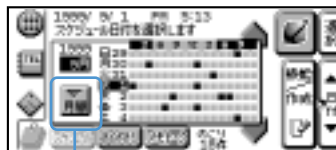
時・分を選ぶ に進む

※1 画面にがないときは、を押して手帳画面に切り替えます。ボタンの位置は前回の操作によって切り替わります。

1 手帳画面に切り替える

※2 日付はで選ぶこともできます。

週間スケジュールと月間スケジュール

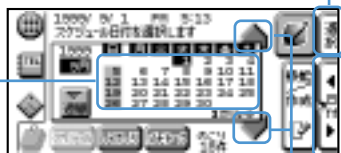
押すたびにが切り替わります。

月間スケジュール

1 週間スケジュールに切り替える

週間スケジュール

2 月間スケジュールに切り替える

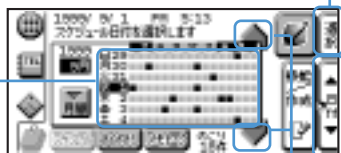
月間スケジュール

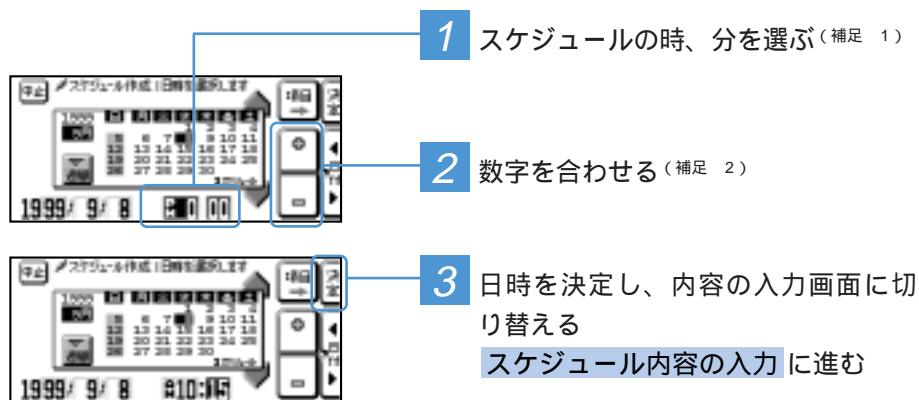
直接選択
カレンダー表示内の日付を直接選ぶことができます。

選択（補足※1）
▮のマークが付いている日付を選ぶと、スケジュールの内容を表示したり、編集できます。

月
カレンダーの月を進めたり、戻したりします。

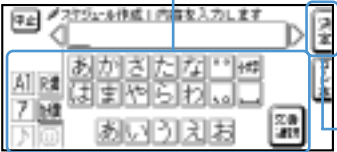
日付（補足※2）
日（反転表示）を進めたり、戻したりします。

週間スケジュール

直接選択
カレンダー表示内の日付を直接選ぶことができます。

選択（補足※1）
■のマークが付いている日付を選ぶと、スケジュールの内容を表示したり、編集できます。

週
カレンダーの週を進めたり、戻したりします。

日付（補足※2）
日（反転表示）を進めたり、戻したりします。

※1 ▮マーク（月間カレンダー）、■マーク（週間カレンダー）はスケジュールが登録されていることを表示しています。
※2 シャトルキーで選ぶこともできます。

時・分を選ぶ

1 **スケジュールの時、分を選ぶ**（補足※1）

2 **数字を合わせる**（補足※2）

3 **日時を決定し、内容の入力画面に切り替える**

スケジュール内容の入力に進む

カレンダー・ゲーム・電卓

補足

※1 [icon] を押して選ぶこともできます。

※2 ・押したままにすると数字が早く送られます。

・シャトルキーや [icon] で日付を送ることができます。

スケジュールに登録できる件数

スケジュールは1日5件、計100件まで登録できます。

スケジュール内容の入力

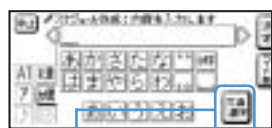
1 内容を入力する

文字の入力については39ページ「文字入力のしかた」を参照してください。

2 入力した内容を決定する

アラームの設定 に進む

スケジュールのキーワード入力

を押すと、キーワードを選び入力することができます。

1 キーワード選択画面に切り替える

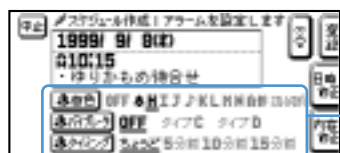
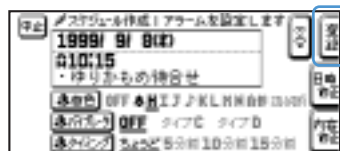
2 キーワードを選ぶ

次ページ

キーワードのページを切り替えます。

文書入力

文字入力画面に戻ります。

アラームの設定

1 スケジュールを知らせるための設定をする

2 登録する
スケジュールの登録に進む

設定項目について

🔔音色 アラームの音色を選ぶ（補足※1）

スケジュールをアラームで知らせるときは音色を3種類のベル音、4種類のメロディ、オリジナル着信音（注意※1）、スカイメロディ（注意※1）から選びます。
「スカイメロディ」を直接選ぶとスカイメロディの選択画面（92ページ「スカイメロディを着信音に設定する」参照）に切り替わり、「自作」を直接選ぶとオリジナル着信音の選択画面（86ページ「着信音を自分で作る（オリジナル着信音）」参照）に切り替わります。

🔔バイブレータ バイブレータを選ぶ

スケジュールをバイブレータで知らせます。タイプCまたはタイプDから選びます。

🔔タイミング アラーム、バイブレータで知らせるタイミングを選ぶ（補足※2）

スケジュールのアラームを設定した時刻を、「ちょうど」「5分前」「10分前」「15分前」の4種類から選びます。

補足

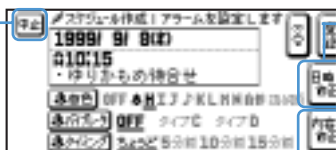
※1 [ボタン]を押して[ボタン]に切り替えて設定すると、確認音を鳴らさずに設定できます。
※2 音色とバイブレータの両方を「OFF」に設定すると、アラームが鳴りませんのでタイミングは選べません。

注意

※1 スカイメロディ・オリジナル着信音に登録されていないときに、「スカイメロディ」または「自作」を 着信音色 で選ぶと、ベル音Hが選ばれます。92ページ「スカイメロディを着信音に設定する」、86ページ「着信音を自分で作る（オリジナル着信音）」を参照してください。

スケジュールの内容確認と中止

中止

スケジュールの登録を中止します。

日時修正

日時選択画面に戻り、日時を変更できます。

内容修正

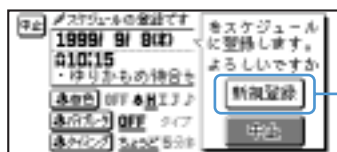
内容入力画面に戻り、内容を変更できます。

スケジュールアラーム

アラームを設定した日時になるとアラームやバイブレータなどでスケジュールを知らせます。

1 スケジュールを確認する

・通話中にアラームの時間になったときは、通話を終了した後に、アラームが鳴り、スケジュールを知らせます。
・電源を切った状態でもアラームの時間になると、自動的に電源が入りスケジュールを知らせます。

スケジュールの登録

1 入力したスケジュールを登録する（補足※1）

2 入力を終了する（補足※2）

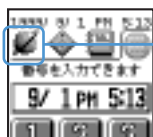
スケジュール画面に戻ります。

補足

※1 中止 を選ぶと登録を中止し、前の画面に戻ります。
※2 ・スケジュール入力を続けるときは 新規入力 を選びます。
・スケジュールが登録されると、カレンダーに ▮ マーク（月間カレンダー）、または■マーク（週間カレンダー）が付きます。

スケジュールを編集・削除する

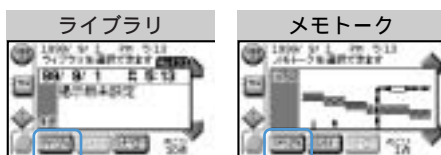
スケジュールを表示する

登録したスケジュールを表示します。

1 スカイウェブ画面に切り替える(補足※1)

2 手帳画面に切り替える

月間スケジュールが表示されます。
手帳画面が「ライブラリ」「メモトーク」のときは、[スケジュール]を押して「スケジュール」に切り替えてから操作してください。

ライブラリ

メモトーク

3 見たいスケジュールを選ぶ

日付の選びかたについては、165ページ「月間スケジュール」「週間スケジュール」を参照してください。

4 選んだスケジュールを見る

スケジュール選択画面に切り替わります。

スケジュールの選択画面について

中止
スケジュール画面に戻ります。

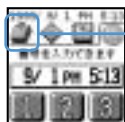
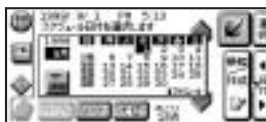
選択
編集、削除、シークレット、アラームの再設定をするスケジュールを選びます。
太枠で囲まれたスケジュールが選ばれています。

削除
スケジュールを削除します。

アラーム
スケジュールのアラームを再設定します。

編集
スケジュールの内容を再度編集します。

シークレット
スケジュールの内容をシークレットに登録して、内容を非表示にします。

※1 画面に がないときは、 を押して手帳画面に切り替えます。ボタンの位置は前回の操作によって切り替わります。

1 手帳画面に切り替える

スケジュールを編集する

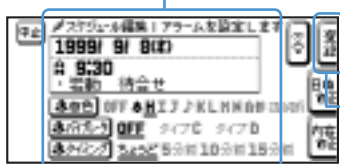
登録したスケジュールを編集したり、不要なスケジュールを削除することができます。

1 スケジュール選択画面にする

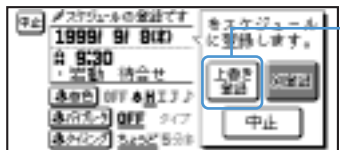
170ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 編集するスケジュールを選ぶ

選んだスケジュールは太枠で囲まれます。

3 スケジュール編集画面に切り替える

4 日時や内容、アラームの設定を編集する（補足※1）

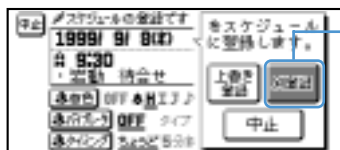
5 登録する

登録確認の画面が表示されます。

6 編集したスケジュールを上書き登録する（補足※2）

変更した内容を登録されていた内容と入れ替えて登録します。登録されていた内容は残りません。

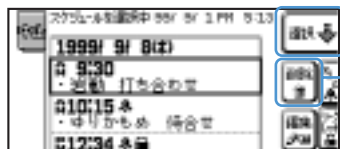
補足 は 次ページ参照。

別登録するとき

別登録

編集した内容を、登録されていた内容とは別に新しくスケジュールに登録します。登録されていた内容はそのまま残ります。

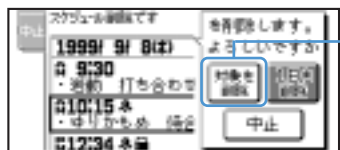
スケジュールを削除する

1 スケジュール選択画面にする

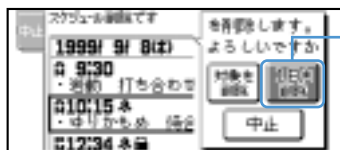
170ページ 1 〜 4 の操作をする。

2 削除するスケジュールを選ぶ

選んだスケジュールは太枠で囲まれます。

3 スケジュールを削除する

削除確認の画面が表示されます。

4 スケジュールを削除する（補足※3）

選んだスケジュールを削除して、スケジュール参照画面に戻ります。スケジュールが残っていないときは、スケジュール画面に戻ります。

1日のスケジュールを削除するとき

1日を削除

その日のスケジュールを全て削除します。
スケジュール画面へ戻ります。

補足

※1 編集のしかたについては新規設定と同じです（164ページ「スケジュールを管理する」参照）。

※2 ・上書き登録すると確認メッセージが表示されます。
・ 中止 を選ぶと登録を中止し、スケジュール編集画面に戻ります。

※3 中止 を選ぶと削除を中止し、スケジュール編集画面に戻ります。

アラームを設定し直す

スケジュールのアラーム、バイブレータ、タイミングを再度設定することができます。

1 スケジュール選択画面にする

170ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 アラームを設定し直すスケジュールを選ぶ

選んだスケジュールは太枠で囲まれます。

3 アラームを再度設定します

アラーム再設定の画面が表示されます。

4 変更したい項目を選び設定し直す

5 変更した設定を登録する

スケジュール画面に戻ります。

設定項目について

アラーム ONまたはOFFに設定する (注意※1)

「ON」に設定したときは、音色、バイブレータ、タイミングを選びます。
「OFF」に設定すると音色、バイブレータ、タイミングはすべて選べなくなります。

音色 アラームの音色を選ぶ (補足※1)

押すたびに音色が切り替わります。

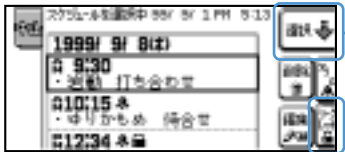
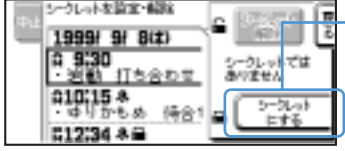
バイブレータ バイブレータを選ぶ (補足※1)

押すたびにバイブレータのタイプが切り替わります。

タイミング アラーム、バイブレータで知らせるタイミングを選ぶ (補足※1)

押すたびにタイミングが切り替わります。

カレンダー・ゲーム・電卓

補足 注意 は 次ページ参照。

※1 ここで設定し直す、音色、バイブレータ、タイミングは168ページ「アラームの設定」で選んだ設定と同じ内容を選び直します。

※1 アラームを「ON」にすると、音色とバイブレータの両方を「OFF」に設定することができなくなります。

秘密にしたいスケジュールを登録する（シークレット）

スケジュール画面では、シークレットに設定すると、日付と時間だけを表示して内容を表示させなくすることができます。

1 スケジュール選択画面にする

170ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 シークレットにするスケジュールを選ぶ

選んだスケジュールは太枠で囲まれます。

3 操作用暗証番号入力画面に切り替える

操作用暗証番号入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する（補足※1）

4桁が入力されると、シークレット設定・解除画面に切り替わります。

5 選んだスケジュールをシークレットにする（補足※2）

シークレットに登録され、スケジュール参照画面に戻ります。

シークレットを解除する

シークレットに登録したスケジュールを解除します。

1 シークレット解除画面にする

前項の 1 ～ 4 の操作をする。

2 シークレットを解除する

シークレット登録が解除され、スケジュール参照画面に戻ります。

※1 ご購入時の操作用暗証番号は「9999」もしくはJ-フォンをご契約いただいたときに、お決めいただいた4桁の番号に設定されています。
操作用暗証番号が間違っていると「暗証番号が違います。」のメッセージが表示されます。メッセージ表示後、もう一度正しい操作用暗証番号を入力してください。

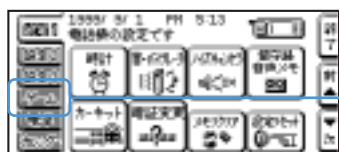
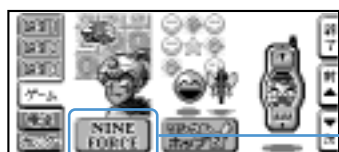
※2 シークレットに登録されたスケジュールには🔒マークが表示されます。

ゲームをする

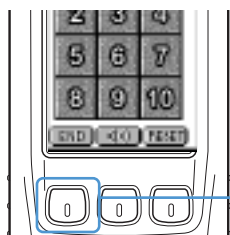
NINE FORCE（ナイン フォース）

世界の強者達とサイコロを使って陣地をとりあうゲームです。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 ゲーム選択画面に切り替える（補足※2）

4 NINE FORCEを選ぶ

5 対戦方法を選ぶ

ゲームがスタートします。

6 ゲームを終了する

ゲーム選択画面に戻ります。

ゲームのしかた

説明画面

ベストスコアデータを消去します。

ゲームを終了し、ゲーム選択画面に戻ります。

「ゲームの遊び方」の説明画面を開きます。

ゲーム中の音を鳴らす（　）、鳴らさない（　）が選べます。

ゲームの遊び方を読みます。

ページを送ります。

「ゲームの遊び方」の説明を閉じます。

ゲーム中画面

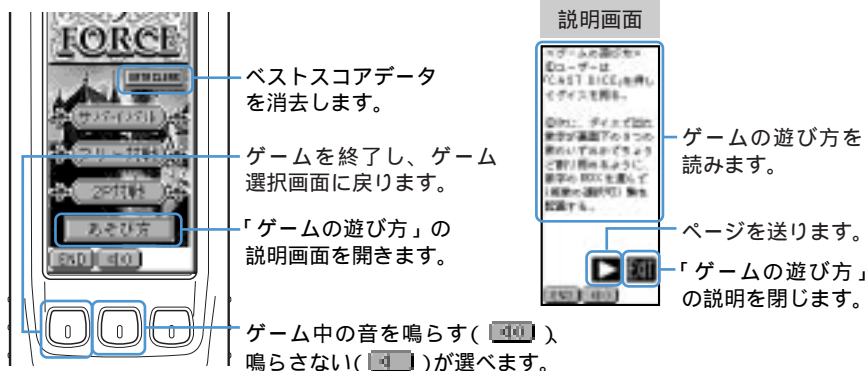
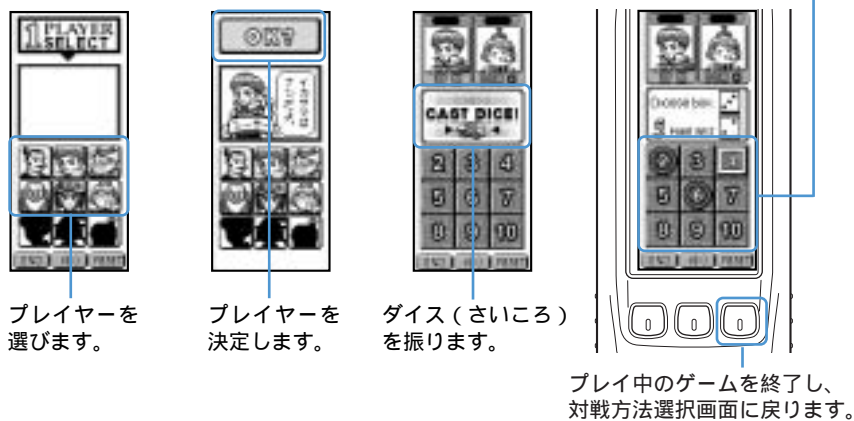
ルールに従って、駒を配置するBOXを選びます。

プレイヤーを選びます。

プレイヤーを決定します。

ダイス（さいころ）を振ります。

プレイ中のゲームを終了し、対戦方法選択画面に戻ります。

補足

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

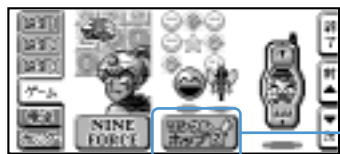
操作は本体ボタンで

、、 のボタンは直接操作できません。表示下の で操作してください。

ゲーム中に電話を受けられます

ゲーム中に電話がかかってきたときは、ゲームを一時中断して着信画面に切り替わります。通話終了後は、ゲームを再開することができます。

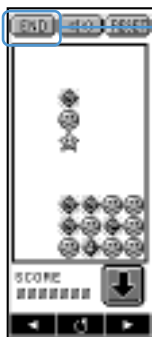
リンクルホップ2

「リンクルホップ2」はブロックの中に閉じ込められた妖精を助け出すアクションパズルゲームです。妖精を助けるとボーナスポイントがもらえます。

1 **ゲーム選択画面に切り替える**

176ページ 1 ～ 3 の操作をする。

2 **リンクルホップ2を選ぶ**

3 **ゲームの難易度を選ぶ**

ゲームがスタートします。

4 **ゲームを終了する**

ゲーム選択画面に戻ります。

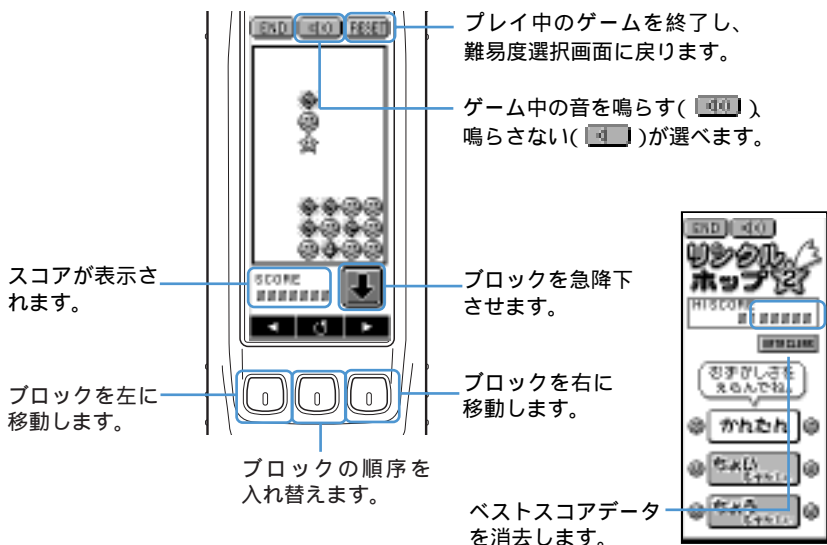
補足

操作は本体ボタンで

◀、↺、▶ のボタンは直接操作できません。表示下の 0 で操作してください。

ゲーム中に電話を受けられます

ゲーム中に電話がかかってきたときは、ゲームを一時中断して着信画面に切り替わります。通話終了後は、ゲームを再開することができます。

ゲームのしかた

ゲームオーバーとスコア

ブロックが上まで埋まってしまうと、ゲームオーバーです。助けた妖精の数が、ボーナスポイントしてスコアに加算されます。

ブロックの種類

ブロックは、3つ単位で落下してきます。ブロックには次の4種類があります。

ホップブロック：

カウンターブロックの数字に合わせて縦や横に並べると、ブロックが消えて妖精を助けることができます。

カウンターブロック：

妖精の閉じ込められているブロックです。ホップブロックをカウンターブロックの数字分だけ縦や横に並べると、ブロックが消えて妖精を助けることができます。

ハテナジュエリー：

下に落とさないと、どんな数字が出るかわからないカウンターブロックです。

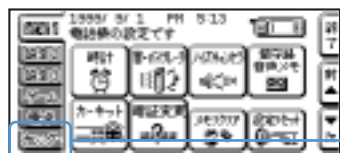
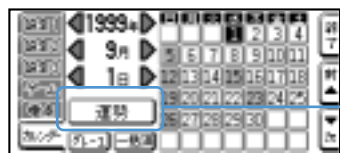
スターブロック：

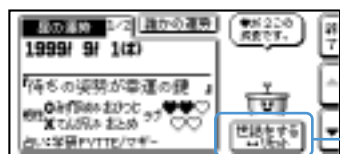
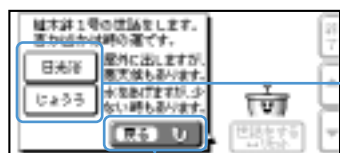
カウンターブロックの数字に合わせて縦や横に並べるとすべてのブロックが消えて、ボーナスポイントが加算されます。

お花を育てる

画面上でお花を育てることができます。

1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定1画面に切り替える**

3 **カレンダー画面に切り替える**（補足※2）

4 **運勢を表示する**

運勢の右側にお花が表示されます。

5 **世話をする画面に切り替える**

6 **世話をする**

日光浴：屋外に出して日光浴をさせます。

じょうろ：水をあげます。

7 **前の画面に戻る**

ウェイクアップで毎日育てよう

ウェイクアップ設定で を「予定優先」または「運勢優先」に設定すると、電源を入れたときに植物の成長状態が画面に表示されます（149ページ「電源を入れたときに絵や音で知らせる（ウェイクアップ）」参照）。植物は日々成長します。日光浴や水をあげるなどの世話をして大切に育ててください。お世話をするとき、悪天候であったり、水が少ないときもあります。

植木鉢2号

自分の運勢のときに表示される鉢を植木鉢1号、誰かの運勢のときに表示される鉢を植木鉢2号として、2鉢育てることができます。

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

世話のリセット

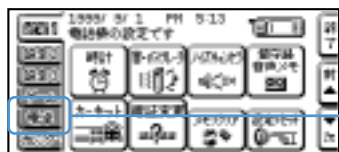
- を約1秒以上押すと、今までの世話をリセットし、植物を最初から育てることができます。
- 成長が一通り終了したとき、 を約1秒未満押すと、成長の終了を確認できます。

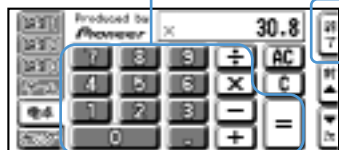
運勢画面が表示できない

オーナープルフィールが入力されていないと運勢を表示することができません。オーナープロフィールを入力してください（22ページ「オーナープロフィールを入力する」参照）。

電卓を使う（簡易電卓機能）

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定1画面に切り替える

3 電卓画面に切り替える（補足※2）

4 計算する

5 電卓を終了する

基本画面に戻ります。

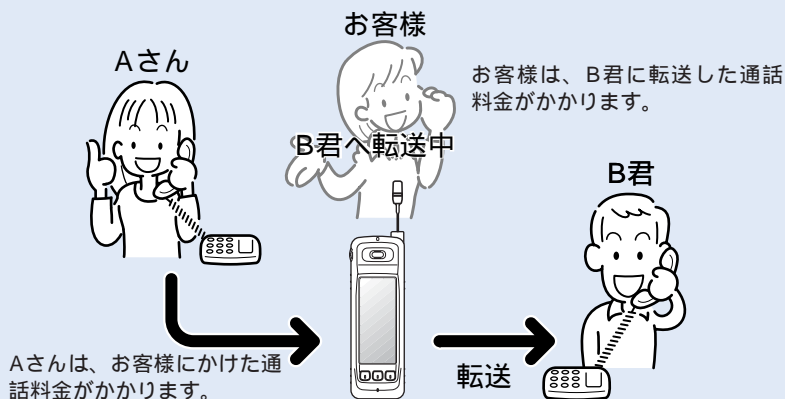
※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

電卓を使用中に着信があると、計算結果は消去されます。

オプションサービスがご利用できます

転送電話サービスを利用する

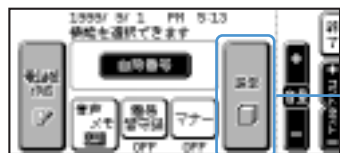
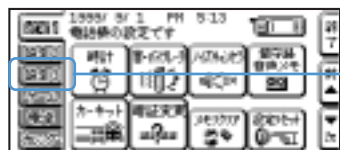
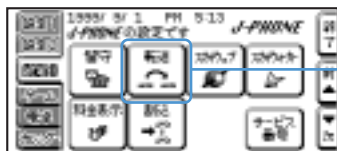
かかってきた電話を、登録しておいた電話番号に転送することができます。

転送先の電話番号を登録する

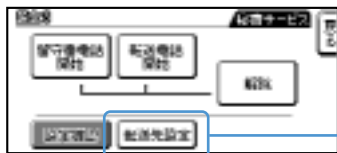
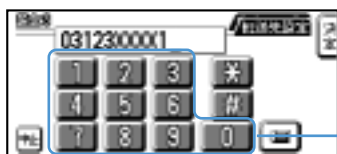
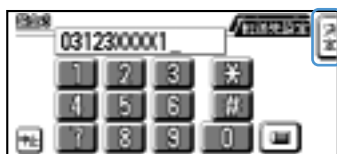
転送電話サービスを開始する前に、転送先となる電話番号を登録します。

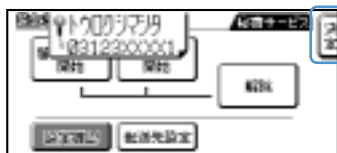
1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定１画面に切り替える

3 設定3画面に切り替える（補足※2）

オプションサービス

4 転送電話サービス設定画面に切り替える（補足※3）

秘書サービス画面に切り替わります。

5 転送先の番号入力画面に切り替える

6 転送先の電話番号を市街局番から入力する

7 転送先を登録する

確認メッセージが表示されます。

8 設定3画面に戻る

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［発信/作成］を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや［前］［次］で選ぶこともできます。

※3 秘書サービスとは留守番電話サービスと転送電話サービスのことです。

一般電話から操作する

転送電話サービスの操作は、プッシュトーンを送出できる一般電話からすることもできます（191ページ「一般電話から転送電話サービスを操作する」参照）。

圏外表示がでる場所では！

サービスエリア外など電波の届かないところ(圏外表示がでる場所)では転送電話サービスの設定はできません。プッシュトーンを送出できる一般電話から行ってください(191ページ「一般電話から転送電話サービスを操作する」参照)。

転送先として登録できない番号！

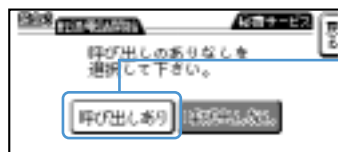
次の番号は転送先として登録できません。

・「1」で始まる電話番号
　(110、119など)
・「00」で始まる電話番号
　(001で始まる国際電話番号など)
・「0120」で始まる電話番号
　(フリーダイヤル)
・「0990」で始まる電話番号
　(ダイヤルQ2など)

転送電話サービスを開始する

転送電話サービスを開始します。Ｊ-フォンにかかってきた電話は、登録した電話番号に転送されます（184ページ「転送先の電話番号を登録する」参照）。

1 秘書サービス設定画面に切り替える

184ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 転送電話サービスの開始画面に切り替える

3 「呼び出しあり」を選ぶ（補足※1）

メッセージが表示され、転送電話サービスが開始されます。

4 画面に触れる

5 設定3画面に戻る

※１「呼び出しあり」を選んだとき

設定した時間（188ページ「呼び出し時間を設定する」）呼び出して応答がなければ転送先に転送します。呼び出し時間はご購入時約２０秒に設定されています。呼び出されている間は電話を受けることができます。

「呼び出しなし」を選んだとき

呼び出さずに転送します。

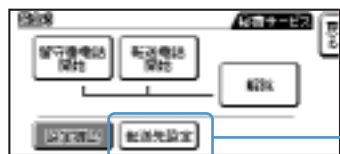
留守番電話サービスと同時にはご利用できません！

転送電話サービスの開始後に留守番電話サービスを開始すると、自動的に転送電話サービスが解除されます。

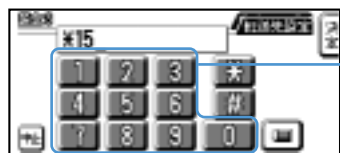
割り込みコールサービスが設定されている場合！

割り込みコールサービスが設定されている場合は、通話中にあとからかかってきた電話は「呼び出しあり」/「呼び出しなし」の条件に従って転送されます。

呼び出し時間を設定する

転送電話サービスを「呼び出しあり」でご利用の際、J-フォンのボタン操作により5〜30秒（5秒単位で6段階）の間で呼び出し時間の設定を変更できます。

1 秘書サービス設定画面に切り替える

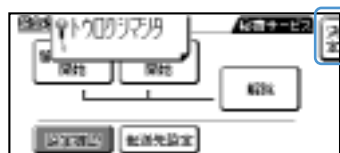
184ページ 1 〜 4 の操作をする。

2 転送先の番号入力画面に切り替える

3 呼び出し時間を5秒単位で入力する

（補足※1）

例）15秒= ＊15（ ＊ 1 5 を押します）

4 呼び出し時間を登録する

確認メッセージが表示されます。

5 設定3画面に戻る

※1 5秒単位以外で入力すると「ゴリヨウニナレマセン」と表示されます。もう一度入力し直してください。

遠隔操作では呼び出し時間の設定はできません！

サービスエリア外など電波の届かないところ（圏外表示がでる場所）や一般電話からの遠隔操作では呼び出し時間の設定はできません。

転送電話サービス・簡易留守録サービスがONのとき！

転送電話サービス（呼び出しあり）を利用して、簡易留守録（呼び出しあり）も「ON」にしたとき、転送電話サービスの呼び出し時間が10秒以下の場合は、転送電話サービスが動作します。転送電話サービスの呼び出し時間が15秒以上の場合は、簡易留守録が動作します。

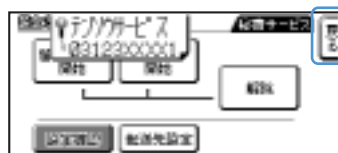
転送電話サービス、簡易留守録とも「呼び出しなし」にしたときは、転送電話サービスが動作します。

転送電話サービスの設定内容を確認する

転送電話サービスが開始されているか確認したり、転送先として登録した電話番号を確認します。

1 秘書サービス設定画面に切り替える

184ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 設定内容を表示する

3 設定3画面に戻る

注意

転送電話サービスを開始していない場合！

転送電話サービスを開始していないときは、転送先の番号は表示されず、次のメッセージが表示されます。

・転送電話サービスが設定されず、留守番電話サービスが設定されているとき
「ルスバンサービス ON」

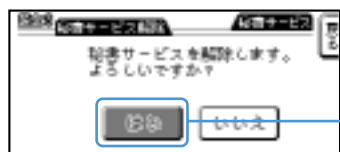
・転送電話サービスも留守番電話サービスも設定されていないとき
「ヒショサービス OFF」

オプションサービス

転送電話サービスを解除する

1 秘書サービス設定画面に切り替える

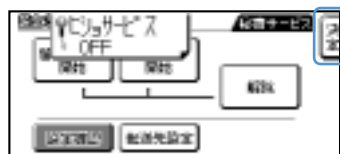
184ページ 1 〜 4 の操作をする。

2 転送電話サービスの解除画面に切り替える

3 転送電話サービスを解除する（補足※1）

「ヒショサービスOFF」のメッセージが表示されます。

4 設定3画面に戻る

補足

※1 いいえ を選ぶと解除を中止し、前の画面に戻ります。

一般電話から転送電話サービスを操作する

サービスエリア外などでＪ-フォンから操作できないときは、プッシュトーンを送出できる一般電話から転送電話サービスの開始や解除などをすることができます。

1 遠隔操作用の電話番号をダイヤルする

・J-フォン東京でご契約された方
090－391－1406
・J-フォン関西でご契約された方
090－392－1406
・J-フォン東海でご契約された方
090－393－1406

2 自分の電話番号＋<＃>

アナウンスに従って自分のＪ-フォンの電話番号をダイヤルし、<＃>を押します。

3 交換機用暗証番号＋<＃>

アナウンスに従って交換機用暗証番号をダイヤルし、<＃>を押します。

4 サービス番号＋<＃>

アナウンスに従って以下のサービス番号をダイヤルし、<＃>を押します。

●サービス番号

・転送先電話番号の登録	：402＋転送先電話番号
・転送電話サービスの開始（呼び出しあり）	：441
・転送電話サービスの開始（呼び出しなし）	：421
・転送電話サービスの解除	：400
・設定内容の確認	：403

以降、入力したサービス番号に応じた内容のアナウンスがあります。

5 操作を終了するときは<＃>

終了のアナウンスのあと、電話が切れます。

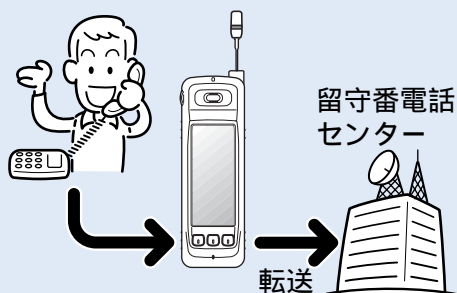
交換機用暗証番号とは

交換機用暗証番号とはご契約時にお決めいただいた4桁の番号です。

電話番号または交換機用暗証番号を間違えたとき

ご自分の電話番号または交換機用暗証番号を間違えたときは再入力をうながすアナウンスの後、正しい番号を入力してください。ただし、3回間違えると電話が切れます。手順1からもう一度し直してください。

留守番電話サービスを利用する

かかってきた電話を、留守番電話サービスセンターに転送します。

電波の届かない場所や、通話中のため電話に出られないとき（割り込みコールサービスを設定しているときは除く）などに、電話をかけてきた相手にアナウンスを流し、伝言を録音して、後で聞くことができます。

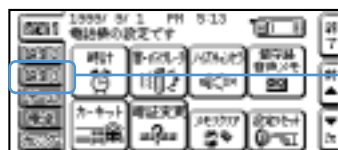
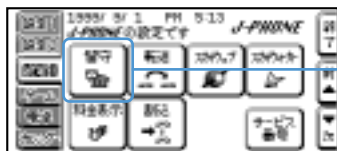
留守番電話サービスを開始する

留守番電話サービスを開始します。以降、Ｊ-フォンにかかってきた電話は、留守番電話サービスセンターに転送されます。

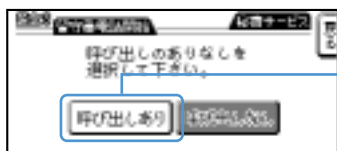
1 **機能選択画面に切り替える**（補足※1）

2 **設定１画面に切り替える**

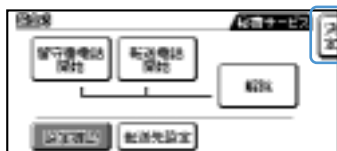
3 **設定3画面に切り替える**（補足※2）

オプションサービス

4 留守番電話サービス設定画面に切り替える（補足※3）

秘書サービス画面に切り替わります。

5 留守番電話サービスの開始画面に切り替える

6 「呼び出しあり」を選ぶ（補足※4）

メッセージが表示され留守番電話サービスが開始されます。

7 画面に触れる

8 設定3画面に戻る

※1 ダイヤル画面以外の画面からも［機能/休止］を押して切り替えることができます。

※2 シャトルキーや［▲］［▼］で選ぶこともできます。

※3 秘書サービスとは留守番電話サービスと転送電話サービスのことです。

※4 **「呼び出しあり」を選んだとき**

設定した時間（195ページ「呼び出し時間を設定する」）呼び出して応答がなければ留守番電話サービスセンターに転送します。呼び出し時間はご購入時約20秒に設定されています。呼び出されている間は電話を受けることができます。

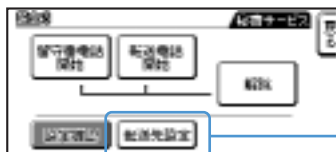
「呼び出しなし」を選んだとき

呼び出さずに留守番電話サービスセンターに転送します。

転送電話サービスと同時には利用できません！
転送電話サービスの開始後に留守番電話サービスを開始すると、自動的に転送電話サービスが解除されます。

圏外表示がでる場所では！
サービスエリア外など電波の届かないところ（圏外表示が出る場所）では、留守番電話の操作はできません。プッシュトーンを送出できる一般電話から行ってください（200ページ「一般電話から留守番電話サービスを操作する」参照）。

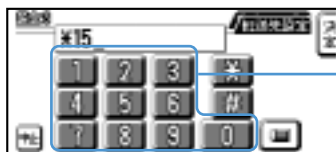
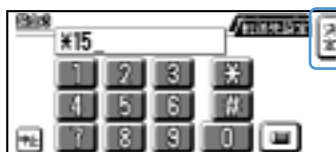
呼び出し時間を設定する

留守番電話サービスを「呼び出しあり」でご利用の際、J-フォンのボタン操作により5〜30秒（5秒単位で6段階）の間で呼び出し時間の設定を変更できます。

1 秘書サービス設定画面に切り替える

192ページ 1 〜 4 の操作をする。

2 転送先の番号入力画面に切り替える

3 呼び出し時間を5秒単位で入力する

（補足※1）

例）15秒= *15（ * 1 5 を押します）

4 呼び出し時間を登録する

確認メッセージが表示されます。

5 設定3画面に戻る

補足

※1 5秒単位以外で入力すると「ゴリヨウニナレマセン」と表示されます。もう一度入力し直してください。

注意

遠隔操作では呼び出し時間の設定はできません！

サービスエリア外など電波の届かないところ（圏外表示がでる場所）や一般電話からの遠隔操作では呼び出し時間の設定はできません。

留守番電話サービス・簡易留守録サービスがONのとき！

留守番電話サービス（呼び出しあり）を利用して、簡易留守録の（呼び出しあり）も「ON」にしたとき、留守番電話サービスの呼び出し時間が10秒以下の場合は、留守番電話サービスが動作します。留守番電話サービスの呼び出し時間が15秒以上の場合は、簡易留守録が動作します。

留守番電話サービス、簡易留守録とも「呼び出しなし」にしたときは、留守番電話サービスが動作します。

留守番電話サービスの設定を確認する

留守番電話サービスが開始されているかを確認します。

1 秘書サービス設定画面に切り替える

192ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 設定を表示する

設定が表示されます。

3 設定3画面に戻る

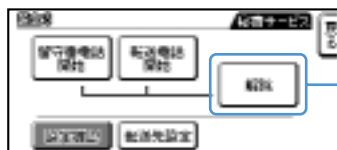
注意

留守番電話サービスを開始していないとき！

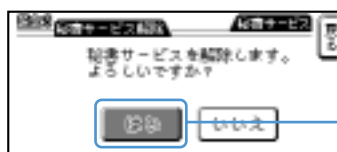
留守番電話サービスを開始していないとき、留守番電話の設定は表示されず、次のメッセージが表示されます。

・留守番電話サービスが設定されず、転送電話サービスが設定されているとき
「テンソウサービス」と「転送先の電話番号」

・転送電話サービスも留守番電話サービスも設定されていないとき
「ヒショサービス OFF」

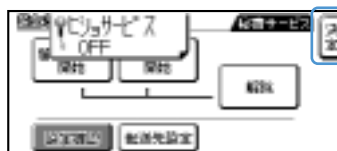
留守番電話サービスを解除する

1 秘書サービス設定画面に切り替える

192ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 留守番電話サービスの解除画面に切り替える

3 留守番電話サービスを解除する(補足※1)

「ヒショサービスOFF」のメッセージが表示されます。

4 設定3画面に戻る

補足

※1 いいえ を選ぶと解除を中止し、前の画面に戻ります。

伝言を聞く

留守番電話サービスセンターに新しい伝言が入ったときに電源をONにしたり、通話したりすると「メッセージアリTEL：1416」が表示されます。表示が消えると✉（メッセージお預かり表示）が点灯します。

1 メッセージが表示されたら

相手からの伝言を預かると「メッセージアリTEL：1416」が表示されます。表示が消えると✉が表示されます。

2 伝言を聞く

留守番電話センターにつながり、伝言を聞くことができます。

「メッセージアリ　TEL：1416」の表示の条件

留守番電話サービスセンターに新しいメッセージが入っているとき、下記の条件によって ✉と「メッセージアリ TEL:1416」が表示されます。

・サービスエリア内で電源を入れたとき
・電話をかけたとき
・電話を切ったとき
・電話を受けたとき
・一定距離※を移動したとき
・スカイウォーカーやスカイウェブの送信・受信

※一定距離とは、市街地のときは、数km〜十数km、郊外では十数kmが目安です。

J-フォンから1度伝言を聞くと✉は消えます。次の画面では✉が表示されます。

・ダイヤル画面
・電話帳
・メッセージ画面
・手帳機能画面
・スカイウェブ画面

補足

メッセージがあるか確認する

J-フォンから直接「1415」をダイヤルすると、メッセージのあるときに✉のマークが点灯して、メッセージがあることを知らせてくれます。（無料）

ダイヤルして伝言を聞く

ダイヤルで留守番電話サービスセンターに電話し、伝言を聞くこともできます。

- J-フォンから　1416
- 一般電話から
- J-フォン東京でご契約された方 090－391－1416
- J-フォン関西でご契約された方 090－392－1416
- J-フォン東海でご契約された方 090－393－1416

以降は、アナウンスに従ってプッシュトーンで番号を押し、操作してください。

一般電話から留守番電話サービスを操作する

サービスエリア外などでＪ-フォンから操作できないときは、プッシュトーンを送出できる一般電話から留守番電話サービスの開始や解除などをすることができます。伝言も一般電話から聞くことができます（198ページ「伝言を聞く」参照）。

1 遠隔操作用の電話番号をダイヤルする

・J-フォン東京でご契約された方
　　090－391－1406
・J-フォン関西でご契約された方
　　090－392－1406
・J-フォン東海でご契約された方
　　090－393－1406

2 自分の電話番号＋＜＃＞

アナウンスに従って自分のＪ-フォンの電話番号をダイヤルし、＜＃＞を押します。

3 交換機用暗証番号＋＜＃＞

アナウンスに従って交換機用暗証番号をダイヤルし、＜＃＞を押します。

4 サービス番号＋＜＃＞

アナウンスに従って以下のサービス番号をダイヤルし、＜＃＞を押します。

●サービス番号
・留守番電話サービスの開始（呼び出しあり）　：431
・留守番電話サービスの開始（呼び出しなし）　：411
・留守番電話サービスの解除（転送電話も解除）：400
・設定内容の確認　：403

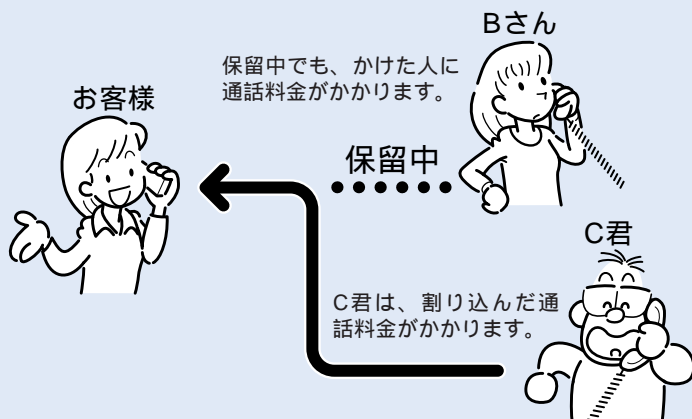
以降、入力したサービス番号に応じた内容のアナウンスがあります。

5 操作を終了するときは＜＃＞

終了のアナウンスのあと、電話が切れます。

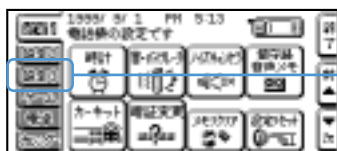
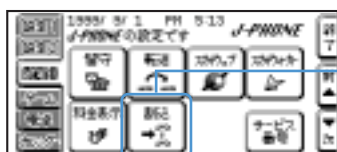
交換機用暗証番号とは
交換機用暗証番号とはご契約時にお決めいただいた4桁の番号です。

電話番号または交換機用暗証番号を間違えたとき
ご自分の電話番号または交換機用暗証番号を間違えたときは再入力をうながすアナウンスの後、正しい番号を入力してください。ただし、3回間違えると電話が切れます。手順1からもう一度し直してください。

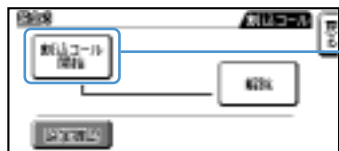
割り込みコールサービスを利用する

割り込みコールサービスを開始する

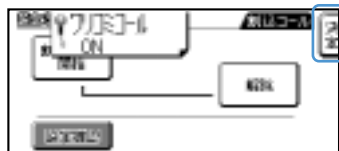
通話中でも後からかかってきた電話を、受けることができるように設定します。

1 機能選択画面に切り替える（補足※1）

2 設定１画面に切り替える

3 設定3画面に切り替える（補足※2）

4 割り込みコール画面に切り替える

補足 注意 は 次ページ参照。

5 割り込みコールサービスを開始する

メッセージが表示され、割り込みコールサービスが開始されます。

6 設定3画面に戻る

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

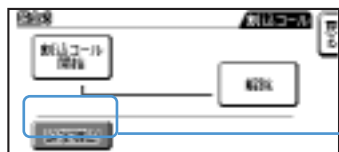
※2 シャトルキーや で選ぶこともできます。

通話中にメッセージを受信する

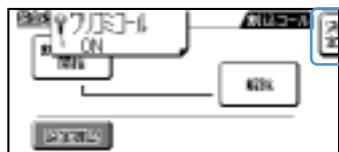
割り込みコールサービスを設定していると通話中に、スカイメール、コーディネータ、リレーメール、ホットライン、グリーティングの各メッセージ、Eメール、メモトーク、スカイメロディを受信することができます。

圏外表示が出る場所では！

サービスエリア外など電波の届かないところ（圏外表示が出る場所）では、割り込みコールの設定はできません。プッシュトーンが送出できる一般電話から行ってください（205ページ「一般電話から割り込みコールサービスを操作する」参照）。

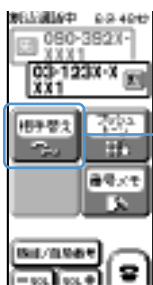
割り込みコールサービスの設定を確認する

1 割り込みコール画面に切り替える

201ページの 1 ～ 4 の操作をする。

2 設定を表示する

3 設定3画面に戻る

通話中に割り込んできた電話を受ける

通話中に別の電話がかかってくると「プルル、プッップッ」が鳴り「割り込み電話です」が表示されます。

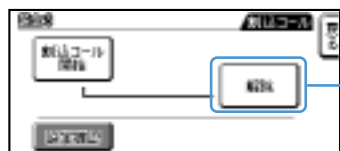
補足

※1 ・はじめに話していた相手との通話は一時保留になります。
・ を押すと通話中に、別の相手からかかってきた電話を留守番電話サービスセンターに転送します。センターでは、相手にアナウンスを流し、伝言を預かります。留守番電話サービスセンターに新しい伝言が入ったときに電源を入れたり、通話したりすると、「メッセージアリ TEL:1416」が表示されます。表示が消えると （メッセージお預り表示）が点灯します（198ページ「伝言を聞く」参照）。

※2 以降、相手を交互に切り替えながら通話できます。

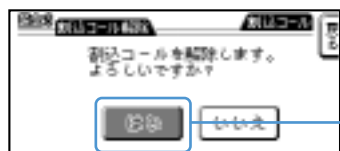
注意

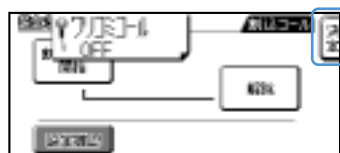
電話を切る

・切り替え通話中に を押して電話を切ると、呼び出し音が鳴り自動的に保留中の相手と通話できます。
・切り替え通話中、通話中の相手が先に電話を切ると、呼び出し音が聞こえ保留中画面になり、 を押すと、保留中の相手と通話できます。

割り込みコールサービスを解除する

1 割り込みコール画面に切り替える

195ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 割り込みコール解除の画面に切り替える

3 割り込みコールを解除する（補足※1）

「ワリコミコールOFF」のメッセージが表示されます。

4 設定3画面に戻る

※1 いいえ を選ぶと解除を中止し、前の画面に戻ります。

一般電話から割り込みコールサービスを操作する

サービスエリア外などでＪ-フォンから操作できないときは、プッシュトーンを送出できる一般電話から割り込みコールサービスの開始や解除などを行うことができます。

1 遠隔操作用の電話番号をダイヤルする

・J-フォン東京でご契約された方
　090－391－1406
・J-フォン関西でご契約された方
　090－392－1406
・J-フォン東海でご契約された方
　090－393－1406

2 自分の電話番号＋＜＃＞

アナウンスに従って自分のＪ-フォンの電話番号をダイヤルし、＜＃＞を押します。

3 交換機用暗証番号＋＜＃＞

アナウンスに従って交換機用暗証番号をダイヤルし、＜＃＞を押します。

4 サービス番号＋＜＃＞

アナウンスに従って以下のサービス番号をダイヤルし、＜＃＞を押します。

●サービス番号
・割り込みコールサービスの開始　：481
・割り込みコールサービスの解除　：480
・割り込みコールサービスの設定内容の確認　：483

以降、入力したサービス番号に応じた内容のアナウンスがあります。

5 操作を終了するときは＜＃＞

終了のアナウンスのあと、電話が切れます。

交換機用暗証番号とは

交換機用暗証番号とはご契約時にお決めいただいた4桁の番号です。

電話番号または交換機用暗証番号を間違えたとき

ご自分の電話番号または交換機用暗証番号を間違えたときは再入力をうながすアナウンスの後、正しい番号を入力してください。ただし、3回間違えると電話が切れます。手順1からもう一度し直してください。

マルチコールサービスを利用する

切り替え通話（Aさんとの通話中に、B君へかけられます）

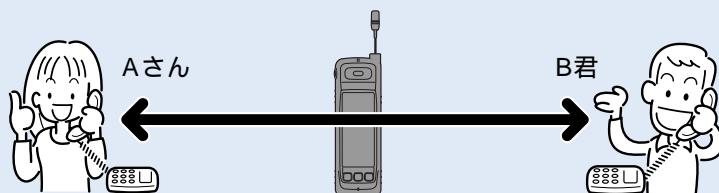
Aさんがかけたときは、Aさんに通話料金がかかります。お客様がAさんにかけたときは、お客様に通話料金がかかります。

お客様にB君にかけた通話料金がかかります。

3者通話（3人で同時に通話できます）

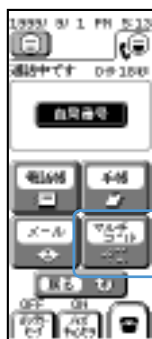
Aさんがかけたときは、Aさんに通話料金がかかります。お客様がAさんにかけたときは、お客様に通話料金がかかります。

お客様にB君にかけた通話料金がかかります。

通話中転送（自分だけ通話から抜けます）

Aさんがかけたときは、Aさんに通話料金がかかります。お客様がAさんにかけたときは、引き続きお客様に通話料金がかかります。

お客様に引き続きB君にかけた通話料金がかかります。

通話中に他の相手先に電話をかける

1 通話中に機能選択画面に切り替える

2 電話番号入力画面に切り替える

3 もう一人の電話番号を入力する(補足※1)

4 もう一人に電話をかける(補足※2)

補足 注意 は次ページ参照。

※1 以下の方法でも電話をかけることができます。

電話帳から電話番号を呼び出す

（78ページ「電話帳で電話をかける（メモリダイヤル）」参照）

ダイヤルの履歴から電話番号を呼び出す

（74ページ「リダイヤルで電話をかける」参照）

クイックダイヤルから電話番号を呼び出す

（77ページ「クイックダイヤルで電話をかける」参照）

※2 話している相手は、保留状態になります。3人目につながり、マルチコールとなります。この状態から切り替え通話や3者通話をすることができます。

3者通話をする場合！

・3人目を国際電話で呼び出すことはできません。
・割り込みの電話（割り込みコールサービス）がかかってきた場合、切り替え通話はできますが、3者通話をすることはできません。

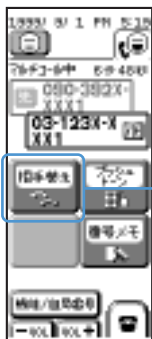
「ダイヤル発信禁止」が「ON」に設定されていると

ダイヤル発信禁止が「ON」に設定されているときは、電話帳画面に切り替わります。電話帳から相手を選んでください。

マルチコールができない場合！

ロック機能で「オートロック」が「ON」に設定されていると、マルチコールはできません。

相手を切り替えながら通話する（切り替え通話）

最初の相手と新しく呼び出した相手を、交互に切り替えながら通話します。

1 マルチコールにする

207ページ 1 ～ 4 の操作をする。

2 もう一人に電話を切り替える（補足※1）

交互に通話できます。

補足

※1 通話をしていない相手は、保留状態になります。

電話を切る

・ を押すと、今話している相手との通話が切れ、保留中の相手との2人の通話になります。

・今話している相手が先に電話を切ると、呼び出し音が聞こえ、もう一人が保留状態になります。ここで を押すと、保留中の相手と通話することができます。

3人で同時に通話する（3者通話）

3人で一緒に通話します。

1 マルチコールにする

207ページ 1 〜 4 の操作をする。

2 通話中に機能選択画面に切り替える

3 3者通話に切り替える

3人で同時に通話することができます。

電話を切る

・ を押すと、2人の相手との通話が同時に切れます。

・相手のどちらかが電話を切ったときは、2人の通話に戻ります。

切り替え通話には戻れません

3者通話から、切り替え通話に移ることはできません。

3人で通話中に自分だけ通話から抜ける(通話中転送)

切り替え通話または3者通話中に、自分だけ電話を切り、他の2人が通話を続けることができます。

切り替え通話　　3者通話

1 切り替え通話(または3者通話)にする

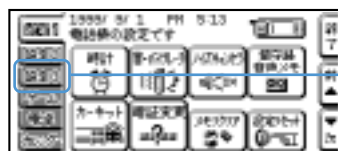
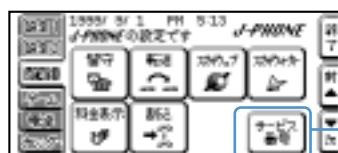
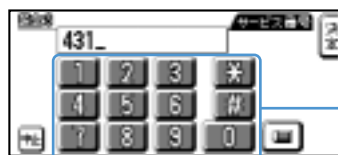
2 通話中に機能選択画面に切り替える

3 通話から抜けるための確認画面に切り替える

4 通話から抜ける(補足※1)

※1 ・「テンソウカンリョウ」と通話時間の表示がされて、自分だけ電話を切ることができます。他の2人はそのまま通話を続けることができます。
・[いいえ]を選ぶと通話中転送を中止し、前の画面に戻り、切り替え通話または3者通話を続けることができます。

サービス番号で操作する

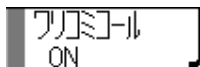
J-フォンよりサービス番号を使い、サービスを操作することができます。

オプションサービス

サービス番号

サービス	番号
留守番電話サービスの開始（呼び出しあり）	431
留守番電話サービスの開始（呼び出しなし）	411
留守番電話サービスの解除（転送電話サービスも解除）	400
設定内容の確認	403
割り込みコールサービスの設定	481
割り込みコールサービスの解除	480
割り込みコールサービスの設定内容確認	483
転送先電話番号の登録	402+転送先電話番号
転送サービスの開始（呼び出しあり）	441
転送サービスの開始（呼び出しなし）	421
転送サービスの解除（留守番電話サービスも解除）	400

※1 ダイヤル画面以外の画面からも を押して切り替えることができます。

※2 やシャトルキーで選ぶこともできます。

サービス設定後は次のような表示がされます

例）割込みコールの設定で481を実行したとき

発信者番号通知サービスを利用する

発信者番号通知サービスは、お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認することができるサービスです。

サービスを受ける「通知する」でお申込みのお客様

電話をかけるとき

相手に電話番号の通知をするとき

相手が「通知する」で申込まれているときは、お客様の電話番号が通知されます。

相手に電話番号の通知をしないとき

電話番号の先頭に「184」（イヤヨ）を付けて、ダイヤルしてください。相手が「通知する」で申込まれているときでも、通知されません。

184-○○○-△△△△-□□□□+

着信履歴

① かけてきた相手が「通知する」で申し込まれているとき、および「186」を電話番号の前に付けて電話をかけてきたときは、相手の電話番号が着信履歴としてリダイヤルに記憶されます。
リダイヤルと着信履歴を合わせて最新20件まで記憶されます。

② 表示された電話番号にかけるときはを押してください。

③ 着信履歴のデータを電話帳に登録することができます。

④ 電話に出なかったときでも、相手が「電話番号の通知をする」でかけてきたときはリダイヤルに記憶されます。

電話がかかってきたとき

かけてきた相手が「通知する」で申込まれているとき、および「186」を電話番号の前に付けて電話をかけてきたときは、J-フォンの着信画面に電話番号が表示されます。

電話帳に登録してある相手が電話をかけてきたときは、名前と電話番号が表示されます。

相手が番号通知で電話をかけてきたとき

電話帳に登録されている相手が番号通知で電話をかけてきたとき

サービスを受けない「通知しない」でお申込みのお客様

電話をかけるとき

相手に電話番号の通知をするとき

電話番号の先頭に「186」を付けて、ダイヤルしてください。相手が「通知しない」で申込まれているときは、通知されません。

186-○○○-△△△△-□□□□+

相手に電話番号の通知をしないとき

今までの操作で電話をかけたときは、お客様の電話番号は相手に通知されません。

電話がかかってきたとき

すべての着信について相手の電話番号は表示されません。

電話帳に登録する

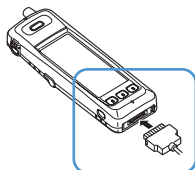
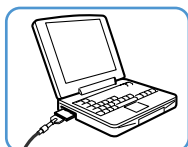
あらかじめ電話番号の先頭に「184」(イヤヨ)、「186」を付けて、電話帳に登録することもできます。(スカイウォーカーでメッセージを送信するときは「184」「186」の番号は使用しないでください。「184」「186」が電話番号の先頭についているとメッセージの送信ができません。)

「通知する」でお申込みのお客様へ

電話帳、リダイヤル、着信履歴から電話をかけても、相手が「通知する」で申込まれているときは、電話番号が通知されます。

- 電話帳からダイヤルする(78ページ「電話帳で電話をかける(メモリダイヤル)」参照)
- リダイヤルからダイヤルする(74ページ「リダイヤルで電話をかける」参照)
- 着信履歴からダイヤルする(74ページ「リダイヤルで電話をかける」参照)

FAX／パソコン通信する

別売のアダプタとノート型パソコンを接続することにより、Ｊ-フォンからFAX通信とパソコン通信を行うことができます。

補足

操作はパソコン側から行います

詳しくは、アダプタ、通信ソフトおよびお持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。

FAX通信・パソコン通信の状態から通常の音声通話に変更するには、J-フォンで［解除］を押します（このとき、アダプタのコネクタを外してください）。

強制的に通信を終了するにはＪ-フォンで［終話］を押します（通常の使用においては、パソコン側の操作で通信を終了させてください）。

［自局番号］を押すと、自分のJ-フォンの電話番号を表示することができます。

通信速度は9600bpsまで対応しています。

オプションサービス

付　録

PCリンクキット

別売のPCリンクキットを使うと、J-フォンのデータ（電話帳、スカイメール、メロディ着信音、メモトーク、スケジュール）をパソコン（ウィンドウズ）に転送して、作成や編集をすることができます。またパソコンで作成・編集した各データをJ-フォンに転送して読み込ませることもできます。詳しくは、PCリンクキットの取扱説明書をご覧ください。

電話帳データをパソコンで

J-フォンの電話帳データを、各項目（名前、読み、電話番号、Eメールアドレス、保存No.、ジャンル、メモ、マーク）ごとに、作成・編集し、保存することができます。

スカイメールデータをパソコンで

スカイメールのメールデータを、「送受信すべて」「送信のみ」「受信のみ」「未読のみ」の分類でパソコン上で表示したり、作成・編集し、保存することができます。またメールアドレスの編集なども行うことができます。

メロディ着信音をパソコンで

J-フォンで着信音として利用できるオリジナル着信音をパソコン上で作成・編集し、保存することができます。また着信音をパソコン上で作曲し、J-フォンに転送して着信音にすることもできます。

メモトークをパソコンで

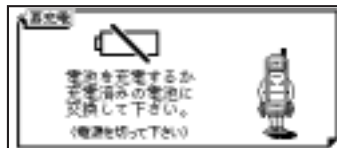
メモトークのデータをパソコン上で作成・編集し、保存することができます。またパソコンで取り込んだ画像（BMP・JPEG）をメモトークのデータに変換し、J-フォンで利用することもできます。

スケジュールをパソコンで

スケジュールのデータをパソコン上で作成・編集し、保存することができます。

こんな表示がでたときは

J-フォンは、確認が必要な操作を行うときや誤った操作を行ったときなどにメッセージを表示します。メッセージの内容を確認してから正しい操作を行ってください。
メッセージは次のように表示されます。

液晶パネル全体に表示される例

液晶パネルの一部に表示される例

A~Z

PM5:00現在着信3件アリ

通話終了後に、不在着信のあった履歴（件数）を表示します。

あ

暗証番号が違います。

J-フォンに登録されている4桁の操作用暗証番号とは違う4桁の番号を入力しました。もう一度操作用暗証番号を確かめて入力し直してください。

一日のスケジュールが一杯なので中止します。

スケジュールに登録できる件数は、1日5件までです。このメッセージが表示されたときは同じ日に新たにスケジュールを登録しようとしています。不要なスケジュールを削除するか上書き登録してください（170ページ「スケジュールを編集・削除する」参照）。

応答がないため接続が中断されました。

相手のJ-フォンまたはセンターからの応答がなかったので接続が中断されました。もう一度接続し直してください。

オートロック中のため、操作できません。

J-フォンがオートロック中です。操作用暗証番号を入力して、オートロックを一時解除してからご使用ください（96ページ「いろいろなロック機能を使う」参照）。

オーナー登録をしてください

運勢を見るには、オーナープロフィールに登録が必要です（22ページ「オーナープロフィールを入力する」参照）。

か

画面上での操作が無効です。

誤動作防止機能が働いているため、タッチパネルの操作ができません。誤動作防止機能を解除して操作してください。「電話を受ける」「留守番電話センターに転送する」「応答保留を利用する」「簡易留守録で相手の声を録音しているとき」の操作は本体ボタン 0 を押すことにより操作できます（105ページ「誤動作を防止する」参照）。

グレー表示が一杯なので中止します。

カレンダーの日付にグレー表示で管理できる日数は100日分までです。このメッセージが表示されたときは新たにグレー表示を登録しようとしています。不要なグレー表示を消去して、やり直してください（161ページ「日付に色を付けて管理する」参照）。

現在、電話がかかりにくくなっております。

このメッセージが出たときは、しばらく経ってからJ-フォンを使用してください。

圏外です。

電波が届かない場所にいます。「圏外」の表示が消える場所に移動してください。

この日のスケジュールはありません。

選んだ日付のスケジュールは登録されていません。

誤動作防止中です。決定ボタンを長押しで解除して下さい。

誤動作防止機能が働いているため、タッチパネルの操作ができません。誤動作防止機能を解除して操作してください（105ページ「誤動作を防止する」参照）。

さ

自作着信音が一杯なので中止します。

自作着信音に登録できる件数は10件までです。このメッセージが表示されたときは新たに自作着信音を登録または作成しようとしています。不要な着信音を削除するか上書き登録してください（89ページ「自作したメロディを着信音に設定する」、90ページ「オリジナル着信音を編集する」参照）。

終了になりました。

通話が終了しました。または、通話中などに電波の状態が悪くなって通信が途切れました。電波状態を確認して、もう一度かけ直してください。

スケジュールが一杯なので中止します。

スケジュールに登録できる件数は、合計100件までです。このメッセージが表示されたときは新たにスケジュールを登録しようとしています。不要なスケジュールを削除するか上書き登録してください（170ページ「スケジュールを編集・削除する」参照）。

接続が中断されました。

何らかの原因で接続が中断されました。電波状態を確認して再度電話をかけてください。

た

ダイヤル発信禁止のため、この操作を中止します。

ダイヤル発信禁止を設定しているので、ダイヤル画面に切り替わりません。ダイヤル発信禁止を「OFF」にしてください（96ページ「いろいろなロック機能を使う」参照）。

電話帳ありません。

電話帳に1件も登録されていません。またはスカイメールで「Eメール」を選んだとき電話帳にEメールアドレスの登録がありません。

電話帳の件数が一杯なので中止します。

電話帳に登録できる件数は500件までです。このメッセージが表示されたときはすでに500件が登録されています。電話帳の中身を確認して不要な電話帳を削除してください（65ページ「電話帳の登録内容を編集・削除する」参照）。

電池を充電するか充電済の電池に交換してください。

電池がありません。メッセージにしたがって電源を切るか、充電済みの電池パックに交換してください。しばらくすると電源が自動的に切れます。

は

発信禁止設定中です。

ダイヤル発信禁止を設定しているので、ダイヤル画面に切り替わりません。ダイヤル発信禁止を「OFF」にしてください（96ページ「いろいろなロック機能を使う」参照）。

ま

マナー機能がセットされています。

音の設定をするときに表示されます。[ボタン]を押して表示を消して次の操作をしてください。このメッセージが表示されたときは、マナー機能がセットされています。マナー機能がセットされていると、音（着信音、スカイウォーカー受信音、スカイウェブ受信音、電池警告音、スケジュールアラーム、クロックアラーム、ボタン確認音、応答保留音）の設定をしても音が鳴りません。スケジュールアラーム、クロックアラームで音を設定したときは、マナーモードの設定を「OFF」に切り替えてください（116ページ「ボタン音や着信音を鳴らさないようにする（マナーモード）」参照）。

マナーモード設定中です

マナーモード設定しているので、受信したスカイメロディを再生できません。着信音に登録して再生するか、マナーモードの設定を「OFF」に切り替えてください（116ページ「ボタン音や着信音を鳴らさないようにする（マナーモード）」参照）。

メールありません。

通話中のメール参照で、メッセージに1件も登録されていません。

メモリ使用禁止のため、この操作を中止します。

メモリ使用禁止を設定しているので、電話帳画面に切り替わりません。メモリ使用禁止を「OFF」にしてください（96ページ「いろいろなロック機能を使う」参照）。

ら

リダイヤルありません。

リダイヤルに1件も登録されていませんので、リダイヤル画面に切り替わりません。

故障かな？と思ったら

症　状	確認すること	処　置
電源が入らない。	・電池パックが正しくセットされていない。	・電池パックをもう一度セットし直してください（16ページ）。
	・電池が切れている。	・充電してください（18ページ）。
表示が出る。	・電池が切れている。	・充電してください（18ページ）。
タッチパネルを押しても操作をうけつけない。	・タッチパネルの位置設定がずれている。	・タッチパネルの調整を行ってください（112ページ）。
ダイヤルしても話中音（プープー）が鳴る。	・サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいる。	・電波の届く場所に移動してください。どうしても「圏外」が消えないときは、故障受付までお問い合わせください。
「圏外」が表示され、電話がかからない。		
通話が途切れたり、切れたりする。		
タッチパネル表示が見えにくい（表示がうすい、濃い）。	・コントラストが合っていない。	・コントラストを合わせてください（111ページ）。
	・温度が高い所、または低い所で使用している。	・液晶パネルの特性で、故障ではありません。常温に戻ると直ります。 ・コントラストで調整してください（111ページ）。
「時計」「キャラクター」「絵画」がついたり消えたりする。	・スクリーンセーバー(アニメーション）が働いています。	・タッチパネルに触れてください。
低温でタッチパネルにスジが見える。	・液晶パネルの特性です。	・故障ではありません。
	・コントラストを上げすぎている。	・コントラストを合わせてください（111ページ）。
着信音が鳴らない。	・マナーモードを「ON」にしている。	・マナーモードを「OFF」にしてください（116ページ）。
	・着信音の設定をOFFにしている。	・OFF以外の設定を選んでください（84ページ）。
自動テンキーがONなのにダイヤル画面が表示されない。	・ダイヤル発信禁止をONにしている。	・ダイヤル発信禁止を解除してください（96ページ）。

症　状	確認すること	処　置
運勢が表示されない。	・時刻設定とオーナープロフィールが入力されていない。	・時刻設定とオーナープロフィールを入力してからウェイクアップ画面で運勢優先を設定してください（149ページ）。
今日の予定が表示されない。	・今日の予定が入力されていない。	・今日の予定を入力してからウェイクアップ画面で予定優先または運勢優先を設定してください（149ページ）。
電源ON時、所有者名が表示されない。	・ウェイクアップの設定で絵と所有者名表示がONに設定されていない。	・ウェイクアップの設定で絵と所有者名表示をONに設定してください（149ページ）。
ダイヤル画面の背景が表示されない。	・ウェイクアップの設定でメモトークを選んだときにゴミ箱（　）が選ばれた。	・もう一度背景を選び直してください（109ページ）。
着信音にスカイメロディを選んだのにベル音が鳴る。	・スカイメロディに着信音が登録されていない。	・スカイメロディに着信音が登録されていないと、ベル音Aが選ばれます。
着信音に自作を選んだのにベル音が鳴る。	・自作に着信音が登録されていない。	・自作に着信音が登録されていないと、ベル音Hが選ばれます。
スカイウェブ、スカイウォーカーの受信設定でスカイメロディを選んだのにベル音が鳴る。	・スカイメロディに着信音が登録されていない。	・スカイメロディに着信音が登録されていないと、ベル音Aが選ばれます。
スカイウェブ、スカイウォーカーの受信設定で自作を選んだのにベル音が鳴る。	・自作に着信音が登録されていない。	・自作に着信音が登録されていないと、ベル音Hが選ばれます。

索引

あ

か

さ

た

な

付録

主な仕様

質量	約99g
サイズ（W×H×D）	43㎜×131.5㎜×21㎜
連続待受時間	約350時間
連続通話時間	約100分
付属品	ストラップ ミニストラップ 電池パック 卓上急速充電器 タッチペン 取扱説明書（2冊） クイックリファレンス 保証書

※ 数値は、電池パック装着時のものです。
※「連続待受時間」とは、充電を満たした新品のバッテリーを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態より算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車中、カバンの中等）や「圏外」表示の状態での待ち受けでは、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温等）によってはご利用時間が変動することがあります。
※「連続通話時間」とは、充電を満たした新品のバッテリーを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能OFFを設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態より算出した平均的な計算値です。

●電池の時間について

ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（スカイウォーカー操作など）が多い場合、連続通話時間及び連続待受時間は短くなります。

J-PE02 取扱説明書
基本操作編

1999年 9月　第2版第1刷発行

J-フォン東京株式会社
J-フォン関西株式会社
J-フォン東海株式会社

＊ ご不明な点はお求めになられた
　J-PHONE取扱店にご相談ください。

機種名：J-PE02
製造元：パイオニア株式会社

<CRA2850-B> <99I00F0J01>

お問い合わせ

J-PE02から、おかけください。
（無料）

総合案内…157
故障受付…113
料金案内…154

現在ご契約されている
J-PHONEグループ各社につながります。

一般電話からご利用の場合は、
下記フリーコールでおかけください。

J-フォン東京
総合案内…フリーコール 0088-240-157
故障受付…フリーコール 0088-240-113
料金案内…フリーコール 0088-240-154

J-フォン関西
総合案内…フリーコール 0088-242-157
故障受付…フリーコール 0088-242-113
料金案内…フリーコール 0088-242-154

J-フォン東海
総合案内…フリーコール 0088-241-157
故障受付…フリーコール 0088-241-113
料金案内…フリーコール 0088-241-154